ID番号	「B-CASカード」「ID表示」（? ガイド160）で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）
		デコーダー ID

●使いかた・お手入れなどのご相談は …

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-981
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

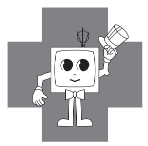
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。



こんな症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



廃棄時にご注意願います！ 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 映像ネットワーク事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

S0711-3081

基本ガイド

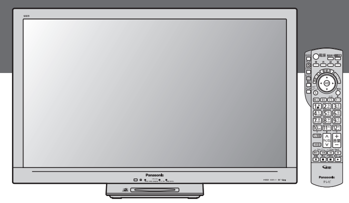
●ご使用前に知っていただきたいことや本機の特長などを記載しています。

Panasonic

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

品番 TH-L37RB3（37V型）
TH-L32RB3（32V型）



（イラスト：TH-L37RB3）

VIERA ビエラ



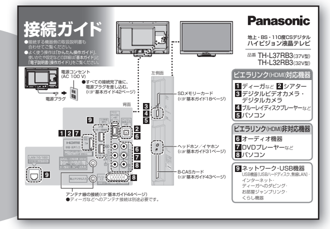
VIERA（ビエラ）の操作ガイドは画面に表示されます

ガイド ? を押すと表示。

よく使う操作は
かんたん操作ガイド



外部機器をつなぐときは
接続ガイド



パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/
※このサービスはWEB限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●「基本ガイド」（本書）、「電子説明書（操作ガイド）」、「接続ガイド」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（☞ 120～124ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。（☞ 42ページ）
●基本ガイドは、37V型（TH-L37RB3）と32V型（TH-L32RB3）共用です。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBA0874-1

もくじ

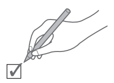
本機はデジタル放送専用です。
※地上アナログ放送やBSアナログ放送は受信できません。

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

付属品

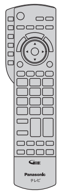
●ヘッドホン・イヤホン、DVDプレーヤーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。



設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。

〈 〉は個数です。

□リモコン…………〈1〉
（☞29ページ）

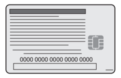


（品番：N2QAYB000590）

□B-CAS（ビーキャス）カード…〈1〉
（☞43ページ）

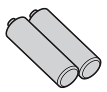
表面 裏面





（カードの紛失時は☞43ページ）

□単3形乾電池….〈2〉
（リモコン用）
（☞29ページ）



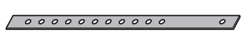
□基本ガイド……〈1〉



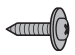
□かんたん操作ガイド……〈1〉



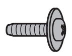
□転倒・落下防止部品
（☞42ページ）



ベルト〈1〉



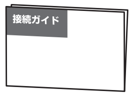
木ねじ（シルバー）〈1〉



ねじ（黒）〈1〉

（品番：TXFKL010D36A）

□接続ガイド……〈1〉



●乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。
（http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）

もくじ

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-L37RB3を元に作成しています。

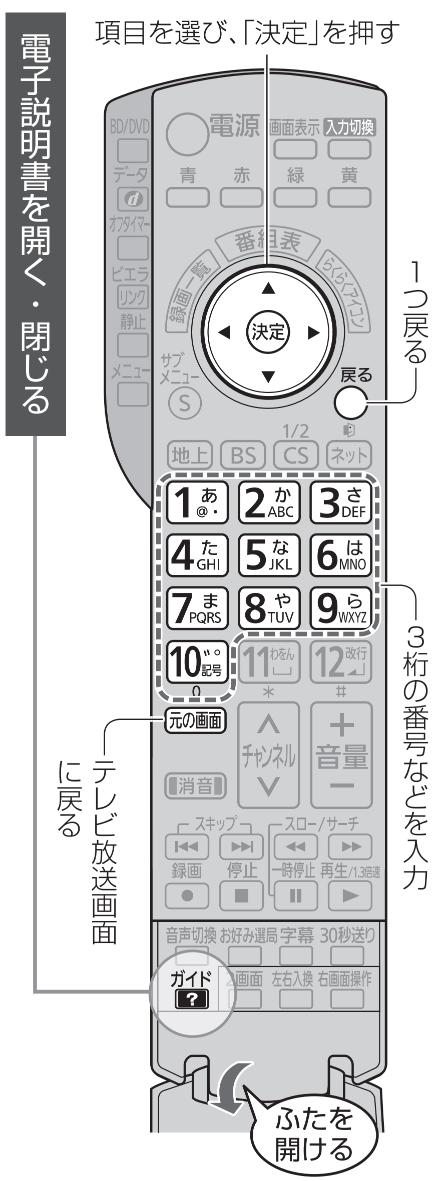
「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞120〜124ページ）

本機はインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。
ただし、電話回線接続による双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。

電子説明書(操作ガイド)の使いかた

本機は電子説明書を内蔵しています。

●テレビ画面で使いかたや解説を読むことができます。



電子説明書を表示する

テレビを見ているときに ガイド[?] を押す

トップページ



●電子説明書のトップページを表示します。
（もう一度押すと、テレビ画面に戻ります）

●前回表示した説明ページを表示するか、トップページを表示するかの選択画面が表示されることがあります。



・「説明ページへ戻る」を選んで「決定」を押すと、前回表示した項目を表示します。

・「トップページを表示する」を選んで「決定」を押すと、電子説明書のトップページを表示します。

●テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、[元の画面]を押して、テレビ放送画面に戻してから ガイド[?] を押してください。

●本書のさらに詳しい説明を見る
（3桁の番号の見かた）（☞7ページ）

●見たい情報を探す（☞7ページ）

●電子説明書の便利な機能（☞8ページ）

本書のさらに詳しい説明を見る（3桁の番号の見かた）

本書に記載の「（[?]ガイド○○○）」は電子説明書の情報ページの番号です。電子説明書のトップページを表示して3桁の番号を入力すると、その情報ページを表示します。

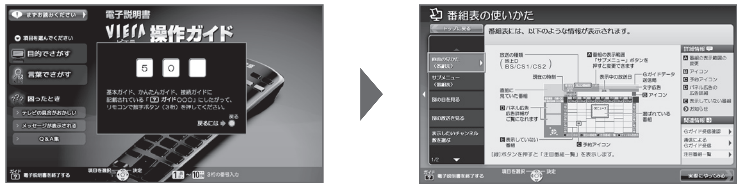
「電子説明書を表示する」（☞6ページ）で電子説明書のトップページを表示後、

本書に記載の3桁の番号を押す

●やり直すときは、「戻る」を押す。（1つ前の画面に戻る）

例）（[?]ガイド501）[5] ➡ [10] ➡ [1]

トップページ



見たい情報を探す

電子説明書のトップページ（☞6ページ）から、**見たい項目を選び、「決定」を押す**

トップページ



●①と②を繰り返し、
見たい情報を確認します。

目的でさがす

「番組を探す」、「録画する」など目的別に情報の一覧が表示されます。



言葉でさがす

探したい言葉の行の一覧を表示します。



困ったとき

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせ「Q&A集」を紹介しています。



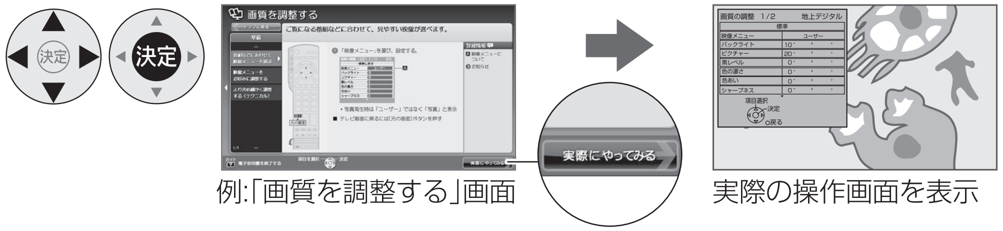
電子説明書(操作ガイド)の使いかた(つづき)

電子説明書の便利な機能

■電子説明書の説明を読んだあと、実際に操作する

画面上の「実際にやってみる」を選ぶと実際の操作画面に切り換わります。

「実際にやってみる」を選び、「決定」を押す

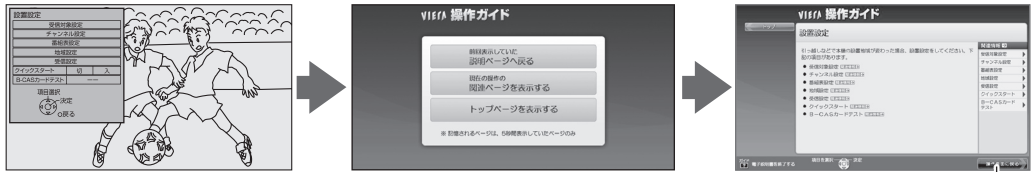


例:「画質を調整する」画面　　実際の操作画面を表示

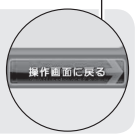
■テレビの操作の途中で説明画面に切り換える

操作の途中でわからなくなったときなどに、今の画面に関連した説明を表示します。

操作中に ガイド ? を押す



例:設置設定画面を出しているとき　　「関連ページを表示する」を選んで「決定」を押す　　設置設定に関連した説明を表示



●「操作画面に戻る」が表示されているときは、「操作画面に戻る」を選び「決定」を押すと、再度操作に戻ることができます。

■最後に表示した電子説明書の項目を表示する

前回、最後に表示した電子説明書の項目を表示することができます。

テレビ視聴中に ガイド ? を押す



「説明ページへ戻る」を選んで 決定 を押す



前回最後に表示した項目

●最後に電子説明書を表示してから約24時間が過ぎるか、トップページで電子説明書を終了すると、電子説明書の記録が削除され、ガイド ? を押したとき、電子説明書のトップページが表示されます。

■エラーメッセージの詳しい説明を表示する

エラーメッセージに ? が表示されているときに ガイド ? を押すと、詳しい説明を表示します。

電子説明書(操作ガイド)項目一覧



トップページ

まずお読みください

●電子説明書をお使いになる前に(004)
●電子説明書内のディスクの表現について(880)
●ご使用上の注意(008)
●録画内容の保管について(007)
●SDメモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い(920)
●記録内容などの損害・損失について(005)
●著作権について(006)

目的でさがす

代表的な項目を記載します。

ガイド ? のあと、3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。



番組を探す

●番組表で探す(011)
●今放送中の番組を探す(020)
●関連情報で探す(090)
●注目番組一覧で探す(015)
●ジャンルで探す(060)
●キーワードで探す(070)
●人名で探す(080)
●番組表の使いかた
- 画面の見かた(番組表501、1局番組表507)
- サブメニュー(番組表515、1局番組表516)
- 別の日を見る(502)
- 別の放送を見る(503)
- 表示したいチャンネル数を選ぶ(504)
- 1局番組表を見る(505)

見る

●テレビ放送を見る(101)
- ボタンで選局する(102)
- 順送りで選局する(103)
- お好み選局(104)
- 3桁入力で選局する(105)
- 枝番選局について(523)
- サブメニュー(521)

●今すぐ見る/見るだけ予約(510)

●画面メモ
- 画面メモを保存する(107)
- 画面メモを表示する(108)
- 画面メモを削除する(109)

●写真を見る
- SDカード/USB機器(121)
- BD-RE/DVD-RAM(887)

●ビデオ映像を見る
- SDカード/USB機器(580)
- ブルーレイディスク/DVD(893)

●録画一覧の番組を見る
- 内蔵HDD/USB/SD(605)
- ブルーレイディスク/DVD(884)

●お好み録画一覧の番組を見る(620)
●市販のBD/DVDビデオを見る(882)
●アクトビラを見る(200)
●TSUTAYA TVを見る(207)
●YouTubeを見る(205)
●ひかりTVを見る(208)
●Skypeで通話する(209)

●DVD/ビデオを見る(外部機器)(110)
●パソコンを見る(112)
●各種情報を見る(160)
- 放送メールを見る(161)
- B-CASカードの情報を見る(166)
- SDカードの情報を見る(162)
- ID表示を見る(167)
- ボードの情報を見る(168)
- ダビング履歴を見る(169)
- 画面の見かた(ダビング履歴)(170)
- 画面の見かた(ダビング履歴詳細)(180)

●データ放送を見る(190)

(次ページへつづく)

電子説明書(操作ガイド)項目一覧　(つづき)

ガイド[?]と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

目的でさがす(つづき)



初期設定

- ●かんたん設置設定(701)
  引っ越しなどで設定をやり直すとき
- ●かんたんネットワーク設定(702)
- ●設置設定
  - 受信対象設定(704)
  - チャンネル設定(708)
  - 番組表設定(710)
  - 地域設定(715)
  - 受信設定(アッテネーター)(723)
  - クイックスタート(736)
  - B-CASカードテスト(739)
- ●ネットワーク関連設定
  - 無線LANの設定(763)
  - IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定(753)
  - ネットワーク連携設定(793)
  - くらし機器設定(773)
  - ひかりTV設定(862)
- ●省エネ設定(350)
- ●ビエラリンク(HDMI)設定(822)
- ●接続機器関連設定(823)
  - USB HDD機器一覧(856)
  - HDMI RGBレンジ設定(851)
  - HDMI画質連動設定(843)
  - HDMI音声入力設定(825)
  - ビデオ入力表示書換(828)
  - ビデオ2音声入出力設定(842)
  - デジタル音声出力(831)
  - モニター音声出力停止設定(849)
  - 外部入力スキップ設定(837)
  - 画面の見かた(USB HDD機器一覧)(857)
- ●自動更新設定(750)
- ●設定リセット(742)

接続機器と連携する

- ●HDMI接続のディーガ画面を操作する(481)
- ●HDMI接続のシアターから音声を出す(488)
- ●ケーブルテレビを操作する(530)
- ●スカパー！ HD対応DVRを操作する(544)
- ●パソコンを操作する(495)
- ●HDMI接続の機器を操作する
  - デジタルビデオカメラを操作する(492)
  - ルミックスを操作する(555)
  - デジタルカメラ(他社製)を操作する(498)
  - プレーヤーを操作する(556)
- ●くらし機器を使う(535)
- ●お部屋ジャンプリンクに対応したディーガを操作する(536)

その他の機能

- ●らくらくアイコンを使う(150)
- ●テレビでネット(206)
- ●メディアプレーヤー(153、176、177)
- ●ネットで使い方ガイドを見る(201)
- ●画面表示(451)
- ●戻る・元の画面(453)
- ●番組内容(454)
- ●音楽CDを聴く(895)

録画する

- ●録画予約する
  - 内蔵ハードディスク(619)
  - ディーガ(251)
  - USBハードディスク(874)
  - SDメモリーカード(879)
- ●探して毎回予約する/毎週予約する(285)
- ●日時を指定して録画予約する(260)
- ●見ている番組を録画する
  - 内蔵ハードディスク(624)
  - ディーガ(485)
  - USBハードディスク(870)
  - SDメモリーカード(875)
- ●外部機器の映像を録画する(971)
- ●予約の変更・削除をする(予約一覧)(270)
- ●予約の詳細設定をする(280)
- ●その他の設定をする(293)

ダビング／編集する

- ●録画番組をダビングする
  - ブルーレイディスクへ(898)
  - ディーガへ(655)
- ●写真をダビングする(972)
- ●ビデオ映像をダビングする(903)
- ●録画番組を消去する
  - 内蔵ハードディスク(633)
  - USBハードディスク(640)
  - SDメモリーカード(681)
  - ブルーレイディスク(977)
- ●録画番組をプロテクトする
  - 内蔵ハードディスク(637)
  - USBハードディスク(435)
  - ブルーレイディスク(978)
- ●録画番組名を変更する
  - 内蔵ハードディスク(634)
  - USBハードディスク(626)
  - ブルーレイディスク(911)
- ●ブルーレイディスクを管理する(905)

お好みに調整する

- ●画質を調整する(301)
- ●エコナビを設定する(865)
- ●省エネ設定(350)
  - 映像終了後、自動的に電源を切る(359)
  - 操作しないとき、自動的に電源を切る(352)
  - 内蔵ハードディスクとBDドライブを休止状態にする(356)
- ●ディスクの再生設定(917)
- ●ディスクの初期設定(922)
- ●BDビデオデータの消去(939)
- ●お好み録画設定(385)
- ●録画・視聴設定(348)
- ●タイマーで電源を切る(オフタイマー)(358)
- ●タイマーで電源を入れる(オンタイマー)(357)
- ●画面の設定を変える(360)
- ●画面モードを選ぶ(921)
- ●画面位置やサイズを微調整する(332)
- ●音声を調整する(311)
- ●音声の設定を変える(365)
- ●音声ガイドを使う(411)
- ●音声や映像信号を切り換える(316)
- ●パソコン画面を調整する(371)
- ●2画面にする(340)
- ●システム設定(380)
  - 字幕の設定(381)
  - 選局対象(382)
  - 右画面操作(383)
  - タイトル表示(386)
  - 時計表示(418)
  - 表示の設定(394)
- ●制限項目を設定する(397)

こんなことができます **基本の使いかた**

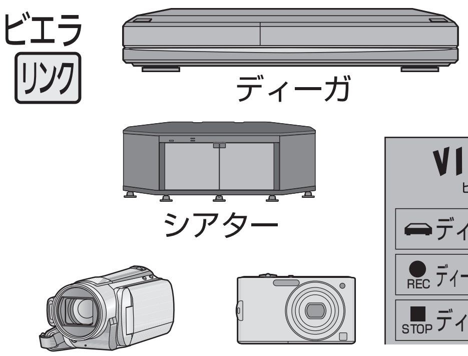
電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

電源 テレビをつける

入力切換 DVDやビデオを見る（? ガイド110）

ビエラリンク対応機器を使う

ビエラ リンク

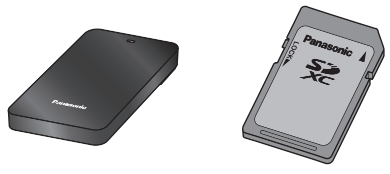


VIERA Link ビエラリンク
- ディーガの操作一覧
- REC ディーガに見ている番組を録画
- STOP ディーガの録画を停止

（? ガイド480）（☞14ページ）

内蔵ハードディスクやUSBハードディスク、SDメモリーカードの内容を見る

録画一覧



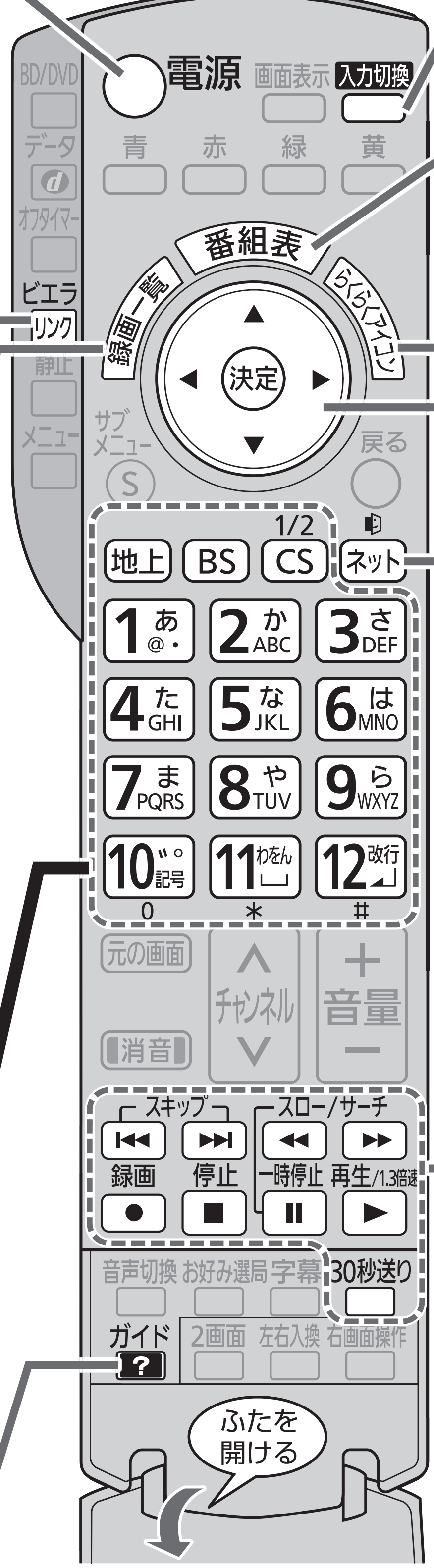
（? ガイド605）（☞22ページ）

テレビを見る（? ガイド101）

地上 BS CS(1/2) 放送を切り換える

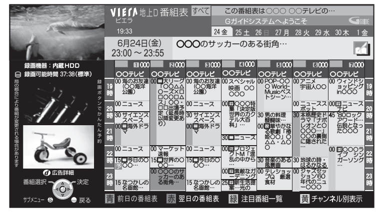
1 ～ 12 チャンネルを切り換える

ガイド ? 電子説明書を見る（☞6ページ）



番組表を見る

番組表



番組表の見かた
（? ガイド501）
番組を探す
（? ガイド011）
録画予約する
（? ガイド619、251、874、879）

らくらくアイコンを使う（? ガイド150）

らくらくアイコン



画面下に表示

- テレビでネット
- ダビング
- お好み録画一覧
- 注目番組
- 予約一覧
- メディアプレーヤー
- 画面メモ一覧

画面上で選ぶ／決定する

上へ
左へ 決定 右へ
下へ

決定する（次の画面へ）

インターネット

ネット



（例：アクトビラ）

（☞27、28、89～93ページ）

内蔵ハードディスクやディスクなどを使う（再生中のいろいろな操作（リモコン）：58ページ）

- 録画 ● 録画する※
- 停止 ■ 停止する
- 一時停止 Ⅱ 一時停止する
- 再生/1.3倍速 ▶ 再生する
- スキップ ⏮ ⏭ スキップ
- スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ 早送り・早戻し
- 30秒送り 30秒先を再生する

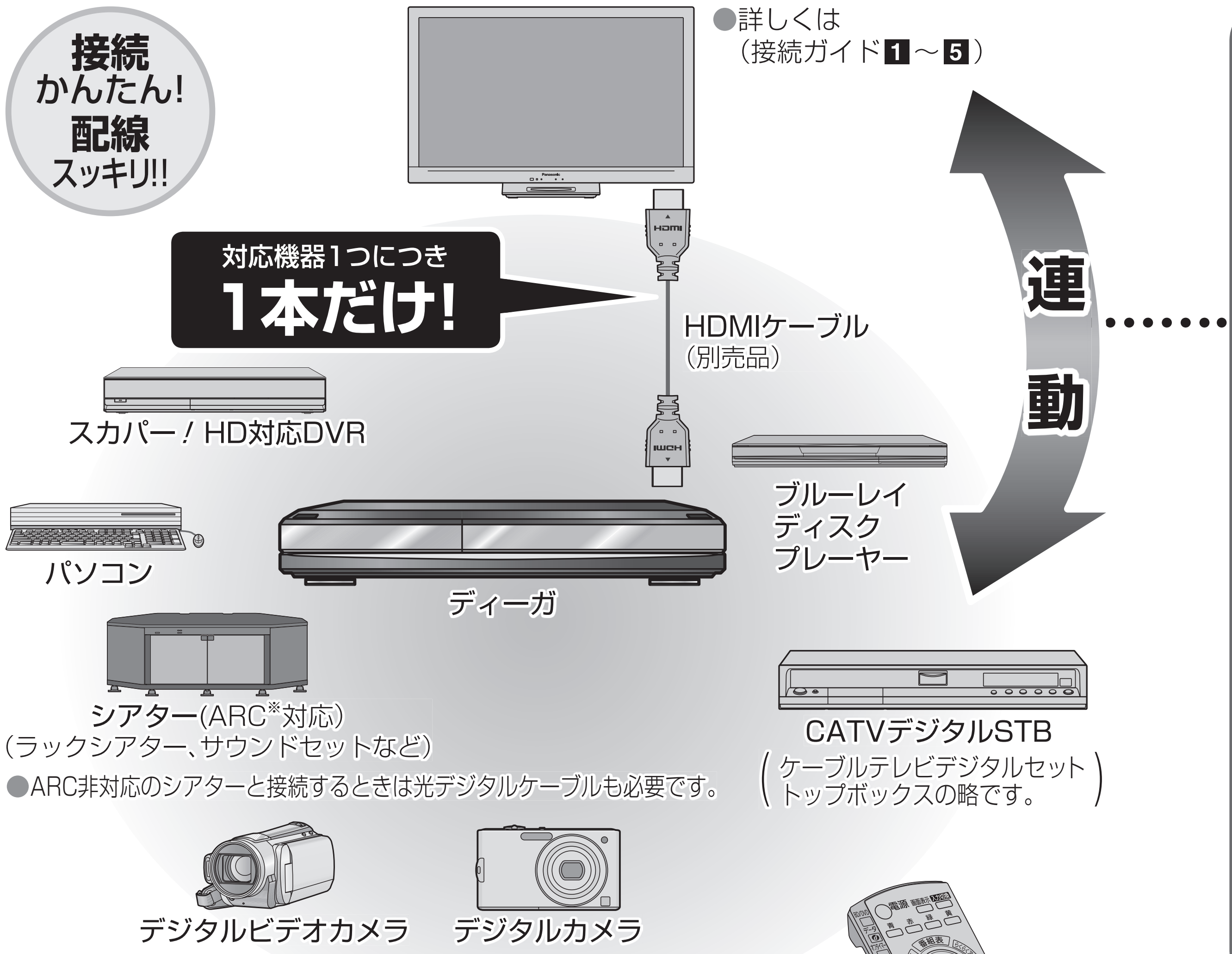
※ディスクには直接録画できません。

（? ガイド885、607）

● 基本の使いかた

こんなことができます ビエラリンク(HDMI)を使う

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)



※ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、本機のHDMI入力端子(ARC対応)からシアターのHDMI出力端子(ARC対応)にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。



本機のリモコンで機器を操作(例)

ビエラリンクを押す ➡ 「ビエラリンク」メニューから選び、「決定」を押す

VIERA Link
ビエラリンク

- ディーガの操作一覧 — ディーガの画面を操作する(?ガイド481)
- REC ディーガに見ている番組を録画 — 見ている番組をディーガにすぐに録画する(?ガイド485)
- STOP ディーガの録画を停止

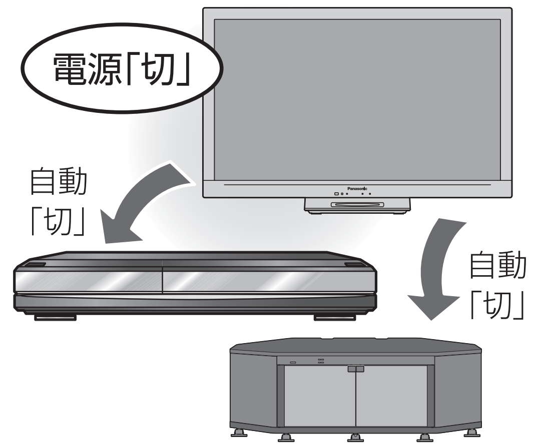


ディスク再生

(?ガイド484)
(電源オン連動)

ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。(設定は下記参照)

連動して
操作
かんたん!



一斉電源「切」(電源オフ連動)

本機の電源を「切」にすると、接続している機器の電源も一斉に「切」になります。(設定は下記参照)

使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)
(設定は下記参照)

待機電力を最小にする(ECOスタンバイ)
(設定は下記参照)

録画予約(?ガイド251)

本機の番組表で「ディーガ(ビエラリンク)」に録画予約すると、ディーガに録画予約情報が転送されます。

ビエラリンク(HDMI)設定のしかた ●詳しくは(?ガイド822)

① メニューを押す

②「設定する」を選び、「決定」を押す

③「初期設定」を選び、「決定」を押す

④「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

⑤「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、「決定」を押す

⑥「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定

ビエラリンク(HDMI)制御	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ	する	しない
電源オン時の音声出力	テレビ	シアター
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大

お好みで設定する(電源オン連動～ディーガの操作)

■ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは
(?ガイドのトップページ「困ったとき」から)

こんなことが
できます
ディスクを再生する・ダビングする

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

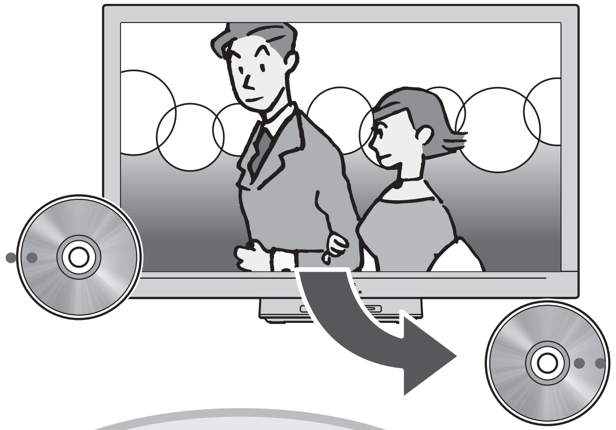
ディスクを再生する



市販やレンタルのBDビデオ・DVDビデオの再生
(☞ 62ページ、? ガイド882)

ディスクに録画された番組の再生
(☞ 57ページ、? ガイド884)
●録画一覧から選んで再生できます。

音楽CDの再生
(☞ 63ページ、? ガイド895)



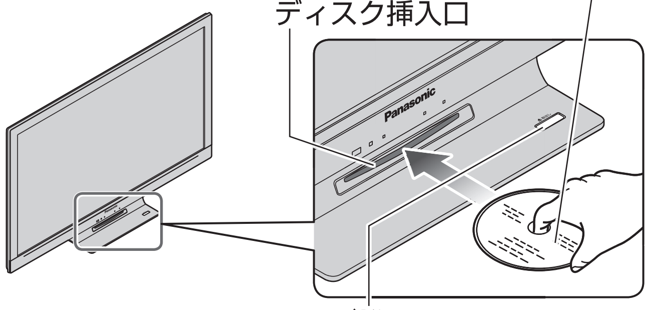
ブルーレイディスク
ドライブ内蔵で
再生・ダビングできる！

●ディスクについて(☞ 34ページ)
●**ディスクに関する注意事項(☞ 112ページ)**

ディスクの入れかた

■ディスク挿入口にディスクを入れる。
●差し込むとディスクが引き込まれます。

ディスク挿入口



ラベル面を上に向ける。
ディスクの信号面(光っている面)を持たないように注意する。

信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認し、挿入してください。

●ディスクの持ちかたについて
(☞ 112ページ)

■ディスクを取り出すときは［▲取出し］を押す。
●ディスクが途中まで出たら手で取り出してください。
・ディスクをそのままにすると、ディスクに傷がついたり、故障の原因になります。
●途中まで出たディスクを再度挿入するときは、ディスクを一度取り出してから入れ直してください。
●リモコンで電源を「切」のとき
・ディスクを挿入すると電源が入ります。
・ディスクを取り出せます。
●ディスクの取り出しに時間がかかる場合は、録画ランプが赤色点滅します。(最大約2分)

お知らせ
●8cmディスクはアダプターを付けずに入れてください。
●ディスクの読み込みが完了するまで、お待ちください。
●ディスク以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。
●ブルーレイディスクへのダビング中やディスクの初期設定画面表示中(☞ 74ページ)などは、ディスクの取り出しはできません。

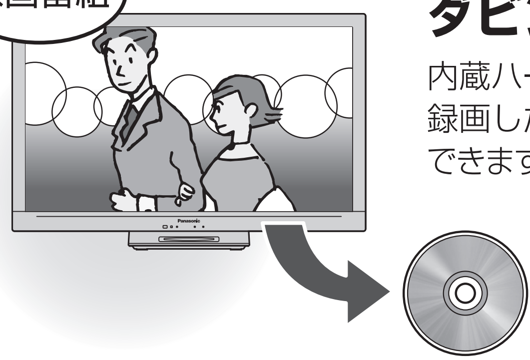
内蔵ハードディスク・USBハードディスクからブルーレイディスクに ダビングする

●ダビングについて(☞ 36ページ)
●ダビングに使用できるディスク(☞ 34ページ)

ハイビジョンで残す
内蔵ハードディスク・USBハードディスクに録画したハイビジョン番組を、ブルーレイディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

画質を変えてダビング
ブルーレイディスクの容量が足りない場合は画質を変えて、録画容量の調整ができます。

録画番組

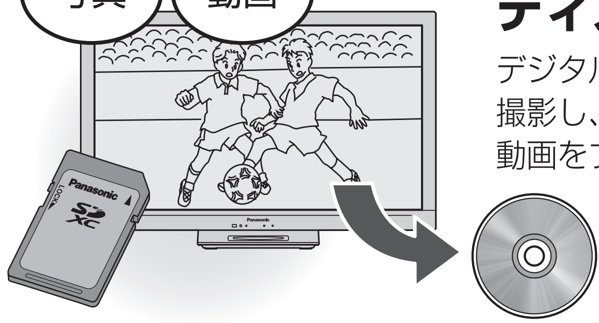


録画番組をダビングする(☞ 70ページ)
内蔵ハードディスク・USBハードディスクに録画した番組をブルーレイディスクにダビングできます。

SDメモリーカードからブルーレイディスクに ダビングする

●ダビングについて(☞ 36ページ)
●ダビングに使用できるディスク(☞ 34ページ)

写真　動画



思い出の写真・動画※をディスクに残す(☞ 71、72ページ)
デジタルカメラやデジタルビデオカメラで撮影し、SDメモリーカードに保存された写真や動画をブルーレイディスクにダビングできます。

※SDメモリーカードに録画した番組はダビングできません。

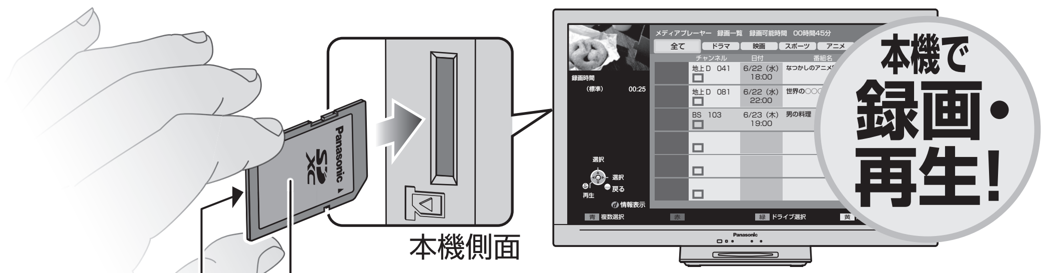
こんなことが
できます **SDメモリーカード**

SDメモリーカード／画面メモ

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

SDメモリーカード

FATフォーマットされたSDメモリーカード、FAT32フォーマットされたSDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。



入れるとき
ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込む。

取り出すとき
カードの底面の真ん中を押す。

本機ではSDメモリーカードを使用して、下記のことができます。

デジタル放送を録画・再生する（☞20、22ページ、?ガイド605、875、879）

●SDスピードクラス※が10以上のSDメモリーカードをお使いください。
- SDスピードクラスが10未満のSDメモリーカードを使用されると、録画や再生が正常に行われないことがあります。

※連続的な書き込みに関する速度規格です。

●当社製SDXCメモリーカードのご使用をおすすめします。
- SDXCメモリーカード以外では、4 GB(約20分)を超えて連続で録画した番組を再生する場合、4 GBごとに映像が一瞬止まることがあります。
- 512 MB以上のSDメモリーカードが使えますが、録画できる時間は512 MBで約1分です。長時間にわたって録画する場合は、容量の大きなSDメモリーカードをお使いください。（録画時間の目安☞111ページ）

●本機でお使いいただくSDメモリーカードは、新品のSDメモリーカードを本機専用として使用してください。また、本機専用で使用中のカードを他の用途で使用すると、本機での使用（録画や再生など）ができなくなる場合があります。
（他の機器で使用中のSDメモリーカードは、本機では使用できません）

（お知らせ）

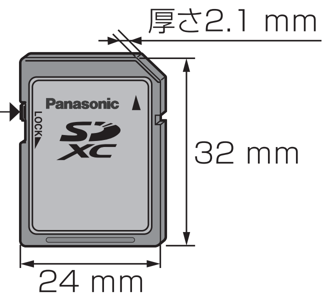
●本機でSDメモリーカードに録画した番組は、本機でのみ再生できます。
他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどで再生することはできません。
●SDメモリーカードに保存した番組は他の機器へはダビングできません。
●SDメモリーカードの使用状況によっては、録画や再生が正常に行われないことがあります。

デジタルカメラで撮影した写真(画像)、デジタルビデオカメラで撮影したビデオをテレビ画面で見る（☞23ページ、?ガイド121、580）

SDメモリーカードに関するご注意

●miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
●録画・再生中は本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを取り出したりしないでください。
SDメモリーカード内のデータが破損したり、正常に動作しなくなる場合があります。
●規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。
故障の原因になります。

書き込み禁止（LOCK）スイッチ
スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。
●番組をSDメモリーカードへ録画するときや、録画した番組を再生するときは、「LOCK」にしないでください。



画面メモ

デジタル放送を視聴中に、気に入った場面（静止画）を、SDメモリーカードに保存することができます。（?ガイド107）



●保存した画面は、らくらくアイコンの「画面メモ一覧」で見ることができます。
（?ガイド108）
●本機でSDメモリーカードに保存した画面メモ（静止画）は、本機でのみ再生できます。
他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどで再生することはできません。
●SDメモリーカードへの録画中は、画面メモを保存できません。

こんなことができます **録画する** 内蔵ハードディスク USBハードディスク SDメモリーカード

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

内蔵ハードディスクやUSBハードディスク、SDメモリーカードを使ってデジタル放送番組の録画、再生ができます。

●本機は、番組の視聴中に別のチャンネルの番組を録画できます。
●本機はデジタル放送を2番組同時に録画できます。（?ガイド623、872、877）
※残容量に余裕がある状態で録画してください。

見ている番組を録画

（内蔵ハードディスク：?ガイド624、USBハードディスク：?ガイド870、SDメモリーカード：?ガイド875）

USBハードディスク、SDメモリーカードを使う場合は
USBハードディスクを接続（☞ 接続ガイド 9）、またはSDメモリーカードを挿入（☞ 18ページ）してください。

①デジタル放送視聴中に［録画 ●］を押す（途中で録画を停止するには［停止 ■］を押す）
②▲▼で録画先の機器を選んで、「決定」を押す
●録画先は録画使用可能なドライブ機器のみ表示します。



録画中は録画ランプが赤色に点灯します。

●録画に使用できるUSBハードディスクは、本機でフォーマットしたハードディスクのみです。（☞ 82ページ）
●はじめてUSBハードディスクを接続したときには、登録のための確認画面が表示されます。

> 録画に使用できるSDメモリーカードについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2011年7月現在）
> http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報」→『VIERA「液晶テレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

●「録画・視聴設定」の「録画ボタン設定」（?ガイド266）で設定した時間（3時間録画または番組の終わりまで）に自動的に停止します。（出荷時の設定：3時間録画）

●録画中に本体で電源を切ると録画中の番組は保存されません。
●録画中に録画先（USBハードディスク、SDメモリーカード）を取り外すと、録画中の番組は保存されません。
●内蔵ハードディスク・USBハードディスク・SDメモリーカードでの録画可能時間の目安について（☞ 111ページ）
●SDメモリーカードやUSBハードディスクの使用状況によっては、録画や再生が正常に行われないことがあります。

番組表で録画予約

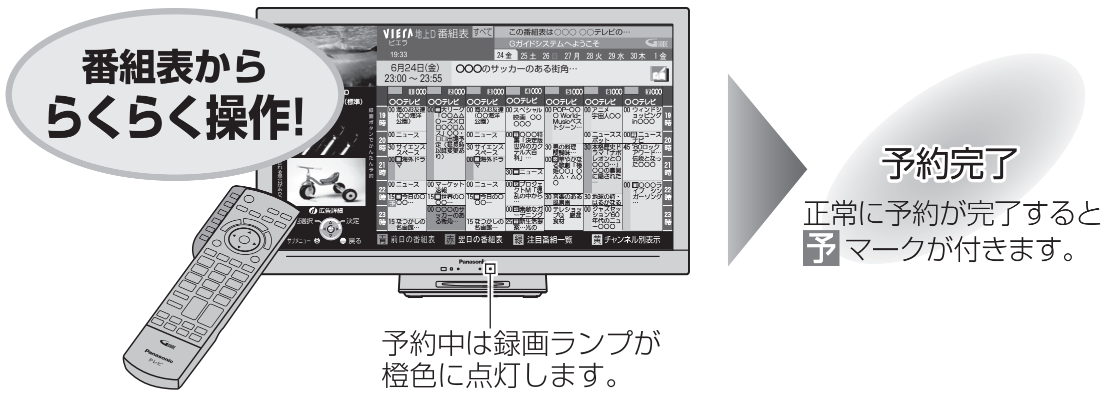
（内蔵ハードディスク：?ガイド619、USBハードディスク：?ガイド874、SDメモリーカード：?ガイド879）

番組表からかんたんに録画予約ができます。

USBハードディスク、SDメモリーカードを使う場合は
USBハードディスクを接続（☞ 接続ガイド 9）、またはSDメモリーカードを挿入（☞ 18ページ）してください。

①［番組表］を押す
②［地上］［BS］［CS 1/2］を押して放送を選ぶ
③番組表から録画予約したい番組を選ぶ
④［サブメニュー S］を押し、▲▼で録画先の機器を選んで、「決定」を押す
⑤［録画 ●］を押す
録画予約後に録画先を変更したいときは、「予約一覧」画面から切り換えてください。（☞ 下記「**■予約番組の確認**」）

予約した時間になると、自動的に録画を開始します。



予約中は録画ランプが橙色に点灯します。

●電源を切る場合は、必ずリモコンの電源ボタンで操作してください。本体で電源を切ると録画ができなくなります。
●予約した時間に設定した録画先（USBハードディスク、SDメモリーカード）が取り外されていると、録画を開始できません。（録画予約した番組の放送中にUSBハードディスクを接続したりSDメモリーカードを挿入しても、録画は開始しません。）

■予約番組の確認

①［らくらくアイコン］を押す
②「予約一覧」を選び、「決定」を押す
●予約一覧が表示されます。

●予約一覧から予約番組の削除や予約内容の変更（録画先や録画モードの変更など）ができます。（?ガイド270、280）
●実行中の予約録画を途中で停止するには［停止 ■］を押します。

こんなことが
できます **再生する** 内蔵ハードディスク / USBハードディスク / SDメモリーカード

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

録画番組の再生や管理

録画一覧から録画番組の再生などの操作ができます。

●録画番組のダビングについては（☞ 24ページ）

USBハードディスク、SDメモリーカードを使う場合は
USBハードディスクを接続（☞ 接続ガイド 9）、またはSDメモリーカードを挿入（☞ 18ページ）してください。

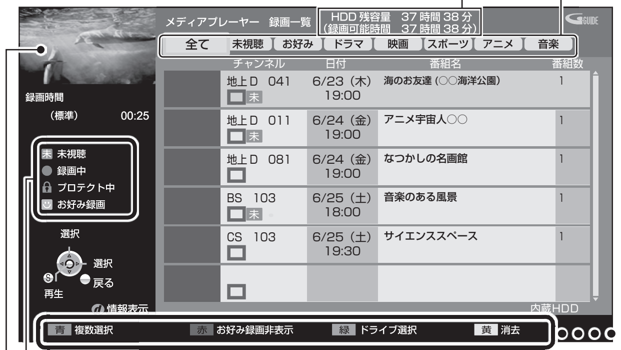
［録画一覧］を押すと、録画一覧を表示

●ドライブを切り換えるときは［緑］を押して切り換えてください。

例：内蔵ハードディスク録画一覧

残容量（録画可能時間）※

分類（◀▶ボタンで切り換える）



アイコンの説明

選択中の項目

リモコンのカラーボタンで操作

- 青：番組を複数選択する
- 赤：お好み録画番組の表示/非表示を切り換える（内蔵ハードディスクのみ）
- 緑：ドライブを選択する（内蔵ハードディスク、USBハードディスク、SDメモリーカード）
- 黄：選択している録画番組を消去する

※残容量（録画可能時間）はBSデジタルのHD放送（最高24 Mbps）を録画した場合の目安です。放送（転送レート）によって異なりますので、残量表示と実際の残容量（録画可能時間）が異なる場合があります。

■録画番組の再生（［?］ガイド605）

再生したい番組を選び、「決定」または［再生/1.3倍速 ▶］を押す

■録画番組の消去（［?］ガイド633、640、681）

残容量が不足したときに不要な番組を選んで消去します。

消去したい録画番組を選び、［黄］を押す

■録画番組のプロテクト（内蔵ハードディスク、USBハードディスクのみ）（［?］ガイド637、435）

誤消去を防ぐために、録画番組にプロテクト設定できます。プロテクト設定中の番組は消去できません。（フォーマットした場合は、プロテクト設定していても消去されます。）

①プロテクト設定したい録画番組を選び、［サブメニュー］を押す

②「プロテクト設定変更」を選び、「決定」を押す

■番組名の編集

①番組名を編集したい番組を選び、［サブメニュー］を押す

②「番組名編集」を選び、「決定」を押し、編集する

●文字を入力する（☞ 94ページ）

写真・動画の再生や管理
（USBハードディスク・SDメモリーカードのみ）

準備：USBハードディスクを接続（☞ 接続ガイド 9）、またはSDメモリーカードを挿入（☞ 18ページ）してください。

① ［らくらくアイコン］を押す

② ［メディアプレーヤー］を選び、「決定」を押す

③ドライブ（USBハードディスク、またはSDメモリーカード）を選択する
（USBハードディスクかSDメモリーカードのどちらかしか使用できないときは、自動的に④へ進みます。）

④コンテンツ（写真一覧、ビデオ一覧、録画一覧）を選択する

例：SD写真一覧（［?］ガイド127）



リモコンのカラーボタンで操作

- 青：スライドショー
- 赤：表示切換
- 緑：ドライブ選択（内蔵ハードディスク、USBハードディスク、SDメモリーカード）
- 黄：コンテンツ選択（写真一覧、ビデオ一覧、録画一覧）

■通常再生 写真（［?］ガイド121）
動画（［?］ガイド580）

再生したい写真/動画を選び、「決定」または［再生/1.3倍速 ▶］を押す

■スライドショー再生 写真（［?］ガイド130）

①［青］を押す

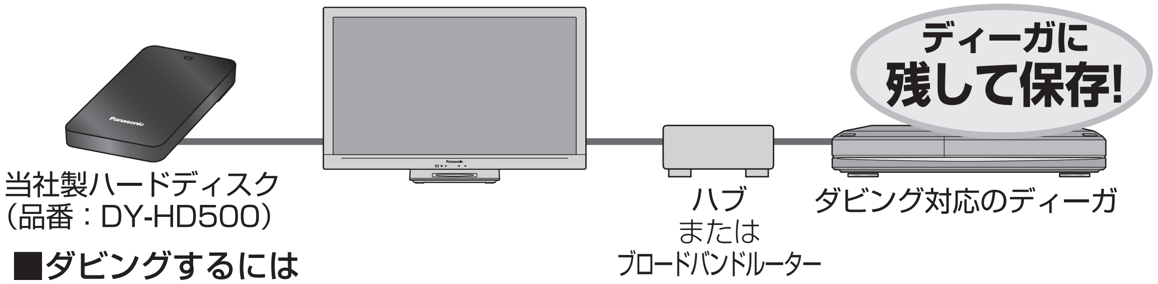
②「スライドショー開始」を選び、「決定」を押す

ディーガへのダビング

録画番組のディーガへのダビング (?ガイド655)

内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画した番組をハブやルーターを経由して、ダビング対応のディーガにダビングできます。

準備： 1(USBハードディスクを使う場合)USBハードディスクを接続(☞82ページ)してください。
2ディーガ(ダビング先)を接続する(☞86ページ)
3かんたんネットワーク設定をする(☞46、107ページ)



■ダビングするには

①[らくらくアイコン]を押す

②「ダビング」を選び、「決定」を押す
③ドライブ(内蔵ハードディスク、またはUSBハードディスク)を選ぶ
④「録画一覧」を選び、「決定」を押す
⑤「ディーガにダビング」を選び、「決定」を押す
⑥録画一覧画面でダビングしたい番組を選び、「決定」を押す

■ダビングを中止するとき

本機でテレビ放送視聴中に[停止 ■]を押す

お知らせ

●SDメモリーカードに録画した番組はダビングできません。
●ダビング先のディーガの設定も必要な場合があります。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。
●無線LANで接続するには(☞84ページ)
●ダビング(コピー)の制限について(?ガイド655)
●ダビング中は録画ランプが赤色に点灯します。
●録画中のダビングやダビング中の録画はできません。
●ディーガから本機の内蔵ハードディスクやUSBハードディスクにはダビングできません。
●複数の番組を選んでダビングすることはできません。
●外部入力で録画した映像はディーガにはダビングできません。

ダビング対応のディーガについて(2011年7月現在)
●DMR-BZT900／DMR-BZT800
●DMR-BZT700／DMR-BZT600
●DMR-BWT500　●DMR-BRT300　●DMR-BF200
●DMR-BWT3100／DMR-BWT2100／DMR-BWT1100
●DMR-BWT3000／DMR-BWT2000／DMR-BWT1000
●DMR-BW890／DMR-BW690
●DMR-BW880／DMR-BW780／DMR-BW680
●DMR-BW970／DMR-BW870／DMR-BW770

音声ガイド／エコナビ／無線LAN

電子説明書の使いかた(☞6ページ)

音声ガイド

番組表の内容や予約設定、録画一覧、選局時、「入力切換」ボタンを押したときの切り換え先、エラーメッセージなどを読み上げます。

●音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。また、2画面時には音声ガイドの読み上げを行いません。

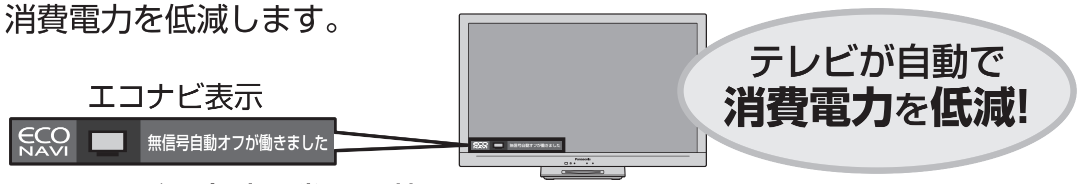


音声ガイドの設定画面を表示するには、お知らせ音がするまで[メニュー]を押し続ける。

●詳しくは(?ガイド411)

エコナビ (?ガイド865)

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

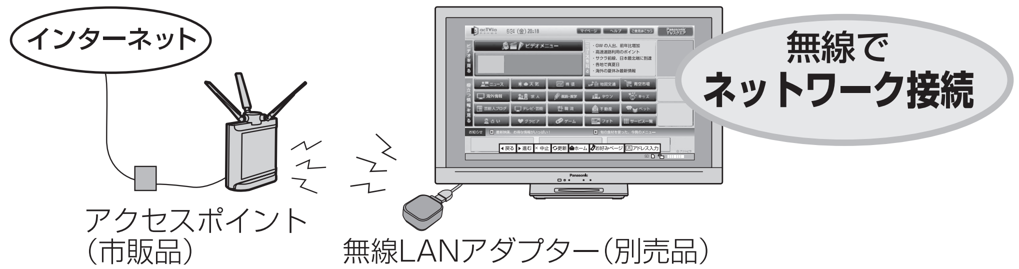


■エコナビ設定時の省エネ効果について

●エコナビ「オン」時は、エコナビ「オフ」時に対して、約5パーセント消費電力を削減します。(視聴環境, 使用条件により、効果は異なります。)
＜測定条件＞
●映像メニュー：スタンダード(標準)　●照度：250ルクス　●カラーバー信号受像
●本機の電源を入れて1時間30分後、安定させた状態での消費電力で比較

無線LAN (☞84ページ)

本機に無線LANアダプター(別売品)を接続すると、無線LANでネットワークに接続することができます。(別途アクセスポイントが必要です。)



●接続のしかた(☞接続ガイド9)
●無線LANを通じて、インターネットやお部屋ジャンプリンクなどを使うことができます。(☞26～28ページ)
●接続後は、画面に従って設定を行ってください。

お部屋ジャンプリンク／くらし機器　インターネットを楽しむ

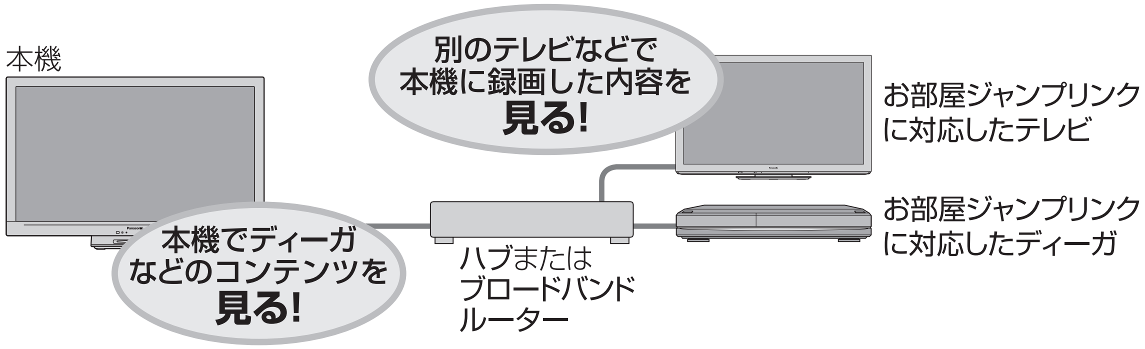
お部屋ジャンプリンク (☞86、88、100～102ページ)

●お部屋ジャンプリンクは、DLNAの技術を使用しています。

お部屋ジャンプリンクとは…

●本機とお部屋ジャンプリンクに対応したディーガをLANケーブルで接続、設定すると、ディーガのハードディスクに保存した映像や写真を本機で再生できます。
また、ディーガへの録画予約を本機からできます。(?ガイド251)

●お部屋ジャンプリンクに対応した別の当社製テレビなどで、本機の内蔵ハードディスクなどに録画した内容を視聴することができます。(ホームサーバー機能)

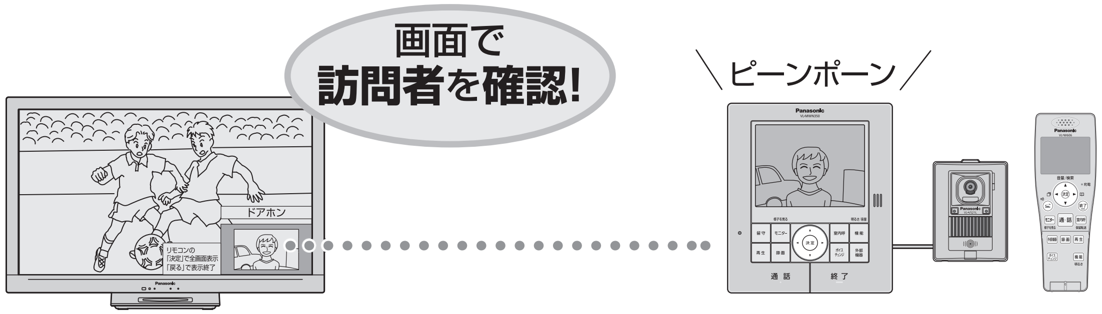


■接続について

●接続のしかた(☞接続ガイド9)

●複数のお部屋ジャンプリンクに対応したディーガなどを接続するときには、ハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。

くらし機器 (☞86、103ページ)



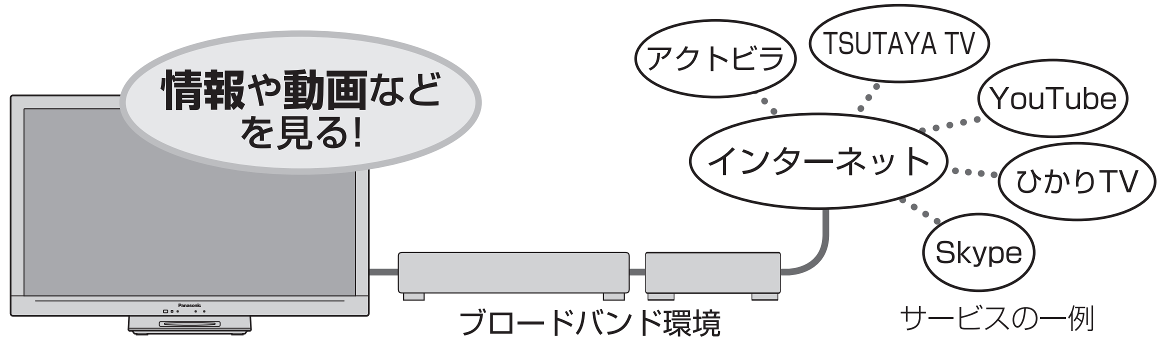
くらし機器とは…

●本機とLANケーブルで接続し、本機の画面で画像の確認ができる機能を持った機器です。

●本機にくらし機器を接続、登録すると…

- 外の様子が気になったときに「ビエラリンク」メニューでくらし機器の映像を見たり、操作するなどできます。
- ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、本機の画面に表示できます。

インターネットを楽しむ



ブロードバンド環境で本機をインターネットに接続すると、テレビで通話が楽しめる「Skype」や動画共有サイト「YouTube」、映画の視聴などが可能な「アクトビラ」などへ接続できます。

・インターネットのサービスによっては、利用者登録が必要なサービスがあります。
・当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。

■インターネットのサービスを使うには

① ネット ボタンを押す。

② 使うサービスのアイコンを選んで、「決定」ボタンを押す。

■本機で利用できるサービス内容(2011年7月現在の情報です)

●アクトビラ(☞90ページ)
・本機は「アクトビラ ビデオ・フル」に対応しています。
・最新情報は、http://panasonic.jp/support/actvila/ を参照してください。
・マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。

●TSUTAYA TV
・株式会社TSUTAYA TVが提供するテレビ向け動画配信サービスです。
・本機は、TSUTAYA TVのサービスのうち、レンタル(ストリーミング)に対応しています。
・コンテンツ内容の不明点は、TSUTAYA TVホームページよりお問い合わせください。
TSUTAYA TVホームページ　http://tsutaya-tv.jp/

●Skype
・別売のビエラ コミュニケーション カメラ(品番:TY-CC10W)を本機に接続すると、インターネット経由のビデオ通話や音声通話を利用できます。
詳しくは、ビエラ コミュニケーション カメラの取扱説明書をよくお読みください。

●ひかりTV(☞28ページ)
・光回線(NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線)を利用して多チャンネル放送やビデオなどが楽しめる有料のブロードバンド映像配信サービスです。
ご利用条件やコンテンツ内容の不明点は、ひかりTVホームページよりお問い合わせください。
ひかりTVホームページ　http://www.hikaritv.net/

●YouTube(ユーチューブ)
・YouTube社が運営・管理している動画共有サービスです。
コンテンツ内容の不明点は、YouTubeホームページよりお問い合わせください。
YouTubeホームページ　http://www.youtube.com/t/contact_us
・本機には動画を投稿する機能はありません。動画の投稿はパソコンをご使用ください。

※システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。

こんなことができます インターネットを楽しむ(ひかりTV)

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。

ひかりTV …ご利用には別途契約が必要です。

(NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線が必要です。)

■ひかりTVのサービスについて(2011年7月現在)

テレビ ………80チャンネル以上の放送があります。

ビデオ ………映画やドラマなど、数多くのコンテンツを見ることができます。

※見ることができるチャンネルやコンテンツは、契約内容によって異なります。

まず、ご確認を。
- ●接続はお済みですか?(☞接続ガイド 9)
- ●かんたんネットワーク設定はお済みですか?(☞46、107ページ)
- ●ひかりTV設定はお済みですか?(? ガイド862)

■ひかりTVを見る

①(ネット)ボタンを押す。

②「ひかりTV」を選んで、「決定」ボタンを押す。

③見たい項目を選んで、「決定」ボタンを押す。

※回線の状態によっては、表示されるのに時間がかかることがあります。

●ひかりTVの視聴を終了するときは、(元の画面)を押す。

お知らせ

●ひかりTVの番組には、視聴年齢制限が定められている番組があります。
(視聴可能年齢 ? ガイド388)

●ひかりTVの番組は、録画できません。

●ひかりTVの番組は、見るだけ予約をすることはできません。

●地上デジタル放送やBSデジタル放送の再送信サービスには対応していません。

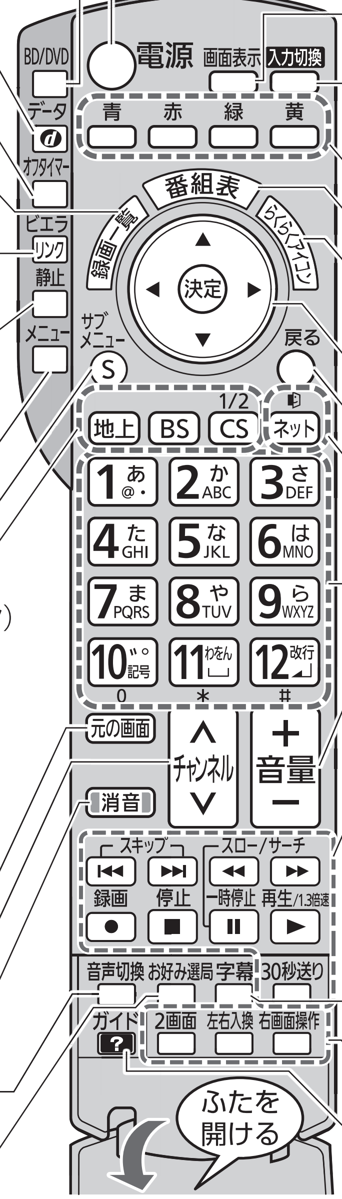
■ひかりTV視聴時に使うリモコンボタン

ボタン	はたらき
画面表示	番組のタイトルなどを表示する
入力切換	ひかりTVを終了して、通常の放送や外部入力に切り換える
青 赤 緑 黄	画面に従って使う(カラーボタン)
番組表	ひかりTVの番組表を見る
決定	項目を選ぶ／再生操作パネル表示中は画面を操作する
サブメニュー S	「テレビ」サービス視聴時サブメニューを表示する 「ビデオ」サービス視聴時再生操作パネルを表示する
戻る	ひとつ前の項目に戻る／再生操作パネル表示中は再生操作パネルを消す

ボタン	はたらき
ネット	ひかりTVを終了してインターネットの画面を表示する
元の画面	ひかりTVを終了して通常の放送に戻る
1〜12、チャンネル	チャンネルを切り換える
＋ 音量 −	音量を調整する
消音	音を消す(もう一度押すと解除)
音声切換	音声モードを切り換える
お好み選局	選局表から好きな番組を選ぶ
字幕	字幕を切り換える

各部のはたらき(リモコン)

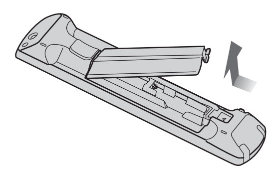
電子説明書の使いかた(☞6ページ)



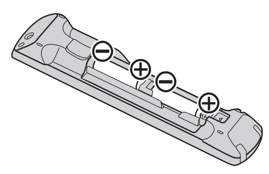
- BD/DVDを再生する(☞57ページ)
- データ放送を見る(? ガイド190)
- オフタイマーを使う(? ガイド358)
- 録画一覧を表示する(? ガイド605)
- ビエラリンク対応機器を使う(☞14ページ)
- 画面を静止する(? ガイド107)
  - ●もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。
- メニュー画面を表示する
- サブメニューを表示する(? ガイド521)
- 放送を切り換える(放送切換ボタン)(? ガイド101)
  - ●押すとボタンが点滅。(1〜12を押しても点滅)
  - ●前回選んだボタンを記憶しています。
  - ●見ない放送のボタンを使えないようにできます。(BS・CSのみ)(? ガイド704)
- テレビ放送画面に戻る
- チャンネルを順送りで選ぶ
- 音を消す(もう一度押すと解除)
- 2カ国語などを切り換える(? ガイド316)
- 選局表から見たい局を選ぶ(? ガイド104)
- 本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
- 番組のタイトルなどを表示する(? ガイド451)
- 外部入力に切り換える(DVD・ビデオなど)(? ガイド110)
- 画面に従って使う(カラーボタン)
- 番組表を見る(? ガイド501)
- らくらくアイコンを使う(☞13ページ)
- 画面上で選ぶ／決定する
- 1つ前の画面に戻る
- インターネットの画面を開く(? ガイド200、207)
- チャンネルを切り換える／文字を入力する
- 音量を調整する(画面下に音量を表示)
- 録画・再生操作をする
  - ●内蔵ハードディスクや録画・再生機器を操作する(? ガイド607)
  - ●ディスクを操作する(? ガイド885)
- 字幕がある場合に、字幕の「オン」「オフ」を切り換える(? ガイド380)
- 2画面を操作する(? ガイド340)
- 電子説明書を見る(☞6ページ)

リモコンに乾電池を入れる

①ふたを開ける。



②単3形乾電池(付属品)を⊖側から入れ、ふたを閉める。



お願い

●リモコンに液状のものをかけないでください。

●リモコンを落とさないでください。

●本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

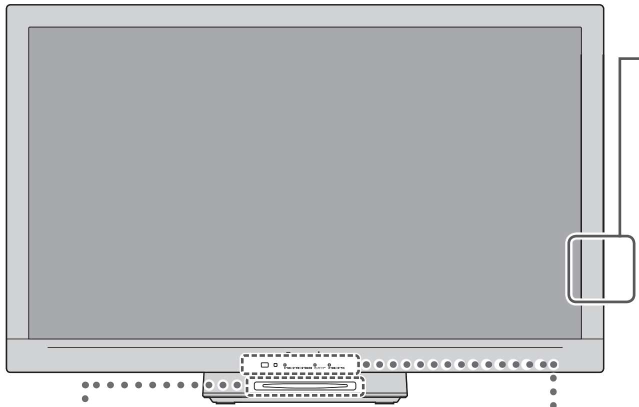
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

各部のはたらき（本体）

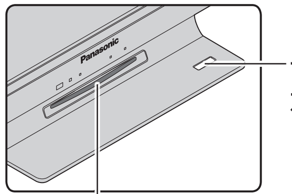
電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

前面

説明イラストは、TH-L37RB3
を元に作成しています。



本体の電源ボタンは右側面に
あります。
(説明は「背面・側面」☞31ページ)



ディスク取出し
ボタン
(☞ 16ページ)

ディスク挿入口(☞ 16ページ)

録画ランプ
●以下の場合は赤色点灯
●録画中
●フォーマット中(内蔵ハードディスク、USBハードディスク、SDメモリーカード、ブルーレイディスク)
●ダビング中
●予約時、橙色点灯
●ディスクの取り出しに時間がかかる場合は赤色点滅(最大約2分)
●内蔵ハードディスク/ブルーレイディスクドライブに関する注意事項
(☞ 110、113ページ)



オンタイマーランプ
●オンタイマー設定中、
橙色点灯
(? ガイド357)

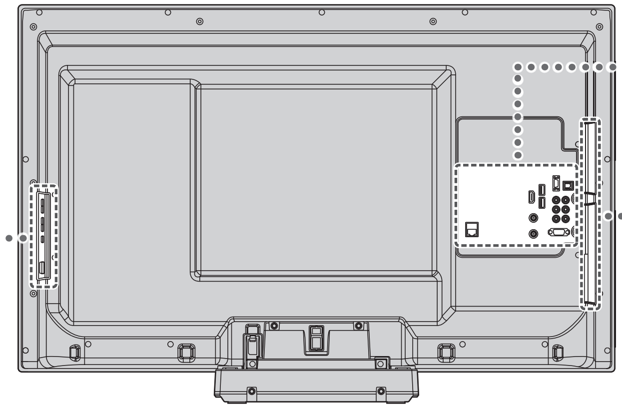
リモコン受信部
●正面…約7 m以内
●左右…各約30°
●上下…各約20°

電源ランプ
●リモコンで電源「入」時、緑色点灯
●リモコンで電源「切」時、赤色点灯
ただし、以下の場合は橙色点灯
●電源オン連動「する」設定中
●録画中
●クイックスタート「入」設定中、電源「切」にして24時間以内
●ダビング中
●ホームサーバー機能使用中(☞ 101ページ)
●本体で電源「切」時、消灯
ただし、以下の場合は橙色点灯
●ブルーレイディスクドライブ停止処理中

明るさセンサー
●「明るさオート」
(? ガイド303)
に対応して、映像
を調節するための
受光部

お願い
●明るさセンサーの前にものなどを置かないでください。
正常に動作しなくなる場合があります。
●リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

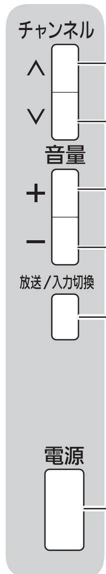
背面・側面



背面端子部
(☞ 44、45ページ、接続ガイド)

側面端子部(左側面)
(☞ 接続ガイド)

操作部(右側面)

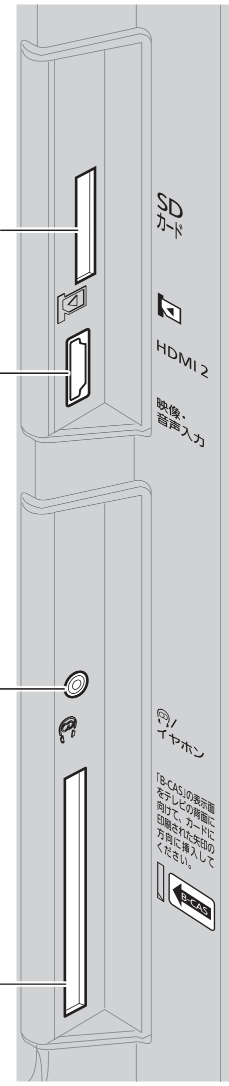


チャンネルを順送りで
選ぶ

音量を調整する

放送を切り換える／
外部入力にする

電源「入」「切」ボタン
●「入」でリモコン
操作が可能。



SDメモリーカード挿入口
(☞ 18ページ)

HDMI 2端子
(☞ 76ページ)

ヘッドホン／イヤホン接続端子
(ステレオ：M3プラグ)
●2画面時は、左画面の音声を出すか
右画面の音声を出すか設定できます。
(? ガイド365)
(音声出力を「右画面」に設定中は、
右画面の音声が出る〈♪マークを表示〉)

B-CASカード挿入口
(☞ 43ページ)

本機で楽しめる放送

本機はデジタル放送専用です。
※地上アナログ放送やBSアナログ放送は受信できません。

地上デジタル放送について

（2011年7月現在）

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
※本機ではワンセグ放送は受信できません。

●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。
●地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。（従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあり、受信できない場合があります。）
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送出力が増大された場合に、受信設備（ブースターなど）の再調整、変更が必要になる場合があります。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

■地上デジタル放送を見るためには

付属品を確認する （☞ 4ページ）
▼
リモコンの準備をする （☞ 29ページ）
▼
アンテナ線を接続する （☞ 44ページ）
▼
B-CASカードを挿入する （☞ 43ページ）
▼
初期設定を行う（かんたん設置設定） （☞ 46ページ）
▼
見る　見ることができないときは？ （☞ 108ページ）

お問い合わせ先（地デジ放送について）

●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570−07−0101（IP電話等でつながらない場合は、03−4334−1111）
受付時間：平日…9：00〜21：00、土日・祝日…9：00〜18：00

●社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

ケーブルテレビ（CATV）を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

衛星（BS・110度CS）放送について

■BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite（ブロードキャスティング サテライト））を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
WOWOW（ワウワウ）やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

■110度CSデジタル放送

通信衛星（Communications Satellite（コミュニケーションズ サテライト））を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー！ e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は51ページをご参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

●「WOWOW」　公式ホームページ：http://www.wowow.co.jp/
カスタマーセンター：0120−580807　受付時間 9:00 〜20:00（年中無休）

●「スター・チャンネル」　公式ホームページ：http://www.star-ch.jp/
カスタマーセンター：0570−013−111（ナビダイヤル）
（PHS・IP電話のかたは045-339-0399）　受付時間 10：00 〜18：00
•スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！ e2カスタマーセンターへお問い合わせください。

●「スカパー！ e2」　公式ホームページ：http://www.e2sptv.jp/
カスタマーセンター：0570−08−1212（ナビダイヤル）
（PHS・IP電話のかたは045−276−7777）受付時間 10：00 〜20：00（年中無休）

本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

ディスクについて

本機では、内蔵ハードディスク(HDD)やUSBハードディスク、SDメモリーカードからブルーレイディスク(BD)へのダビング(記録)と、ブルーレイディスクやDVDディスクの再生ができます。

できること ディスク	ディスクへのダビング	再生	ディスクへの 直接録画
ブルーレイディスク	○	○	×
DVDディスク	×	○	×

●使用可能なディスク（☞ 127ページ）
●ディスクに関する注意事項（☞ 112ページ）

ダビングや再生ができるディスク

本機でダビングに使用できるディスクは、ブルーレイディスクのBD-RE(くり返し録画用)とBD-R(1回録画用)の2種類です。
ご購入の際は、パッケージに記載されている内容(容量、ロゴなど)をご確認ください。

BD-RE※ Blu-ray Disc™ くり返し録画用

BD-R※ Blu-ray Disc™ 1回録画用

※ DL、BDXLも含みます。
DLとは片面2層(50 GB)のディスクのことを表します。
BDXLとは、ブルーレイディスクアソシエーションにより決定された、大容量ブルーレイディスクに関する規格です。

(お知らせ)
- ●LTH type のBD-R にダビングした場合、再生機器がLTH type に対応していないと再生できないときがあります。
- ●本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)へのダビングや再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
- ●8 cm ブルーレイディスクへはダビングできません。

再生のみできるディスク

●BDビデオ(市販ソフト)
・本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。
・リージョンコードは国により違います。

「A」または「A」を含むもの
例) A　ABC

●DVDビデオ(市販ソフト)
・本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。
・リージョン番号は国により違います。

「2」または「2」を含むもの、「ALL」が表示されたもの
例) 2　ALL　124

●音楽CD(市販ソフトなど)

●他の機器で記録されたDVDのディスク※

●他の機器で記録されたビデオ映像(AVCHD)のディスク※

●DVD-RAM

※記録した機器でファイナライズされたディスクのみ再生できます。

(お知らせ)
- ●記録状態によっては再生できない場合があります。
- ●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

■**使用できないディスク**(例)

●DVD
- ●カートリッジから取り出せないDVD-RAM(TYPE1)
- ●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- ●他の機器で記録し、ファイナライズされていないDVDのディスク
- ●DVD-ROM　●HD-DVD　●DVDオーディオ

●BD
- ●BD-RE(Ver.1.0)(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)

●その他
- ●HD DVD　●ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
- ●Photo-CD　●パソコンやゲームのソフト　など

ダビングについて

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

ブルーレイディスクに、内蔵ハードディスクやUSBハードディスクから番組をダビングするとき（[?]ガイド898）

ブルーレイディスクを準備する 34ページ

●使用可能なディスク（☞ 127ページ）

ブルーレイディスクを入れる 16ページ

●信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認し、挿入してください。

ダビングする 70ページ

●記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。「ダビングする」を選び、「決定」を押してください。

ブルーレイディスクに、SDメモリーカードから写真やビデオ映像（AVCHD）をダビングするとき（写真：[?]ガイド972、ビデオ：[?]ガイド903）

ブルーレイディスクを準備する 34ページ

●使用可能なディスク（☞ 127ページ）

SDメモリーカードを入れる 18ページ

●ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込んでください。

ブルーレイディスクを入れる 16ページ

●信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認し、挿入してください。

ダビングする 71、72ページ

●記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。「ダビングする」を選び、「決定」を押してください。

ダビングモードについて（[?]ガイド899）

ディスクの容量が足りないとき、ダビングモードを変更することにより録画容量を調整できます。

●ダビングモード「高速」でブルーレイディスクにダビングすると、ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で、ダビングできます。
●ダビングモード「HE」「HM」でダビングすると、番組の記録時間と同じ時間がかかります。
●ダビング時に元の録画の画質より高画質なダビングモードを選んでも、画質は向上しません。（例：録画モード「長時間2」の番組をダビングモード「HE」でダビングした場合）

ダビングしたディスクを他の機器で再生したいとき

●BD-RE、BD-Rに対応した機器でそれぞれ再生できます。
●録画モード「標準」以外のハイビジョン画質で録画した番組や、ビデオ映像（AVCHD）は他の機器で再生できない場合があります。
●BDXLのブルーレイディスクは、右記のロゴの付いた機器で再生できます。

お知らせ

●ダビング中、[画面表示]を押すと、ダビングの進捗状態が確認できます。
●ダビングの履歴が見たいときは（[?]ガイド169）
●本機で記録する場合、ディスクに管理情報などが書き込まれるので、新品のディスクでも残容量が減少して表示されます。

ダビングについて（つづき）

ダビング回数の制限について

●デジタル放送のほとんどの番組はコピー制限があり、ダビングできる回数が制限されています。
●ダビングできる回数は、画面上で確認できます。

例：番組内容画面（内蔵ハードディスク）



数字はダビングできる残り回数です。
ダビング可能な回数をダビングすると、本機（内蔵ハードディスク）から消去されます。

●ディスクに録画された番組を内蔵ハードディスクやUSBハードディスクにダビングすることはできません。
●コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

録画モードについて

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

録画モードの種類

録画予約（☞ 66ページ）の際に設定してください。

録画モード		特　長	
ハイビジョン画質	**標準**※	高画質	放送そのままのハイビジョン画質で記録します。
	長時間1※	↕	放送データを圧縮してハイビジョン画質で長時間記録します。（MPEG4 AVC（H.264）エンコードで圧縮されます。）
	長時間2※	長時間	
外部入力	**ビデオ**※	外部入力（ビデオ入力1～2）を録画する場合の録画モードです。他の録画モードは設定できません。（ハイビジョン画質ではありません。）	

※ ブルーレイディスクの録画一覧では「標準」は「DR」、「長時間1」は「HE」、「長時間2」は「HM」、「ビデオ」は「XP」と表示されます。

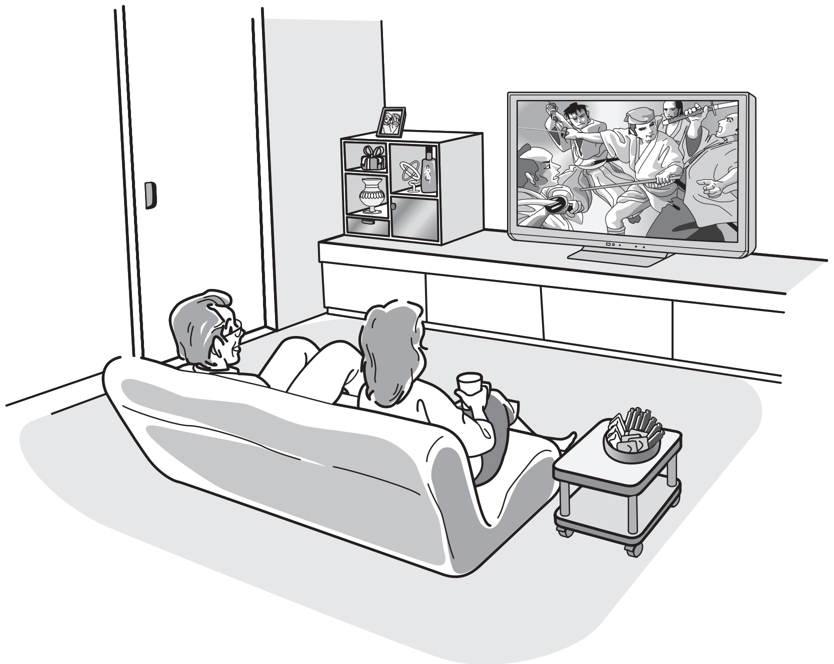
●スポーツや音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を「長時間1」や「長時間2」の録画モードで録画すると、ブロック状のノイズが目立つことがあります。
この場合、高画質の録画モード「標準」をお使いになることをおすすめします。

●マルチ音声番組を録画モード「標準」で録画した場合は、複数の音声をすべて記録し、複数の映像がある番組でもすべての映像を記録します。録画モード「長時間1」「長時間2」で録画した場合は、最大2つの音声と1つの映像を記録します。
・音声や映像信号を切り換える（?ガイド316、317）
・字幕のある番組は、再生時に「切」「入」ができます。（?ガイド380）

設置する（据え付け）

本機（スタンド付）の設置

設置時のイメージ図



お願い

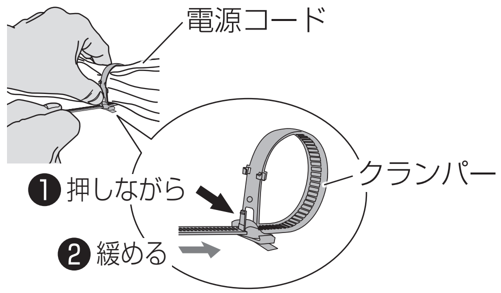
●本機は必ず水平な場所に設置してください。ブルーレイディスクドライブは、傾くと正常に記録・再生ができなくなることがあります。

電源コードについて

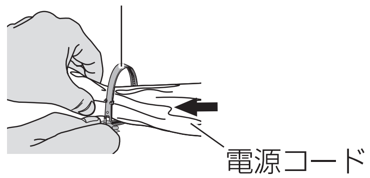
■電源コードの外しかた

①クランパーの←部を押しながら(❶)、クランパーを緩める(❷)

※電源コードはシートで包装されている場合があります。

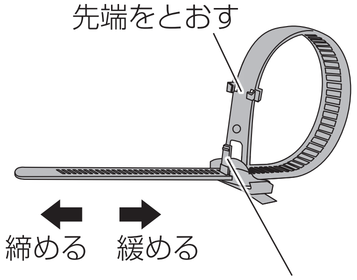


②緩めたクランパーから電源コードを取り外す



ケーブル配線処理について

背面にあるクランパーを使ってアンテナ線、接続コードを束ねてください。



お願い

●画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

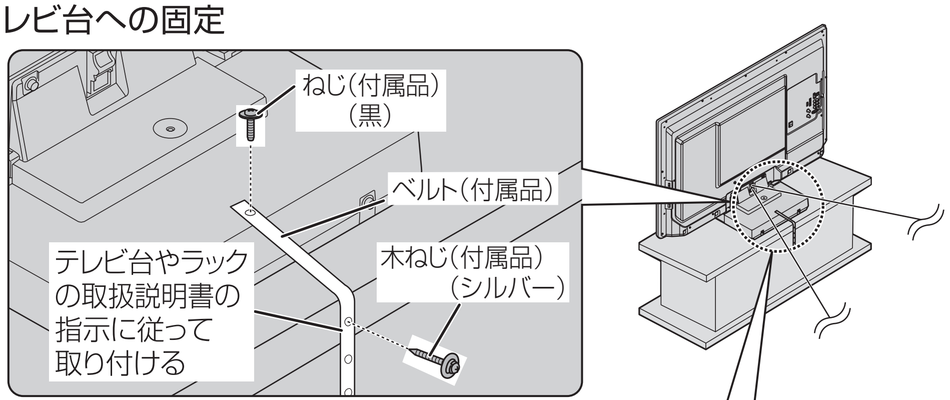
設置する（転倒・落下防止／電源プラグ）

安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

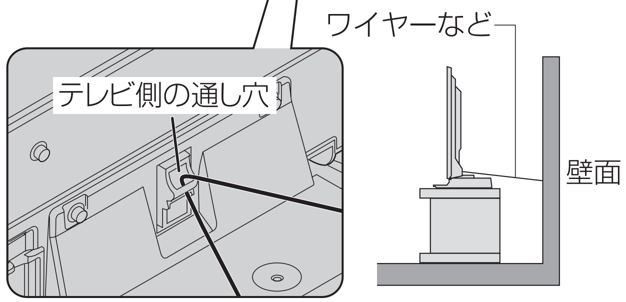
地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

付属品の転倒・落下防止部品（☞4ページ）の取り付け方法は、下記をご覧ください。
※テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

■テレビ台への固定

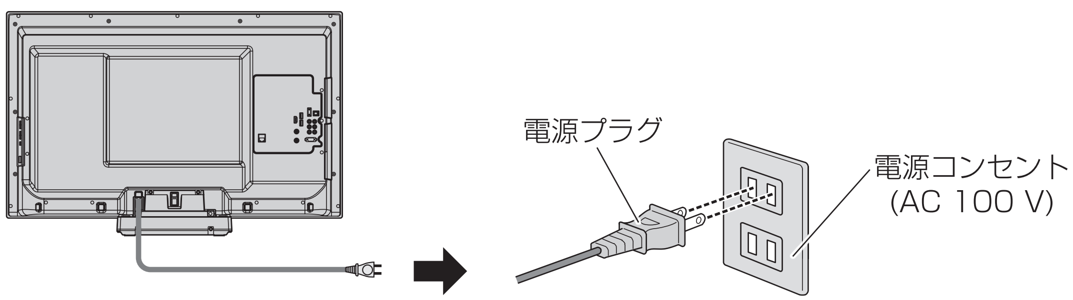


■壁面への固定
テレビ側の通し穴に、丈夫なひもやワイヤー（市販品）などを通して固定する



電源プラグについて

本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。



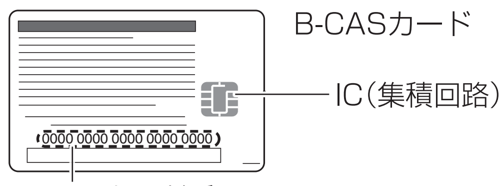
B-CAS（ビーキャス）カードの挿入

電子説明書の使いかた
（☞6ページ）

●カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、必ず挿入してください。
●**挿入しないとデジタル放送が映りません。**
●「使用許諾約款」をよくお読みください。

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるために
B-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて
●台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。



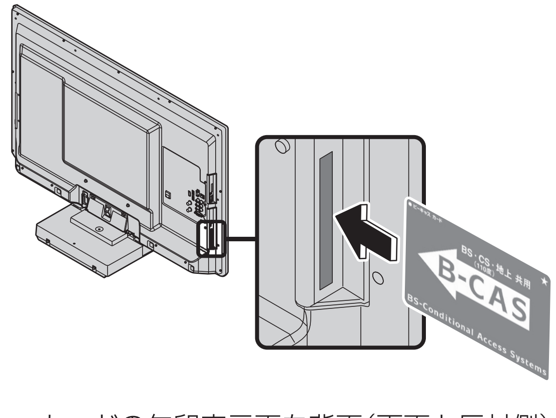
●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点
●折り曲げたり、変形させない。
●重いものを置いたり踏みつけたりしない。
●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
●IC（集積回路）部には手をふれない。
●分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ（故障交換や紛失時など）は
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る（☞31ページ）

2 B-CASカードを挿入する



カードの矢印表示面を背面（画面と反対側）に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

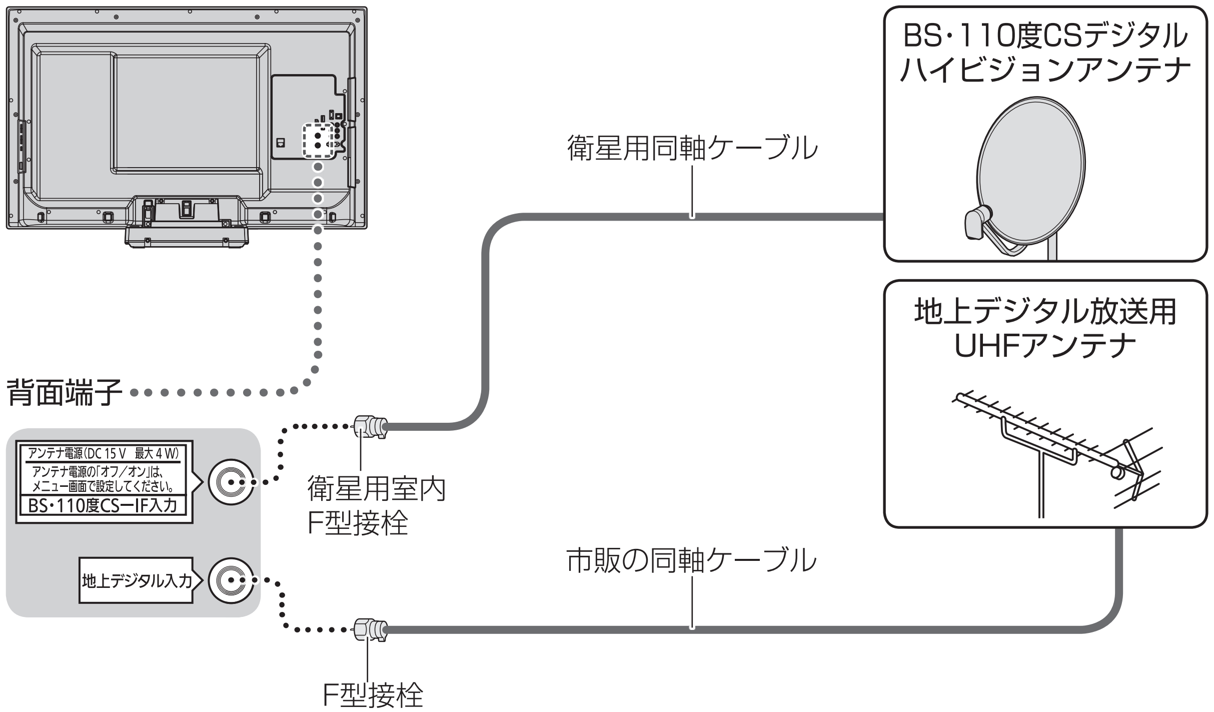
●B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
●B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをする
（？ガイド739）
●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

■B-CASカードを抜くとき
➡（1）本体の電源ボタンで「切」にする。
（2）B-CASカードを抜く。
●B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

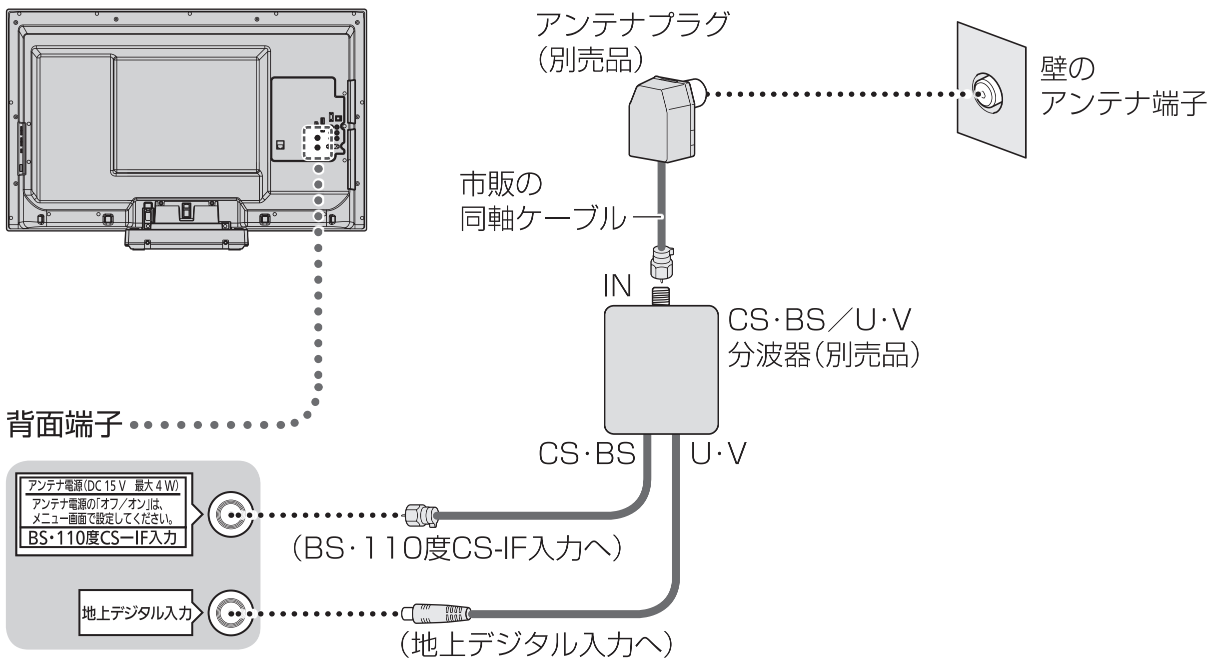
アンテナ線の接続（接続完了後に電源プラグを差し込む。（☞42ページ））

一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合



●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞51ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞50ページ）

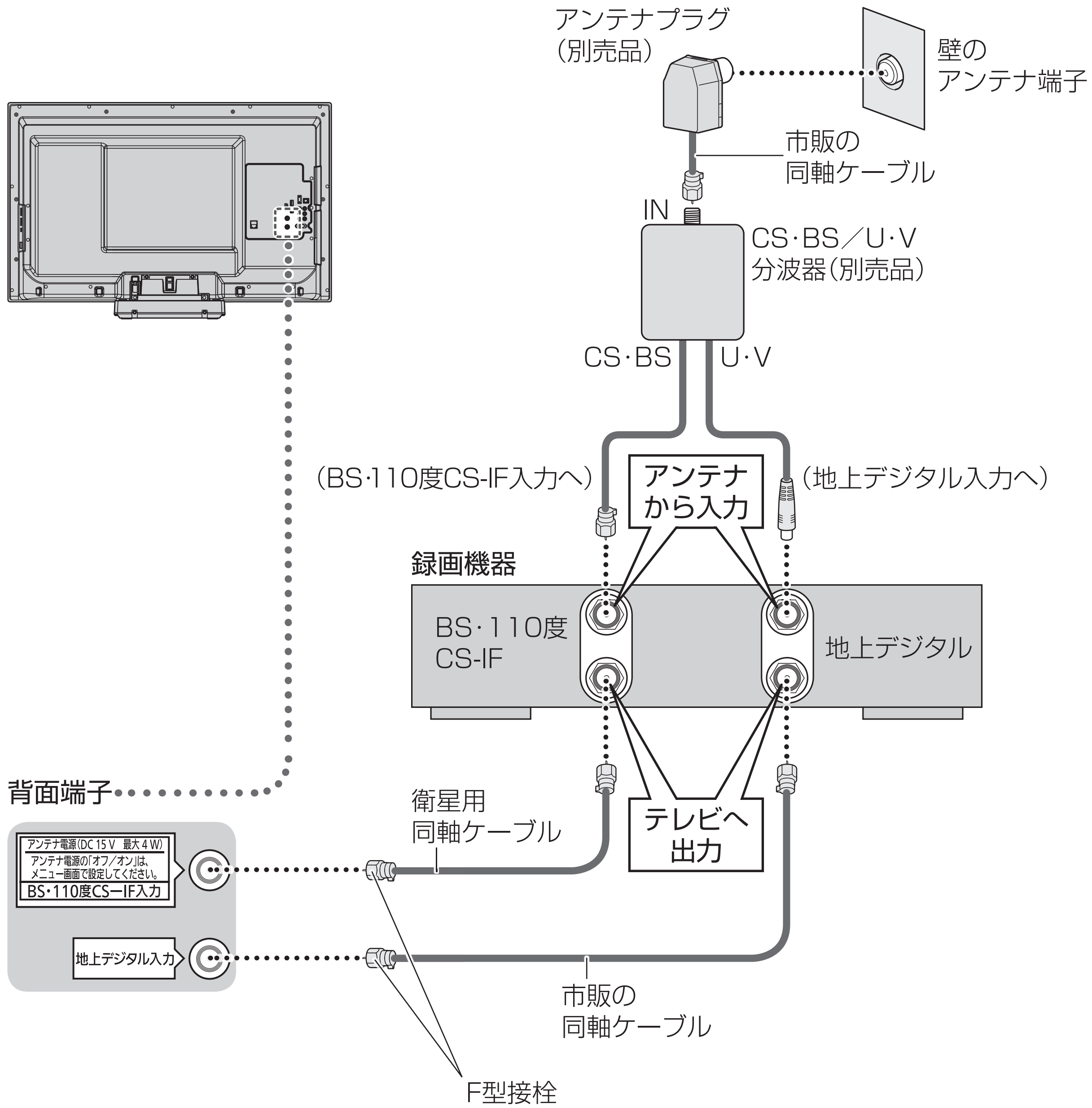
マンションなど、共同のアンテナで受信する場合



●アンテナ電源を「オフ」にしてください。（☞51ページ）

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS･CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。



（お知らせ）

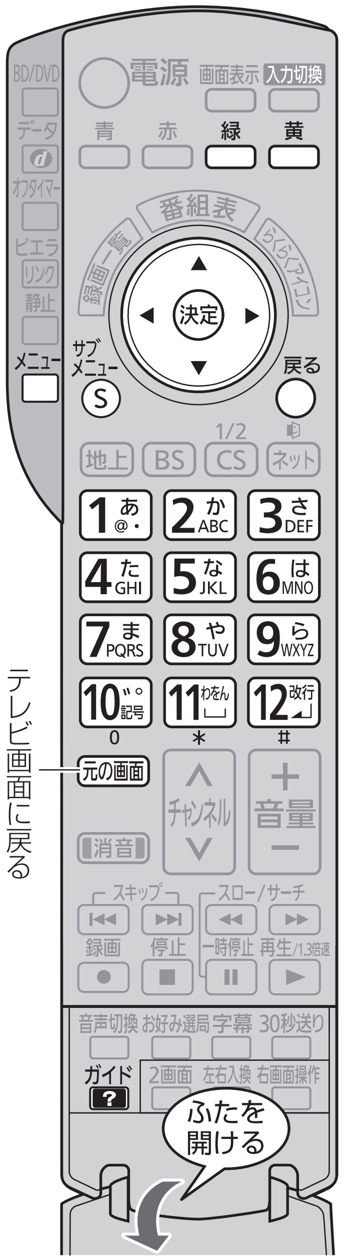
●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの（ケーブル･分配器･分波器･アンテナプラグなど）は変わります。詳しくは販売店へご相談ください。
●地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞50ページ）

設置設定をやり直す かんたん設置設定

電子説明書の使いかた
（☞6ページ）

こんなときに…

●引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直します。



テレビ画面に戻る

画面に従って順に設定する

1 メニューを押す

2 「設定する」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組を探す/予約する
- **設定する**

3 「初期設定」を選び、「決定」を押す

- 画面の設定
- 音声の設定
- システム設定
- **初期設定**

4 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

（3秒以上）

- **かんたん設置設定**
- かんたんネットワーク設定
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

初期設定画面

5 画面の指示に従って操作する

■お買い上げ時の状態からやり直すとき

①「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
②本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

ネットワークの設定をやり直すとき

上記の手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。

- かんたん設置設定
- **かんたんネットワーク設定**
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

個別にやり直すとき

■チャンネル設定

かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。
衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。

初期設定画面：
- かんたん設置設定
- かんたんネットワーク設定
- **設置設定**
- ネットワーク関連設定
- 省エネ設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定

「決定」を3秒以上押す →

設置設定
- 受信対象設定
- **チャンネル設定**
- 番組表設定
- 地域設定
- 受信設定

●地上デジタル放送のチャンネル修正※（☞48ページ）
●衛星デジタル放送のチャンネル修正（☞49ページ）

■受信設定（個別アンテナ使用時）

アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル（受信する電波の質）を確認できます。

初期設定画面：
- かんたん設置設定
- かんたんネットワーク設定
- **設置設定**
- ネットワーク関連設定
- 省エネ設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定

「決定」を3秒以上押す →

設置設定
- 受信対象設定
- チャンネル設定
- 番組表設定
- 地域設定
- **受信設定**

●地上デジタル放送の受信設定（☞50ページ）
●衛星デジタル放送の受信設定（☞51ページ）

■アッテネーター

地上デジタル放送の場合、放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。（☞50ページ）

■上記以外の項目

電子説明書をご覧ください。（? ガイド703）

※新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変化したときは、再スキャンを行ってください。（☞49ページ）

お知らせ

●地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。（2011年7月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-○○○○」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

設置設定をやり直す チャンネル修正（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー 押す → 「設定する」を選び、「決定」を押す → 「初期設定」を選び、「決定」を押す → 「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す → 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組を探す/予約する
- **設定する**
- エコナビ
- ネットで使い方ガイド
- 画面モード設定

- 画面の設定
- 音声の設定
- システム設定
- **初期設定**
- 情報を見る

- かんたん設置設定
- かんたんネットワーク設定
- **設置設定**
- ネットワーク関連設定
- 省エネ設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定
- 設定リセット

設置設定
- 受信対象設定
- **チャンネル設定**
- 番組表設定
- 地域設定
- 受信設定
- クイックスタート　切　入
- B-CASカードテスト　ーー

地上デジタル放送のチャンネル設定（初期スキャン）

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定：**地上デジタル**／BS／CS1／CS2

②◀ ▶で「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

③◀ ▶でお住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択　**東京**

④◀ ▶で「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

受信帯域選択
通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。（詳しくはCATV会社にご確認ください）
UHF　全帯域

- ●通常は「UHF」を選んでください。
- ●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
- ●今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
- ●スキャンには10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

⑤▲▼で内容を確認する

- ●修正するときは（☞49ページ「マニュアル」手順③、④）
- ●画面下部に「電波が強すぎます。」と表示された場合は、アッテネーターを「オン」に設定（☞50ページ）し、「再スキャン」（☞49ページ）を行ってご確認ください。

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター オフ

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	○○○放送	テレビ	76	高
2	021	△△△テレビ	テレビ	74	高
3	----		テレビ	77	高

⑥戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（再スキャン）

地上デジタル放送の受信状況が変わったときに、受信できる局を自動で追加します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「再スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　**再スキャン**　マニュアル

- ●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
- ●スキャンには10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

③▲▼で内容を確認する

- ●修正するときは（☞下記「マニュアル」手順③、④）

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター オフ

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	○○○放送	テレビ	76	高
2	021	△△△テレビ	テレビ	74	高
3	----		テレビ	77	高

④戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（マニュアル）

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　**マニュアル**

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

④◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	○○○放送	テレビ
2	021	△△△テレビ	テレビ
3	----	テレビ○○	テレビ

リモコン番号設定　1

CH	011
チャンネル名	○○放送

⑤戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送のチャンネル設定

①チャンネル設定画面から▲▼で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す

チャンネル設定：地上デジタル／**BS**／**CS1**／**CS2**

②▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	○○○ BS	テレビ
2	102	ーーー	
3	103	△△△BS	テレビ
		BS○○○	テレビ

③◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定　1

CH	200
チャンネル名	○○○チャンネル

④戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順①の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

設置設定をやり直す

受信設定（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

まず、受信設定画面を表示させる

メニュー 押す → 「設定する」を選び、「決定」を押す → 「初期設定」を選び、「決定」を押す → 「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す → 「受信設定」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー			
画質を調整する	画面の設定	かんたん設置設定	設置設定
音声を調整する	音声の設定	かんたんネットワーク設定	受信対象設定
番組を探す/予約する	システム設定	**設置設定**	チャンネル設定
設定する	**初期設定**	ネットワーク関連設定	番組表設定
エコナビ	情報を見る	省エネ設定	地域設定
		接続機器関連設定	**受信設定**

地上デジタル放送の受信設定

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「地上」を選び、「決定」を押す

受信設定
地上
衛星

②必要であれば「アッテネーター」を設定する

●アッテネーターについて（☞47ページ）

③アンテナレベルを確認する

受信設定		
アッテネーター	オフ	オン
地上デジタル設定		
物理チャンネル選択	○○CH	
アンテナレベル		
受信状況	○○○○受信中	
受信レベル	現在 45 最大 50	

受信中の放送局

現在のアンテナ入力レベル（受信の目安は44以上）

最大感知レベル

④▲▼で「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

⑤ 1 〜 10 で物理チャンネルを入力し、「決定」を押す

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

物理チャンネル入力
①~⑩、⑪ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
22CH

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

●間違えたときは「黄」ボタンを押します。

●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（☞48ページ手順④）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、緑 2 10 と入力します。

（C20の「C」は、リモコンの「緑」ボタンで入力／削除できます。）

⑥アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送の受信設定

衛星アンテナが個別の場合、アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「衛星」を選び、「決定」を押す

受信設定
地上
衛星

②アンテナレベルを確認する

③▲▼で「アンテナ電源」を選び、◀▶で「オン」を選ぶ

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください）

●「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると、視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

受信設定		
アンテナ電源	オフ	オン
トランスポンダ選択	BS○○○	
衛星周波数	11.9960GHz	
アンテナレベル		
受信状況	○○○○受信中	
受信レベル	現在 52 最大 60	

受信中の放送局

最大感知レベル

現在のアンテナ入力レベル（受信の目安は50以上）

④アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

■アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■物理チャンネルについて

●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13〜62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ

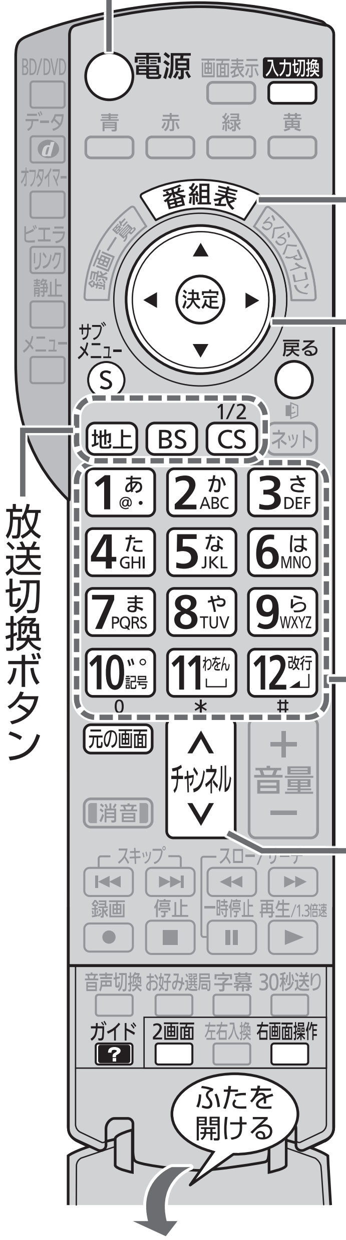
●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

テレビを見る

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

現在放送されている番組をご覧になるには、次の２つの方法があります。

1



放送切換ボタン

番組表から見たい番組を選ぶ（番組表）

1 電源を入れる

2 〔番組表〕を押す

3 放送切換ボタン（〔地上〕〔BS〕〔CS〕）で放送を選ぶ

4 見たい番組を選び、「決定」を押す

5 「今すぐ見る」を選び、「決定」を押す

●番組表を使う（☞ 66ページ）

チャンネルを変えながら、見たい番組を選ぶ

1 電源を入れる

2 放送切換ボタン（〔地上〕〔BS〕〔CS〕）で放送を選ぶ

3 〔1〕～〔12〕または〔チャンネル〕で、チャンネルを選ぶ

●番組のタイトルなどの情報が画面に表示されます。

お知らせ

●リモコンが見つからないときやリモコンの電池が切れているときは、本体のボタンを押して放送の切り換えや選局ができます。（☞ 31ページ）

●番組のタイトルなどの情報は、電源を入れたりチャンネルを変えたりするたびに画面に表示されます。タイトルなどを画面に表示させないようにするには（〔?〕ガイド380）

●ディスクの画面からテレビ放送に戻るには〔元の画面〕を押す。

本機には、以下のテレビ放送を楽しむための便利な機能があります。

見ている番組の内容紹介の表示（番組内容）（〔?〕ガイド454）

①〔サブメニュー〕を押す

②▲▼で「番組内容」を選び、「決定」を押す

●番組の画面に戻るには〔元の画面〕を押す。

3桁のチャンネル番号を入力する（3桁入力選局）（〔?〕ガイド101）

デジタル放送では、1つのチャンネルを複数に分け、それぞれ別の番組を放送する場合があります。このような場合は、見たい番組を番組表から選ぶか、または3桁のチャンネル番号をリモコンで入力します。

①電源を入れる

②放送切換ボタン（〔地上〕〔BS〕〔CS〕）で放送を選ぶ

③〔サブメニュー〕を押す

④▲▼で「3桁入力選局」を選び、「決定」を押す

⑤〔1〕～〔10〕を押してチャンネル番号を入力する

ビデオなどを見る（入力切換）（〔?〕ガイド110）

本機にビデオデッキやビデオカメラなどを接続して、再生した映像を見ることができます。（外部機器の接続のしかた ☞ 接続ガイド）

①〔入力切換〕を数回押して入力信号を選び、「決定」を押す

②接続した機器を操作して再生する

2つの画面を同時に見る（2画面）（〔?〕ガイド340）

本機は、画面を左右に分割し、それぞれの画面で別の放送や入力された映像を見ることができます。

■2画面表示にする

①リモコンのふたを開け、〔2画面〕を押す

②左画面(主画面)のチャンネルまたは入力を選ぶ

■右画面(副画面)のチャンネルや入力を切り換えるには

①〔右画面操作〕を押す

②右画面(副画面)のチャンネルまたは入力を選ぶ

お知らせ

●2画面時は、同時に表示できる放送や画面の組み合わせ、および録画・再生の操作などに制限があります。（〔?〕ガイド340）

内蔵ハードディスクに録画する

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

- デジタル放送（地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送）と外部入力（ビデオ入力 1～2）を内蔵ハードディスクに録画できます。
- D4映像入力、HDMI、パソコン入力は録画できません。
- ブルーレイディスクへは直接録画できません。
- 録画した番組はブルーレイディスクにダビングできます。（☞ 70ページ）

デジタル放送を録画する[かんたん録画]（?ガイド624）

1 地上 BS CS(1/2) を押して、放送を選ぶ

2 1@. ～ 12 または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画 ● を押す
- USBハードディスク、SDメモリーカードが接続されている場合は、▲▼で「内蔵HDD」を選択してください。
- 録画が始まります。「録画ボタン設定」（☞ 55ページ）で設定されている時間で、自動的に停止します。
- 録画モードは「標準」になります。（☞ 39ページ）



■録画を途中で停止する
① 停止 ■ を押す
② 録画を停止する番組を選び、「決定」を押す
③「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ
- 番組表（☞ 66ページ）に放送内容がある場合は、録画一覧（☞ 22、57ページ）で日時・番組名などが表示されます。（外部入力を録画した場合は、日時と入力名[ビデオ1～ビデオ2]のみ表示されます。入力名は、ビデオ入力表示書換で変更できます。?ガイド823）
- 本機では、デジタル放送を2番組同時に録画することができます。ただし、一方または両方の録画モードを「標準」にする必要があります。外部入力の録画中は、他の番組を同時に録画することはできません。（録画予約の重複について ?ガイド623）
- 外部入力の録画は、デジタル放送からの時刻情報を取得していないとできません。
また、接続機器によっては、映像や音声が正しく録画されない場合があります。
- 内蔵ハードディスクに関する注意事項（☞ 110ページ）

外部入力の映像を録画する（?ガイド971）

1 入力切換 を数回押して入力信号を選び、「決定」を押す

2 録画 ● を押す
- USBハードディスクが接続されている場合は▲▼で「内蔵HDD」を選択してください。
- SDメモリーカードには録画できません。

3 録画準備完了のメッセージが表示されたら、「決定」を押す
- 録画が始まります。（外部入力の録画のときは、3時間で停止します。）
- 録画モードは「ビデオ」になります。（☞ 39ページ）

4 接続している機器を操作する

録画・視聴設定（?ガイド348）

1 メニュー を押す



2 ▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

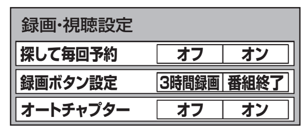
3 ▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す



4 ▲▼で「録画・視聴設定」を選び、「決定」を押す



5 ▲▼で各項目を選び、◀▶で設定する



（終わったら 元の画面 を押す）

項　目	内　容	電子説明書
探して毎回予約	探して毎回予約を一時的に止めたいときに設定 「オフ」／「オン」	?ガイド299
録画ボタン設定	見ている番組を録画する時間を設定 「3時間録画」／「番組終了」	?ガイド266
オートチャプター	デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定 「オフ」／「オン」	?ガイド269

再生する

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

内蔵ハードディスクに録画した番組を見る（? ガイド605）

1 録画一覧 を押す

- 現在選択されているドライブの録画一覧が表示されます。（☞ 22ページ）
- 内蔵ハードディスクに切り換えるときは 緑 を押して切り換えてください。
- ドライブが切り換わるまで時間がかかる場合があります。

2 再生したい番組を選び、「決定」を押す

- 再生が始まります。
- 再生中のいろいろな操作（☞ 58ページ）

■再生を停止する場合

停止 ■ を押す

お知らせ

- 録画一覧のときや番組の再生中に サブメニュー Ⓢ を押すと、表示している画面に関連した機能の設定ができます。（? ガイド674、678）
- 内蔵ハードディスクに関する注意事項（☞ 110ページ）



ブルーレイディスクにダビングした番組を見る（? ガイド884）

- ディスクを入れる（☞ 16ページ）
- ディスクを挿入してメニューが表示された場合は、手順**2**に進んでください。
- 市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオを見る（☞ 62ページ、? ガイド882）

1 BD/DVD を押す

2 ▲▼で「録画した番組を見る」を選び、「決定」を押す

- 録画一覧が表示されます。

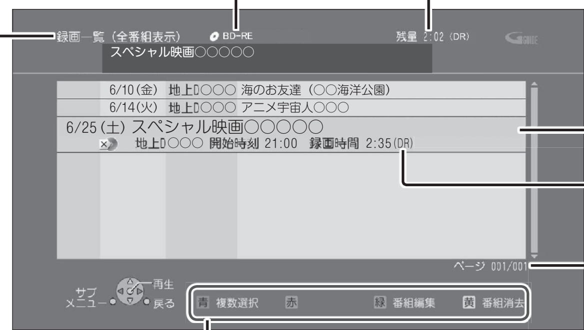
3 ▲▼で再生したい番組を選び、「決定」を押す

- 再生が始まります。
- 再生中のいろいろな操作（☞ 58ページ）

■再生を停止する場合

停止 ■ を押す

ブルーレイディスク録画一覧



リモコンのカラーボタンで操作

- 青 番組を複数選択する
- 緑 番組を編集する
  - 番組名を編集（☞ 98ページ）
  - 選択中の番組をプロテクト設定／解除する。
- 黄 選択中の番組を消去する

- スキップ ⏮ ⏭ を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

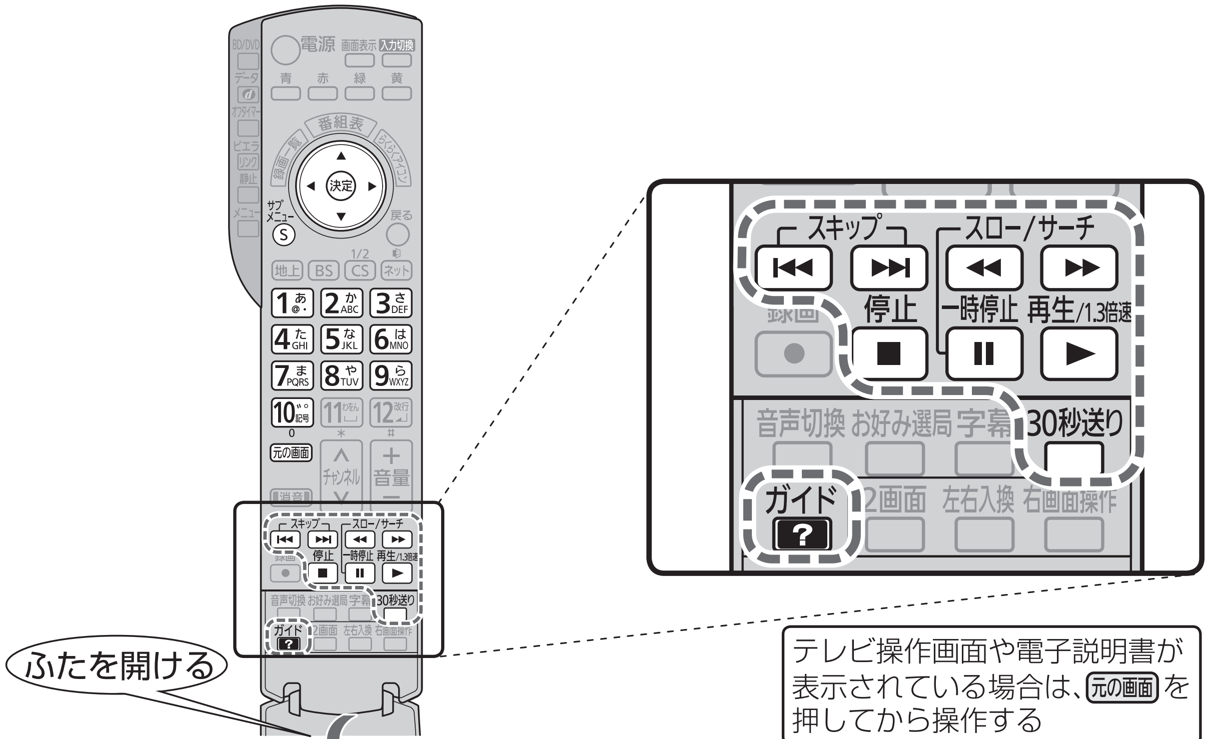
お知らせ

- ディスクの再生までに数分かかることがあります。消費電力が増加しますが再生開始までの時間を早くしたい場合は「HDD／BD機能待機」を「する」に設定してください。（? ガイド350）
- 録画一覧のときや番組の再生中に サブメニュー Ⓢ を押すと、表示している画面に関連した機能の設定ができます。（? ガイド892、990）
- ディスクに関する注意事項（☞ 112ページ）
- 外部入力（ビデオ入力1～2）録画中は、BD/DVDの操作はできません。

再生する（つづき）

再生中のいろいろな操作（リモコン）

録画番組やブルーレイディスク、DVDのディスクを再生中に押すと、早送り再生などができます。



テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作する

項　目	操　作	動　作　内　容　・　そ　の　他	電子説明書
停止	停止 [■] を押す	停止します。	[?]ガイド 607、885
一時停止（静止画）	一時停止 [II] を押す	再生を一時停止します。 ●もう一度「一時停止」を押す、または「再生」を押すと、再生が再開します。	
早送り・早戻し（サーチ）	スロー/サーチ [◀◀] [▶▶] を押す	サーチを開始します。 ●押すたびに、速度が速くなります。（5段階） ●「再生」を押すと、通常の再生に戻ります。	
スキップ	スキップ [I◀◀] [▶▶I] を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク（☞ 55ページ）がある場合は、その場面に飛びます。 ●2つ以上の番組を録画したディスク（BD/DVD）の場合は、次の（前の）番組に飛びます。 ●録画中の番組を再生（追っかけ再生）しているときは動作しません。	

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作する

項　目	操　作	動　作　内　容　・　そ　の　他	電子説明書
30秒送り再生	30秒送り [ ] を押す	押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。 [ディスク] ●DVDビデオでは正しく働かない場合があります。	[?]ガイド 607、885
15秒戻って再生	30秒送り [ ] を3秒以上押す	約15秒前に戻して再生します。 ●DVDビデオでは正しく働かない場合があります。 ●BDビデオでは約12秒戻して再生します。	
早見再生（1.3倍速）	再生/1.3倍速 [▶] を長く押す HDD:3秒以上 ディスク:1秒以上	1.3倍速で再生します。 ●「再生」を押すと通常の再生に戻ります。 ●-RW（ファイナライズ後も含む）ではできません。	
スロー再生 [ディスクのみ]	（一時停止中） スロー/サーチ [◀◀] [▶▶] を押す	スロー再生を開始します。 ●「再生」を押すと通常の再生に戻ります。 ●押すたびに、速度が速くなります。（5段階） ●BDビデオ、AVCHDのビデオ映像では、送り方向のみ働きます。	[?]ガイド 885
コマ送り/コマ戻し [ディスクのみ]	（一時停止中） [◀ 決定 ▶] を押す	1コマずつ送り（戻し）ます。 ●「再生」を押すと通常の再生に戻ります。 ●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。 ●BDビデオ、AVCHDのビデオ映像ではコマ戻しができません。	[?]ガイド 607、885
ダイレクト再生 [BDビデオ、DVDビデオ、AVCHDのみ]	[1]～[10] を押して、タイトル・チャプター番号を入力	停止中はタイトル、再生中はチャプターを再生します。 [DVDビデオ] ●2桁入力： 例）5：[10] [5]、15：[1] [5] [BDビデオ、AVCHD] ●3桁入力： 例）5：[10] [10] [5]、15：[10] [1] [5]	[?]ガイド 893、912

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部ご使用できない操作があります。

●再生中に[サブメニュー]を押すと、再生操作に使用できるその他のボタン説明が表示されます。

再生する（つづき）

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

再生中の番組と操作状態の確認（?ガイド456）

画面表示 を押す　例）内蔵ハードディスク（再生中）

●タイトルなどの情報　●再生状態　●チャプターバー



●録画時間

（画面表示を消すときは 画面表示 を数回押す）

他の機器で作成したプレイリストの再生（?ガイド885）

他の機器で作成したディスクのプレイリストを再生します。
●ディスクを入れる（☞ 16ページ）

1 メニュー を押す

2 「BD/DVD設定」を選び、「決定」を押す

3 「プレイリスト再生」を選び、「決定」を押す

4 再生したいプレイリストを選び、「決定」を押す
●再生が始まります。

お知らせ
●本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

チャプターを再生する（HDD:?ガイド605、USBハードディスク:?ガイド605、BD/DVD:?ガイド884）

チャプター一覧から見たいチャプターを選んで再生します。
●「オートチャプター」の設定（☞ 55ページ）

1 録画一覧画面を表示する
●内蔵ハードディスク（☞ 56ページ）
●ブルーレイディスク（☞ 57ページ）

2 番組を選び、「サブメニュー」を押す
サブメニュー S
●サブメニューが表示されます。
表示される項目はドライブにより変わります。

3 「チャプター 一覧」を選び、「決定」を押す
●チャプター 一覧画面が表示されます。

例）内蔵ハードディスク
- まとめ番組の作成
- まとめ番組の解除
- **チャプター 一覧**
- コンテンツ選択

4 再生したいチャプターを選び、「決定」を押す
●再生が始まります。

例）内蔵ハードディスク



お知らせ
●内蔵ハードディスクのまとめ番組ではチャプターを選べません。
●本機ではチャプターマークの編集はできません。
●外部入力の録画にはチャプターは記録されていません。
●市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオでは、この操作はできません。

ディスクの写真を見る（?ガイド887）

ディスクを挿入してメニューが表示された場合は、手順2に進んでください。

1 BD/DVD を押す

2 ▲▼で「写真を見る」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼でフォルダを選び、「決定」を押す

4 ▲▼◀▶で写真を選び、「決定」を押す

再生する（つづき）

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

●ディスクを入れる（☞ 16ページ）

ディスクのビデオ映像（AVCHD）を見る

ディスクを挿入してメニュー画面が表示された場合は画面に従って操作してください。

1 BD/DVD を押す

2 ▲▼で「録画した番組を見る」を選び、「決定」を押す
●録画一覧が表示されます。

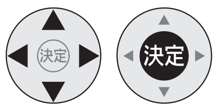
3 ▲▼で見たいビデオ映像を選び、「決定」を押す
●ビデオ映像が再生されます。
●再生中のいろいろな操作（☞ 58ページ）

お知らせ
●他の機器で作成したディスクのビデオ映像（AVCHD）の場合、手順2のメニューが「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」と出ることがあります。（? ガイド893）
・ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクの場合は、「AVCHD優先モード」（☞ 74ページ）を「入」に設定してください。

市販やレンタルのBDビデオ／DVDビデオを見る（? ガイド882）

ディスクを挿入すると自動的に再生を開始します。メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。（再生が始まらない場合は 再生/1.3倍 ▶ を押してください。）

項目を選び、「決定」を押す





メニュー画面のイメージ図

■メニュー画面を表示させるには
●[BDビデオ]　「サブメニュー」を押して、「BDトップメニュー」を選ぶ
●[DVDビデオ]　「サブメニュー」を押して、「DVDトップメニュー」を選ぶ

■ポップアップメニューを表示させるには
●[BDビデオ]　再生中:「サブメニュー」を押して、「ポップアップメニュー」を選ぶ

お知らせ
●外部入力（ビデオ入力1〜2）録画中は、BD/DVDの操作はできません。
●ダイレクト再生機能について（☞ 59ページ）

音楽CDを聴く（? ガイド895）

1 音楽CDを入れる

2 曲の一覧画面が表示され、自動的に再生が始まります。
●再生中に約5分間、何も操作しないとスクリーンセーバーの表示に切り換わります。リモコンのボタンを押すと、元の画面に戻ります。

■別の曲を再生する
再生したい曲を選び、「決定」を押す。
・再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。
停止 ■　一時停止 ⏸　スロー/サーチ ◀◀ ▶▶　スキップ ⏮ ⏭

お知らせ
●外部入力（ビデオ入力1〜2）録画中は、CDの操作はできません。

再生する（つづき）

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

●ディスクを入れる（☞ 16ページ）

ディスクの信号切換や再生方法の設定などをする

1 ブルーレイディスクまたはDVD再生中に
サブメニュー（S）を押す

2 「再生設定」を選び、「決定」を押す

●再生設定のメニューが表示されます。

3 「ディスク」または「再生」を選び、▶を押す

4 設定項目を選び、▶を押す

●ディスクにより設定項目は異なります。
表示されない項目や変更できない項目があります。

5 設定を変更する（☞ 65ページ）

●映像や音声によっては、効果が得られない場合があります。

設定内容について「音声情報」「字幕情報」（☞ 65ページ）

〈音声属性〉
LPCM/DDDigital/DDDigital+/DDTrueHD/DTS-ES/DTS-HD MSTR/
DTS-HD HI RES/DTS-HD LBR/DTS/MPEG/AAC：信号タイプ
ch：チャンネル数　k：サンプリング周波数（kHz）　b：ビット数（bit）

〈言語〉

日：日本語	英：英語	仏：フランス語	独：ドイツ語	伊：イタリア語
西：スペイン語	蘭：オランダ語	中：中国語	露：ロシア語	韓：韓国語
＊：その他				

メニュー	設定項目・設定内容	電子説明書
ディスク （ディスク独自の機能の設定）	映像情報 情報を表示します。	?ガイド917
	音声情報（「音声属性」「言語」☞ 64ページ） 音声や言語の選択または音声属性の表示	
	信号切換 「DR」モードの番組は映像や音声などを切り換えます。 それ以外の録画モードの番組は表示のみ行います。 「決定」を押して、さらに設定します。 ・マルチビュー ・映像 ・音声 ・二重音声 ・字幕（オン／オフ） ・字幕言語（日本語／英語） ●BDビデオ ・主映像 映像情報／音声情報 ・副映像 映像情報（入／切）／音声情報（入／切）	
	字幕情報（「言語」☞ 64ページ） 字幕表示の入/切や、言語の選択をします。	
	音声チャンネル 音声（L/R）を切り換えます。	
	字幕スタイル ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。	
	アングル ディスクに記録されたアングルを選びます。	
再生 （再生方法の設定）	リピート 繰り返し再生の方法を選びます。 ディスクによりリピートの種類は異なります。 ・番組：番組全体 ・タイトル：タイトル全体 ・チャプター：チャプター ・プレイリスト：プレイリスト	

番組表から探す・見る・録画予約する

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

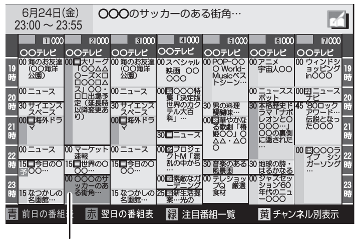
番組表で探す（今すぐ見る・見るだけ予約・録画予約）

1 番組表 を押す

↓

番組表を表示（☞67ページ、?ガイド011）

番組表



選択中の番組が黄色になる

2 地上 BS CS で放送を選ぶ

3 ▲▼◀▶で番組を選び、「決定」を押す

↓

番組内容画面を表示（?ガイド454）

●番組表に戻るときは 戻る を押す。

番組内容画面



番組の内容

4 ■放送中の番組のとき（?ガイド511）

◀▶で 今すぐ見る を選び、「決定」を押す

●選んだ番組に切り換わります。

■放送予定の番組のとき（?ガイド512）

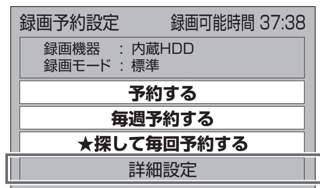
◀▶で 見るだけ予約 を選び、「決定」を押す

●テレビを見ているときに、放送時刻になると、予約番組に切り換わります。

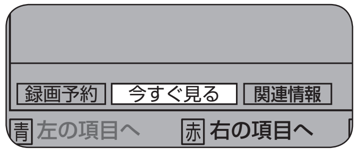
■録画予約するとき（?ガイド638）

①◀▶で 録画予約 を選び、「決定」を押す

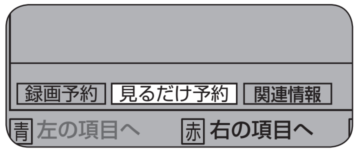
②予約方法を選び、「決定」を押す



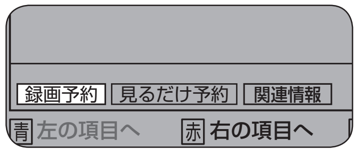
詳細設定で、録画機器・録画モードなどが設定できます。



放送中の番組のとき



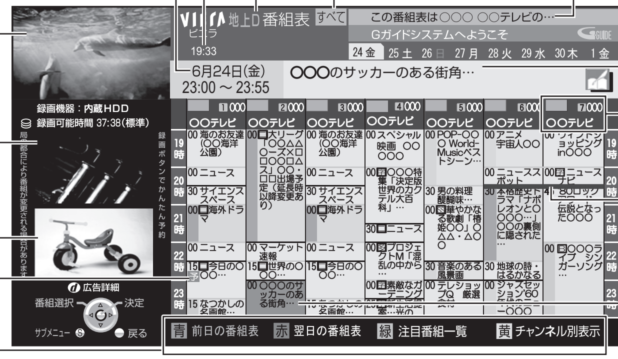
放送予定の番組のとき



録画予約するとき

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表について（?ガイド501）





いろいろな探しかた

1 メニュー を押す



2 ▲▼で 番組を探す/予約する を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で探しかたを選び、「決定」を押す

探しかた	手順・結果
注目番組一覧	Gガイドが提供する注目番組一覧を表示 ●カテゴリ分類を変える　前の分類：青（青）、次の分類：赤（赤）
今放送中から	裏番組の一覧を表示
ジャンル別に	メインジャンルを選ぶ→サブジャンルを選ぶ→一覧を表示
キーワードで	カテゴリを選ぶ→キーワードを選ぶ→一覧を表示
人名で	カテゴリを選ぶ→読みの最初を選ぶ→名前を選ぶ→一覧を表示

4 ▲▼で一覧から番組を選び、「決定」を押す

↓

番組内容画面を表示

●注目番組一覧 のときは、詳細画面を表示。

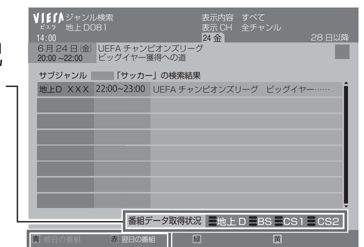
•項目を変えるときは　左：青（青）、右：赤（赤）

●今放送中から のときは、選択した番組に切り換わる。

●番組を見たいときは（☞ 66ページ手順4）

●番組を録画したいときは（☞ 66ページ手順4）

例：ジャンル検索の結果一覧



番組データ取得状況の目安（≡ 取得完了）

別の日の番組を探すときは
前日：青（青）、翌日：赤（赤）

番組内容に関連した情報で探す（関連情報）

1 番組表 を押す　2 地上 BS CS（1/2）を押して、放送を選ぶ　3 番組を選び、「決定」を押す（番組内容画面を表示）　4 「関連情報」を選び、「決定」を押す（関連情報画面を表示）

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作する

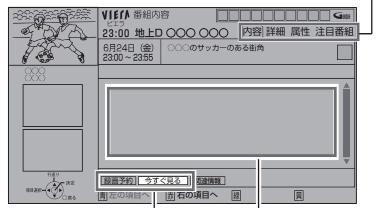
関連情報
- 放送中止時の番組を探す
- 関連番組を探す
- 人名で番組を探す
- ジャンルで番組を探す
- キーワードで番組を探す

関連情報画面
（情報のない項目は表示されません）

（終わったら 元の画面 を押す）

項目	操作手順				電子説明書
放送中止時の番組を探す	▲▼で「放送中止時の番組を探す」を選び、「決定」を押す	野球中継番組が、雨天で中止になった場合などの番組情報が表示されます。		選んだ番組内容画面を表示	?ガイド091
関連番組を探す	▲▼で「関連番組を探す」を選び、「決定」を押す ▶	▲▼で「関連番組」メニューから番組を選び、「決定」を押す			?ガイド092
人名で番組を探す	▲▼で「人名で番組を探す」を選び、「決定」を押す ▶	▲▼で人物を選び、「決定」を押す	検索結果から▲▼で番組を選び、「決定」を押す		?ガイド095
ジャンルで番組を探す	▲▼で「ジャンルで番組を探す」を選び、「決定」を押す ▶	▲▼でジャンルを選び、「決定」を押す			?ガイド096
キーワードで番組を探す	▲▼で「キーワードで番組を探す」を選び、「決定」を押す ▶	▲▼でキーワードを選び、「決定」を押す			?ガイド097

情報のない項目（タブ）は表示しません。



番組の内容

●番組を見る（☞ 66ページ）
●録画予約（☞ 66ページ）

日時を指定して予約する／予約を確認する・変更する・取り消す

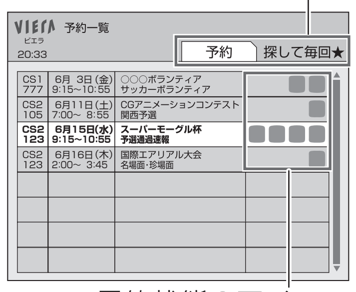
1 メニュー を押す　2 「番組を探す/予約する」を選び、「決定」を押す（番組を探す／予約するメニューを表示）　3 各項目を選び、設定する

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作する

- 今放送中から
- ジャンル別に
- キーワードで
- 人名で
- 時間指定予約で
- 予約一覧

番組を探す／予約するメニュー

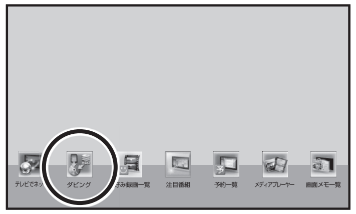
（終わったら 元の画面 を押す）

項目	操作手順				電子説明書
時間指定予約で	日時を指定して予約する ▲▼で「時間指定予約で」を選び、「決定」を押す（時間指定予約画面を表示） ▶		▲▼◀▶で各項目を選び、設定する（予約方式、放送種別/チャンネル、曜日/日、開始時刻、終了時刻、録画機器、録画モード） ▶	▲▼で「予約する」を選び、「決定」を押す ●暗証番号入力画面が表示されたときは（?ガイド388）	?ガイド260
予約一覧	予約の確認や変更、取り消しをする ▲▼で「予約一覧」を選び、「決定」を押す（予約一覧画面を表示） ▶	青ボタン・赤ボタンで切り換わる  予約状態のアイコン ▲▼で変更や削除したい予約を選び、「決定」を押す ▶	■実行前の予約の変更 ①「設定変更」を選び、「決定」を押す ②内容を修正し、「修正する」を選び「決定」を押す ■実行前の予約の削除 「予約削除」を選び、「決定」を押す ■実行中の予約の変更 実行中の予約は変更できません ■実行中の予約の取り消し（中止） 「取り消し」を選び、「決定」を押す（テレビを見ているときは、リモコンの「停止」ボタンでも中止できます） ■実行済みの予約履歴削除 「履歴削除」を選び、「決定」を押す ●黄色ボタンでも実行前・実行中・実行済みの予約を削除することができます。		?ガイド270

番組をダビングする（ブルーレイディスク）

●ディスクを入れる（☞ 16ページ）
●記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。
「ダビングする」を選び、「決定」を押して手順**3**に進んでください。

内蔵ハードディスク、USBハードディスクに録画した番組をブルーレイディスクにダビングする（？ガイド898）



1 らくらくアイコン を押す

●らくらくアイコンが表示されます。

2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す

3 ◀▶でドライブを選び、「決定」を押す

4 ◀▶で「録画一覧」を選び、「決定」を押す

5 ▲▼で「BDにダビング」を選び、「決定」を押す

6 ▲▼でダビングしたい番組を選び、「決定」を押す



●青で番組を複数選択できます。
●黄でダビングモードの選択ができます。（☞37ページ）

7 画面の内容を確認し、「決定」を押す

●ダビングが始まります。
●新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

■ダビングを途中で停止するには

①停止■を押す

②ダビング停止確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

●ダビングの開始までに数分かかることがあります。消費電力が増加しますがダビング開始までの時間を早くしたい場合は「HDD／BD機能待機」を「する」に設定してください。（？ガイド350）
●コピー制限について（☞38ページ、？ガイド898）
●ディスクから内蔵ハードディスク、USBハードディスクにはダビングできません。
●録画中などは、ダビングできません。
●ダビング中は、録画・再生・録画一覧表示・ディスクの取り出しなどは操作できません。
●ダビング中に画面表示を押すと、ダビングの進捗情報が表示されます。
●ブルーレイディスクのフォーマットについて（☞73ページ）
●本機でプロテクトを設定したBD-RE、BD-Rにはプロテクト解除してからダビングしてください。（☞73ページ）
●DVDやファイナライズされたBD-Rにはダビングできません。（☞73ページ）

写真をダビングする

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

写真（画像）をSDメモリーカード、USBハードディスクからブルーレイディスク（BD-RE）へダビングできます。（内蔵ハードディスク、USBハードディスク、BD-RやDVDにはダビングできません。）
●ディスクを入れる（☞ 16ページ）
●SDメモリーカードを入れる（☞ 18ページ）
●USBハードディスクを接続する（☞ 82ページ）
●記録可能なブルーレイディスク（BD-RE）を挿入した場合は、メニューが表示されます。
「ダビングする」を選び、「決定」を押して手順**3**に進んでください。

写真をダビングする（？ガイド972）



1 らくらくアイコン を押す

●らくらくアイコンが表示されます。

2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す

3 ◀▶でドライブを選び、「決定」を押す

4 ◀▶で「写真一覧」を選び、「決定」を押す

5 SDメモリーカード内の全ての写真をダビングしたい場合は「はい」を選び、「決定」を押して手順**7**に進む

●ダビングする写真を個別に選ぶ場合は「いいえ」を選び、「決定」を押して手順**6**へ。

6 ▲▼◀▶でダビングしたい写真を選び、「決定」を押す



●青で写真を複数選択できます。
●黄で全写真を選択／解除できます。

7 画面の内容を確認し、「決定」を押す

●ダビングが始まります。
●新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

■ダビングを途中で停止するには

①停止■を押す

②ダビング停止確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

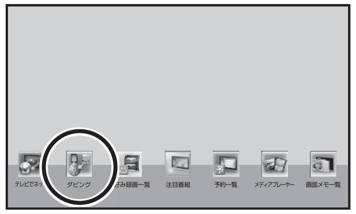
お知らせ

●ダビング中は、録画・再生・録画一覧表示・ディスクの取り出しなどは操作できません。
●ダビング中に画面表示を押すと、ダビングの進捗情報が表示されます。

ビデオ映像(AVCHD)をダビングする

ビデオ映像(AVCHD)をSDメモリーカード、USBハードディスクからブルーレイディスクへダビングできます。(内蔵ハードディスク、USBハードディスクへはダビングできません。)
●ディスクを入れる(☞ 16ページ)
●SDメモリーカードを入れる(☞ 18ページ)
●USBハードディスクを接続する(☞ 82ページ)
●記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。
「ダビングする」を選び、「決定」を押して手順3に進んでください。

ビデオ映像(AVCHD)をダビングする(?ガイド903)



1 らくらくアイコン を押す
●らくらくアイコンが表示されます。

2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す

3 ◀▶でドライブを選び、「決定」を押す

4 ◀▶で「ビデオ一覧」を選び、「決定」を押す



5 ▲▼◀▶でダビングしたいビデオ映像を選び、「決定」を押す
●青でビデオ映像を複数選択できます。
●黄で全ビデオ映像を選択／解除できます。

6 画面の内容を確認し、「決定」を押す
●ダビングが始まります。
●新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

■ダビングを途中で停止するには
① 停止(■)を押す
② ダビング停止確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ
●AVCHD以外のビデオ映像はダビングできません。
●ダビング中は、録画・再生・録画一覧表示・ディスクの取り出しなどは操作できません。
●ダビング中に 画面表示 を押すと、ダビングの進捗情報が表示されます。
●本機でプロテクトを設定したBD-RE、BD-Rにはプロテクト解除してからダビングしてください。(☞73ページ)
●DVDやファイナライズされたBD-Rにはダビングできません。(☞73ページ)

ディスクの管理／設定

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

ブルーレイディスクの管理

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「BD/DVD設定」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「BD管理」を選び、「決定」を3秒以上押す
●BD管理画面が表示されます。

4 ▲▼で設定項目を選び、「決定」を押す
●画面の指示に従って設定内容を変更してください。

項目	設定内容	参照
ディスク名入力	ディスクの名前を入力する	98ページ ?ガイド905
ディスクプロテクト	誤消去防止の設定/解除 ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、「決定」を押す。 ●ディスクプロテクトを設定すると「🔒オン」が表示されます。 ●プロテクトしたディスクは、「ディスク名入力」「全番組消去」が設定できません。	
全番組消去	ブルーレイディスクの全番組を消去する ①◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す ②◀▶で「実行」を選び、「決定」を押す ●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。 ●[BD-RE]：写真や音楽データは消去されません。 ●[BD-R]：消去しても残量は増えません。	
BD-REのフォーマット(BD-RE挿入時) BD-Rのフォーマット(BD-R挿入時)	ブルーレイディスクをフォーマットする 画面の指示に従って操作してください。 フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。すべて消去して良いか確認してから行ってください。(ディスクプロテクトを設定していても消去されます。) ●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、フォーマットできない場合があります。 ●[BD-R]：未使用のディスクのみフォーマットできます。 お願い ●フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に本体の電源を切らないでください。ディスクが使えなくなることがあります。	?ガイド905
他のBD機器再生(ファイナライズ)	番組を記録したBD-Rを再生専用のディスクにする 画面の指示に従って操作してください。 ●本機では番組を記録したBD-Rのみをファイナライズできます。 ●ファイナライズしたディスクは、記録や編集ができません。 ●ファイナライズ中は本体の電源を切らないでください。 ●本機以外の機器で記録したBD-Rはファイナライズできないことがあります。	

お知らせ
●BD管理の設定は、BD-REおよびBD-Rのみ対応しています。
●ファイナライズしたディスクは、BD管理の設定はできません。

ディスクの管理／設定（つづき）

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

ディスクの初期設定を行う（? ガイド922）

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「BD/DVD設定」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「BD/DVD初期設定」を選び、「決定」を押す

4 ▲▼で設定項目を選び、「決定」を押す
- ●画面の指示に従って設定内容を変更してください。
- ●設定を終了するときは「設定終了」を選択してください。

メニュー	設定項目	設定内容
BD/DVDの再生設定	DVD-Videoの視聴制限設定※1	DVDビデオの視聴制限ができます。
	BD-Videoの視聴可能年齢設定※1	BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
	音声言語の設定※2	再生時の音声を選びます。
	字幕言語の設定※2	再生時の字幕言語を選びます。
	メニュー言語の設定※2	テレビ画面に表示される言語を選びます。
	AVCHD 優先モード	ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。
BD/DVDの映像設定	BDディスクの24p出力	毎秒24フレームのプログレッシブハイビジョン出力が選べます。
	スチルモード	一時停止中の画像の表示方法が選べます。
	シームレス再生	部分消去した部分などをなめらかに再生します。
BD/DVDの音声設定	音声のダイナミックレンジ圧縮	小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
	デジタル出力	●Dolby Digital ●DTS ●AAC ●BDビデオ副音声・操作音
	ダウンミックス	マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って 1 ～ 10 で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他****」の場合、*には 1 ～ 10 で言語番号（次ページの表）を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。
ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

BDビデオデータ消去（? ガイド939）

ブルーレイディスクによっては、特典映像などを見ることができます。
使われるデータはブルーレイディスクから本機内部に保存されます。
BDビデオデータ消去を実行すると、本機内部に保存されたデータはすべて消去されます。
データが不要になった場合に実行してください。

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「BD/DVD設定」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「BDビデオデータ消去」を選び、「決定」を3秒以上押す

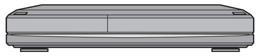
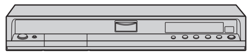
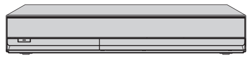
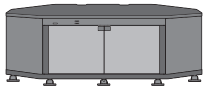
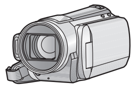
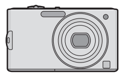
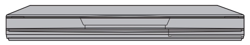
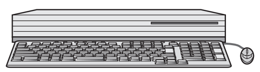
4 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す

5 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す
- ●画面の指示に従って操作してください。

外部機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

ビエラリンク（HDMI）対応機器

接続する機器	ケーブル ［接続する端子］	注意事項	参照
 ディーガ	 HDMIケーブル ［HDMI 1］	●HDMIケーブルについて ・当社製を推奨します。（☞接続ガイド） ・HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。 ●接続後は必ずビエラリンク（HDMI）を有効にしてください。（「ビエラリンク（HDMI）制御」 ? ガイド822） ●最初に接続したときは「入力切換」を押して、HDMI入力に切り換えてください。 ●機器の操作をしたときに、本機の電源を「入」にするには「電源オン連動」を設定してください。（? ガイド822） ●HDMI端子に同じ種類のビエラリンク（HDMI）対応機器を複数接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器が、ビエラリンク（HDMI）の操作対象になります。	接続ガイド 1
 CATVデジタルSTB			
 スカパー！HD対応DVR			
 シアター			接続ガイド 2
 デジタルビデオカメラ	 HDMIミニケーブル ［HDMI 2］		接続ガイド 3
 デジタルカメラ			
 ブルーレイディスクプレーヤーなど	 HDMIケーブル ［HDMI 2］		接続ガイド 4
 パソコン			接続ガイド 5

■HDMI端子について

●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI 1とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」（? ガイド823）と「ビデオ2音声入力設定」（? ガイド823）が必要です。

●**対応している映像信号**
480i、480p、720p、1080i、1080p
（24 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

●**対応している音声信号**
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しないときは

接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。
HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す

②［入力切換］を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する

③本機のリモコンで機器を操作してみる（? ガイド481）

お好みで設定できます「ビエラリンク（HDMI）設定」（? ガイド822）

■電源オン連動
ディーガなどの操作に連動して本機の電源を入れます。

■電源オフ連動
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の電源を切ります。

■ECOスタンバイ
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の消費電力を最小にします。

■こまめにオフ
使わないときに、機器の電源を個別に自動的に切ります。

■電源オン時の音声出力
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、シアターに音声を出力します。

■ケーブルテレビ電源オン連動
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源を入れます。

■ディーガの操作
ディーガ視聴中、本機のリモコンで操作できるボタンを増やします。

■テスト（ディーガ電源オン／ディーガ電源オフ）
ディーガの動作を確認できます。

■メニュー表示方法
「ビエラリンクメニュー」の表示形式を変更します。

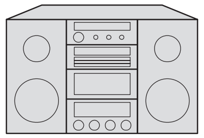
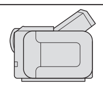
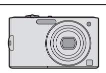
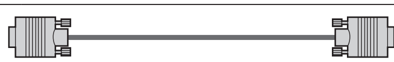
お知らせ

●ビエラリンク（HDMI）で本機とシアターを接続時、ビエラリンク（HDMI）で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル音声出力（光）端子とHDMI 1端子（ARC対応）より5.1chで出力します。（ディーガはビエラリンクVer.2、ビエラリンク（HDMI）Ver.3以上に対応している機種のみ対応）

外部機器の接続・設定（つづき）

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

ビエラリンク(HDMI)非対応機器

接続する機器	ケーブル ［接続する端子］	注意事項	参照
 オーディオ機器	 光デジタルケーブル ［デジタル音声出力(光)］ ●折り曲げないでください。	●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。 ●ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」の設定が必要です。(?ガイド823)	接続ガイド 6
オーディオ機器	 ステレオ音声コード ［ビデオ入力2/音声出力］	●アナログ音声入力端子を持つオーディオ機器に接続することができます。 ●「ビデオ2音声入出力設定」の設定が必要です。(?ガイド823)	接続ガイド 6
 DVDプレーヤーなどの再生機器	D端子付き:  D端子映像コード［D4映像入力］  ステレオ音声コード［ビデオ入力1］		接続ガイド 7
DVDプレーヤーなどの再生機器	D端子なし:  映像/音声コード［ビデオ入力2］		接続ガイド 7
DVDプレーヤーなどの再生機器	HDMI端子を使用:  HDMIケーブル ［HDMI 1］	●HDMI端子について(☞76ページ) ●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、ビデオ入力2の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」(?ガイド823)と「ビデオ2音声入出力設定」(?ガイド823)を行ってください。	接続ガイド 7
 ビデオカメラ  デジタルカメラ	 映像/音声コード ［ビデオ入力2］	●専用ケーブルが必要な場合があります。	接続ガイド 7
 パソコン	 ミニD-sub15Pケーブル［パソコン入力］  音声コード(音声出力があるとき) ［ビデオ入力2］	●本機が対応しているパソコン信号(?ガイド113) ●音声出力がある場合は、「ビデオ2音声入出力設定」の設定が必要です。(?ガイド823)	接続ガイド 8

お好みで設定できます

■HDMI RGBレンジ設定
(?ガイド823)
HDMI端子から入力された映像の暗い部分を見やすく設定します。

■HDMI画質連動設定
(?ガイド823)
HDMI端子から入力された映像に合わせて、画質を調整します。

■HDMI音声入力設定
(?ガイド823)
DVI対応機器でビデオ入力２の音声入力端子に接続したとき、アナログ音声が楽しめます。

■ビデオ入力表示書換
(?ガイド823)
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。

■ビデオ2音声入出力設定
(?ガイド823)
ビデオ入力2の音声端子を出力端子として使用するか、入力端子として使用するかを設定します。

■デジタル音声出力
(?ガイド823)
ドルビーデジタル、AAC対応のオーディオ機器を接続したとき、出力の種類を選びます。

■モニター音声出力停止設定
(?ガイド823)
ビデオ2の音声端子に接続した録画機器への音声出力を停止するときに使います。

■入力自動スキップ
(?ガイド823 外部入力スキップ設定)
「入力切換」ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばします。

■PCスキップ
(?ガイド823 外部入力スキップ設定)
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「PC」を飛ばします。設定後にパソコンを接続したときは、「オフ」に戻してください。

■HDMIスキップ
(?ガイド823 外部入力スキップ設定)
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「HDMI」を飛ばします。設定後にHDMI対応機器を接続したときは、「オフ」に戻してください。

■ビデオ入力端子について

背面　：ビデオ入力1～2

●DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

D4映像入力端子(ビデオ入力1のみ)

●映像入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子－ピン映像コード(RP-CVCDG15：別売品)で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、720p、1080i
●「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

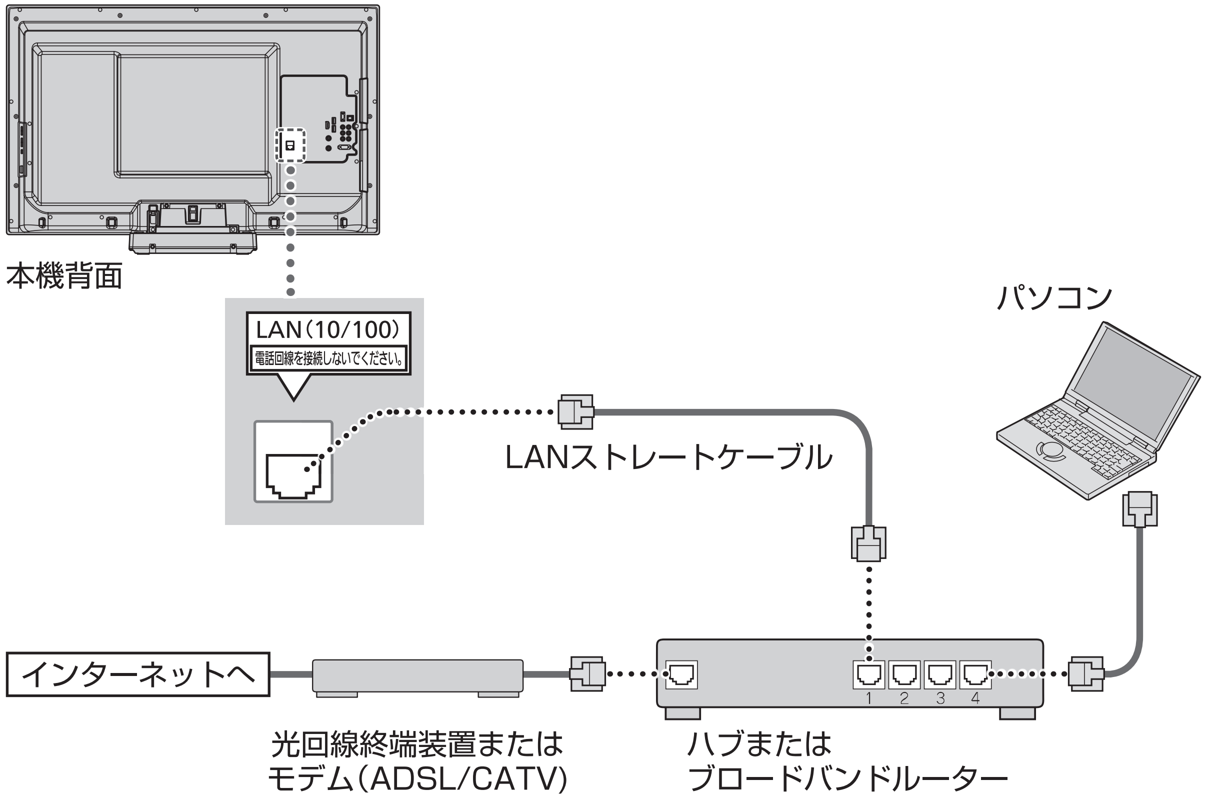
ビデオ入力2の音声端子について

●音声出力端子として使うことができます。「ビデオ2音声入出力設定」の設定が必要です。(?ガイド823)
●アナログアンプなどの音声入力端子に接続します。

インターネットへの接続・設定

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

インターネットへ接続するときの一例



●上記は一般的な接続例です。詳しくはご契約回線の利用規約などに従い接続・設定をしてください。
●ルーター機能がない光回線終端装置またはモデムをご利用の場合は、ブロードバンドルーターをご用意ください。
光回線終端装置またはモデムにルーター機能が付いているかご不明な場合は、光回線終端装置またはモデムの取扱説明書をご確認いただくか、ご契約の回線事業者またはプロバイダーにお問い合わせください。
(ルーター機能がついている機器が2台以上あると、正常に動作しません。)
●無線LANで接続するときの一例は、84ページをご参照ください。

インターネット

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定
●46ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。
(かんたんネットワーク設定の内容☞107ページ)
●個別に設定するとき:IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定(?ガイド753)

■設定に必要なとき
●本機のMACアドレスを確認する。(?ガイド766)

お知らせ

●光ファイバー(FTTH)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
●ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。(100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。)
●本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
時間をおいて(約3分間)再度試してください。
●SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。

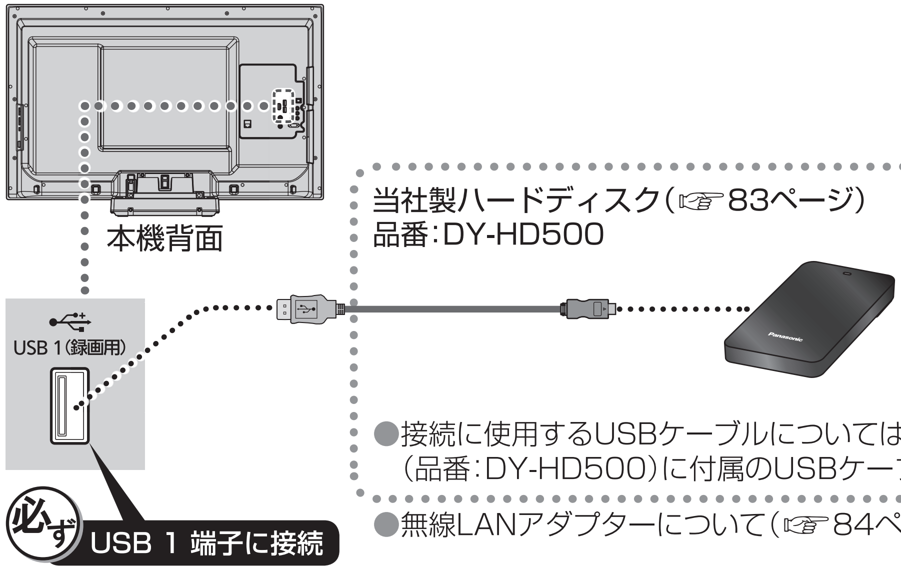
動画視聴についてのお知らせ

●動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)でのブロードバンド環境が必要です。
- 100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターと、「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
- PLCを使わずにLANケーブルまたは別売の当社製無線LANアダプターでのご使用をおすすめします。

USB機器の接続・設定

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

USBハードディスクを接続するときの一例



●接続に使用するUSBケーブルについては、当社製ハードディスク（品番：DY-HD500）に付属のUSBケーブルをご使用ください。

●無線LANアダプターについて（☞84ページ）

■USB端子について

●当社製ハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。本機で動作確認済の機器について（☞83ページ）

●USB端子から機器を外すときは、メニュー操作で機器を取り外せる状態にするか、本体の電源を「切」にしてから行ってください。〔USB HDD機器一覧（? ガイド856）〕

●本機はUSB3.0には対応していません。

本機ではUSBハードディスクを使用して、下記のことができます。

デジタル放送を録画・再生する（☞20、22ページ、? ガイド605、870、874）

●録画用として登録してご使用ください。（? ガイド856）

●録画用として使用できるのは容量が160 GB以上のUSBハードディスクです。

●本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどに接続して再生することはできません。

●本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。
本機専用で使用中のUSBハードディスクを、他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。

お知らせ

●USBハードディスクを本機に接続して録画用として登録すると、本機専用のハードディスクとして初期化します。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。

●登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。

パソコンなどでハードディスクに保存した写真（画像）や動画を、テレビ画面で見る（☞23ページ、? ガイド121、580）

●録画用として登録しないで、そのままご使用ください。登録すると本機専用にフォーマットされるため、保存されている写真や動画などがすべて削除されます。

USBハードディスク

接続する機器	特長	参照
当社製 ハードディスク 品番：DY-HD500 	●本機に接続して番組を録画したり、録画した番組などを再生できます。 また、録画した番組はネットワーク経由でディーガにダビングできます。（☞24ページ） ●録画可能時間の目安（録画モード「標準」） ・BS HD（24 Mbps）約43時間 ・地上D HD（17 Mbps）約60時間	接続ガイド 9

●本機で動作確認済のUSB機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2011年7月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報」→『VIERA「液晶テレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

接続後の設定

初めてUSBハードディスクを接続したときは、録画用として登録・フォーマットするかどうか確認の画面が出ます。録画用として使うときは、画面の表示に従って、登録・フォーマットしてください。（本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。）
録画用として登録しないときは、USBハードディスクに保存された動画や写真を見ることができます。

■USB HDD機器一覧

●本機に登録したUSBハードディスクの管理（登録の削除・取り外しなど）をしたいとき。（? ガイド856）

USBハードディスクに関するご注意

●録画できる最大番組数は3000番組です。

●USBハードディスクの動作中は、USBケーブルを抜いたり本機の電源を切らないでください。保存した内容が消えたり、USBハードディスクが故障することがあります。USBハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。

●USBハブを使って複数のUSBハードディスクを同時に接続することはできません。（本機に登録できるUSBハードディスクは8台ですが、一度に使用できるUSBハードディスクは1台です。）

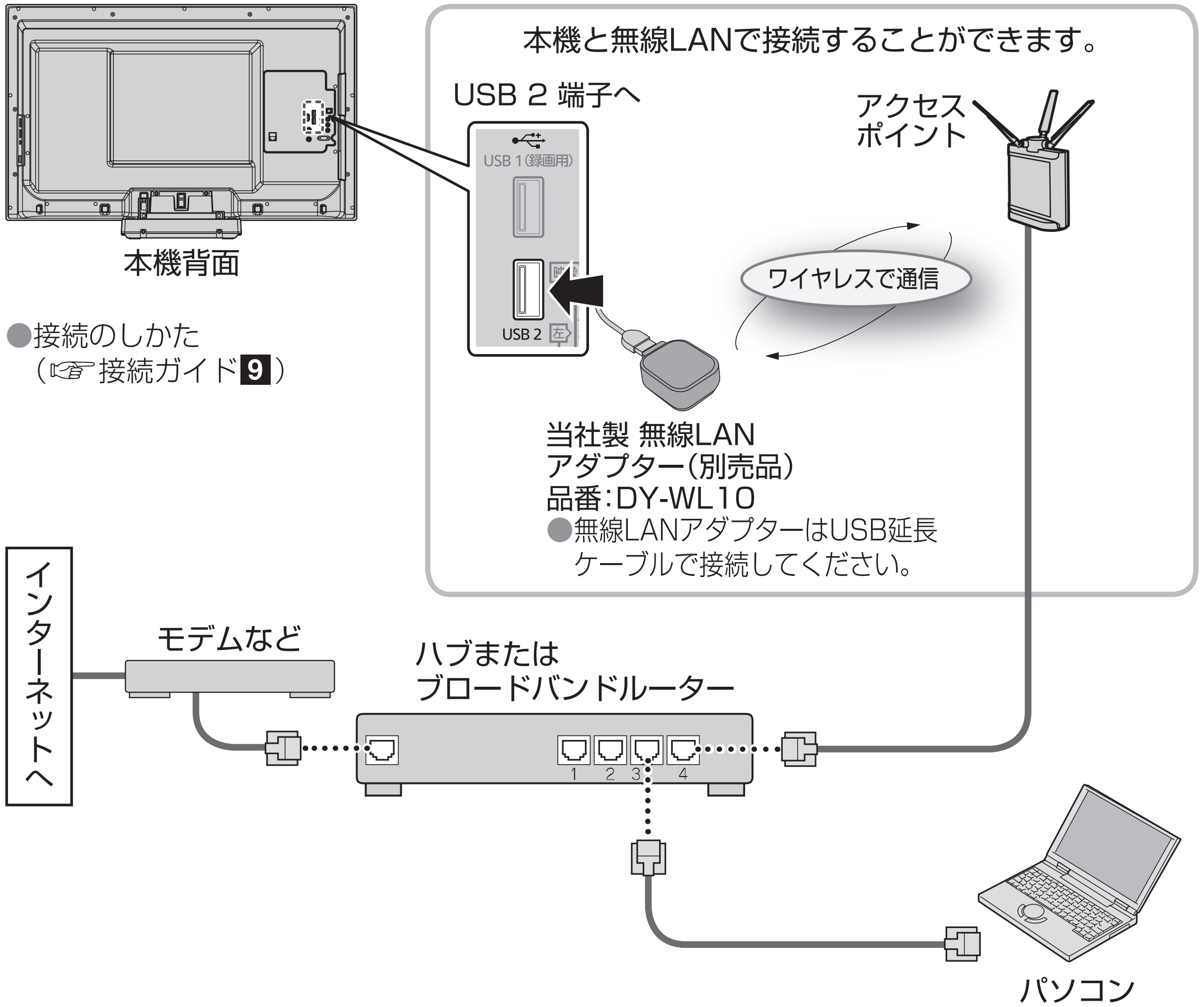
●当社製ハードディスクは、付属のUSBケーブルが届く範囲で安定した水平な場所に設置してください。

●当社は他社起因によるところの操作と性能を保証しません。
また当社はそのような他社との組み合わせによってあるいは他社の操作や性能に起因するいかなる責任あるいは損害賠償をいたしかねます。

無線LANの接続・設定

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

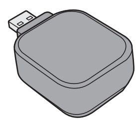
無線LANで接続するときの一例



●接続のしかた
（☞ 接続ガイド 9 ）

■USB端子について
●当社製無線LANアダプターなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
本機で動作確認済の機器について（☞ 85ページ）
●USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。

無線LAN機器

接続する機器	特長／対応機器	参照
無線LANアダプター 	●USB端子に接続すると、無線LANでネットワークに接続できます。（別途、無線LANアクセスポイントが必要です） 当社製無線LANアダプター　DY-WL10	接続ガイド 9

●上記の品番は2011年7月現在発売中のものです。
●本機との接続に対応した無線LANアダプターとアクセスポイントが別途必要です。
対応した無線LANアダプターについては、以下のホームページでご覧になれます。
（2011年7月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報」→『VIERA「液晶テレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から無線LANアダプターを選ぶ。

接続後の設定

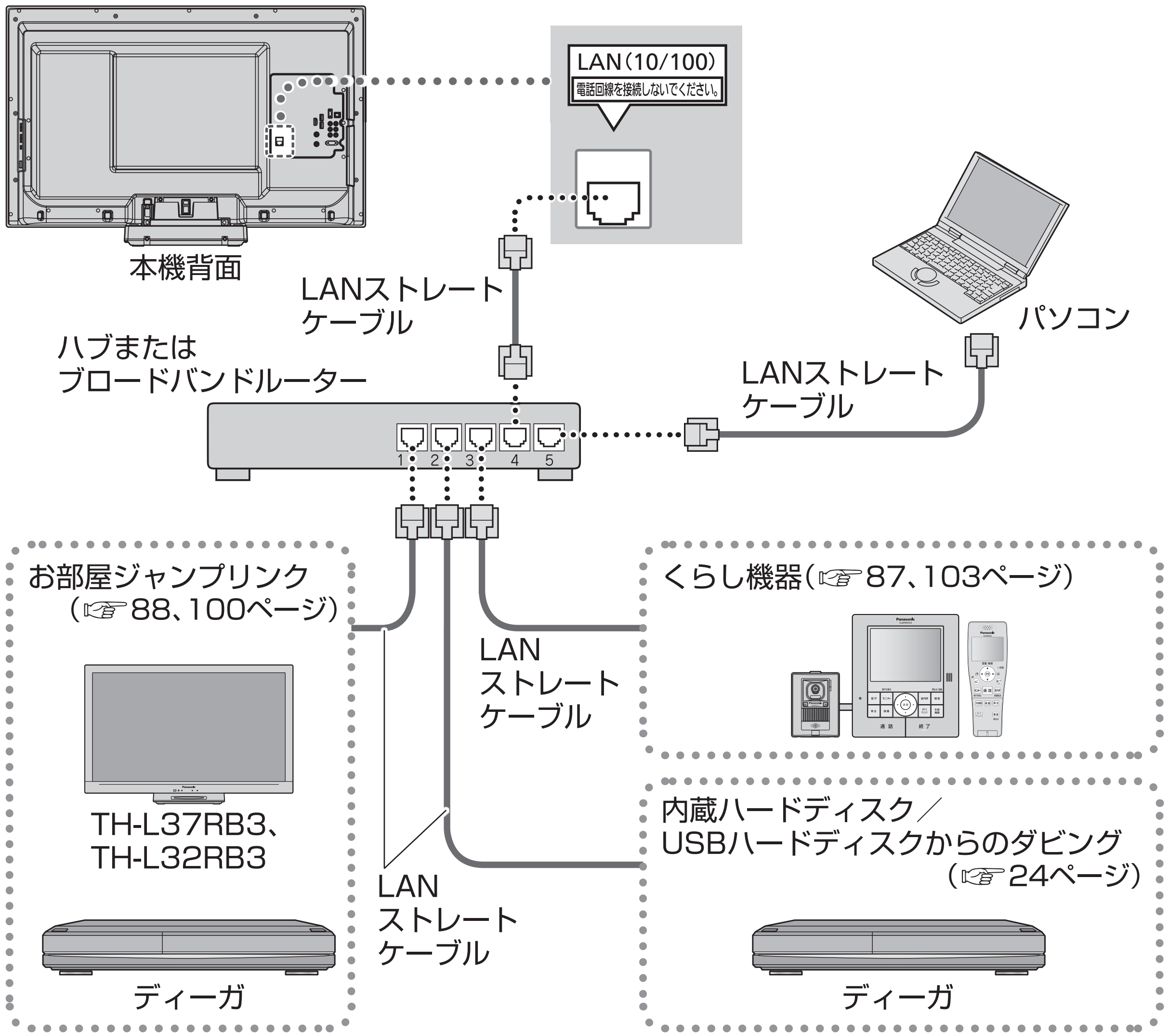
■かんたんネットワーク設定
●46ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。
（かんたんネットワーク設定の内容☞ 107ページ）
●個別に設定するとき：LAN接続形態（? ガイド764）

■無線LANについて
●アクセスポイントはAOSS™かWPS※対応であることをご確認ください。（AOSS™、WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。）詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
●無線LANアダプターとアクセスポイント間の無線方式は、11n（5 GHz）を推奨します。
11a、11b、11g、11n（2.4 GHz）でも通信できますが、通信速度が遅くなることがあります。
●アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器（パソコンなど）が接続できなくなることがあります。
●無線LANアダプターはUSB延長ケーブルで接続してください。
●無線LANアダプターは良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。
●通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティー設定（暗号化設定）を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
●無線LANのセキュリティー設定（暗号化設定）を行っていない場合、USBハードディスクから無線LANを経由してのダビングはできません。
●電波を使う機器から離してください。
電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
•電子レンジ　•他の無線LAN機器　•Bluetooth® 対応機器　•その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器（デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
※「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。

ネットワーク機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
(☞6ページ)

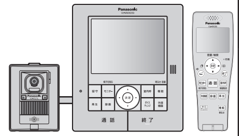
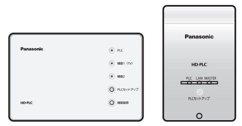
ネットワーク機器を接続するときの一例



お知らせ

- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。(100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。)
- 本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続していると き、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
時間をおいて(約3分間)再度試してください。
- くらし機器によっては、インターネットへの接続が必要な場合があります。くらし機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。(インターネットへの接続・設定☞80ページ)

くらし機器

接続する機器		特長／対応機種品番	参照
当社製 テレビドアホン		●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。 ワイヤレスモニター付　VL-SWN350KL VL-SWN352KL パーソナルファクス付　VL-SWN355KL	接続ガイド 9
当社製 センサーカメラ		●デジタルビデオカメラなどにセンサーを搭載し、反応したときに撮影します。 ●本機に接続すると、テレビ画面に画像を表示して、屋外や離れた部屋の様子を確認できます。 H.264対応センサーカメラ　VL-CM210、VL-CM240、VL-CM260	
当社製 ドアホン用 PLCアダプター		●本機とテレビドアホンをPLCアダプターを利用して接続すると、テレビドアホンからの画像をテレビ画面に表示します。 ●PLCとは、既存の電力線(屋内電気配線)を利用して、データ通信を行う技術です。 ●電力線の使用状態によっては、使用できないまたは、通信が不安定なコンセントがあります。 ドアホン用PLCアダプター　VL-SP880 ※対応するテレビドアホンはドアホン用PLCアダプターの取扱説明書をご覧ください。	
パナソニック電工株式会社製	ネットアダプタ (玄関番用) ライフィニティ システム (くらし安心ホームパネル／宅内コントロールアダプタ)	●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。 ●「ライフィニティ」とは、住戸内の各設備機器をLANで接続することで実現する、安心・便利なくらしの形です。 対応機器の詳細については http://panasonic.jp/Lif をご覧ください。	

- 上記の品番は2011年7月現在発売中のものです。

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

- 46ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。(かんたんネットワーク設定の内容☞107ページ)
- 個別に設定するとき：くらし機器を有効にする(?ガイド773)
くらし機器を登録する(?ガイド779)
ビエラリンクメニューに表示する(?ガイド782)

■くらし機器映像の自動表示(?ガイド773)
呼び出し時に、自動で画像を表示したいとき。

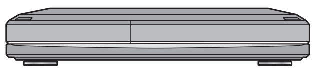
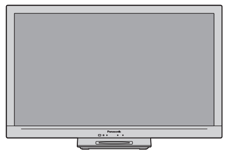
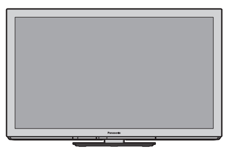
■通知時の表示サイズ(?ガイド773)
呼び出し時の画像の表示サイズを選びたいとき。

■通知表示設定(?ガイド773)
ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、通知を受けたいとき。

ネットワーク機器の接続・設定（つづき）

お部屋ジャンプリンク

●本機は、DMP、DMS（ホームサーバー）、DMRとして使うことができます。
DMP：デジタルメディアプレーヤー（本機で、別の機器の映像などを見ることができます。）
DMS：デジタルメディアサーバー（本機の内蔵ハードディスクなどに録画した内容を、当社製テレビなどで見ることができます。）
●本機では、DMSを**ホームサーバー**と表記します。
DMR：デジタルメディアレンダラー（別の機器からの操作で、別の機器の内容を本機の画面で再生できます。）

接続する機器	特長／対応機種	参照
本機をDMPとして使う ディーガ 	●本機にLANケーブルで接続（☞86ページ）すると、ディーガなどのハードディスクに保存した内容を本機で再生できます。 また、録画予約情報をディーガに転送できます。	接続ガイド 9
TH-L37RB3、TH-L32RB3 	対応する当社製テレビ　TH-L37RB3 TH-L32RB3 対応するディーガについては、以下のホームページでご覧になれます。（2011年7月現在） http://panasonic.jp/support/ を開く。 「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。	
本機をホームサーバーとして使う 当社製テレビ 	●本機にLANケーブルで接続（☞86ページ）すると、本機の内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスクに録画した内容を別のお部屋ジャンプリンクに対応した当社製テレビから視聴できます。	
	お部屋ジャンプリンクに対応するテレビについては、以下のホームページでご覧になれます。（2011年7月現在） http://panasonic.jp/support/ を開く。 「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。	

●本機をDMRとして使う（☞102ページ）
●上記の対応機種は、2011年7月現在の情報です。

接続後の設定

■ネットワーク連携設定（?ガイド793）
●本機の名称変更　（ホームサーバー、DMRの設定）
●お部屋ジャンプリンク リモート制御　（DMRの設定）
●お部屋ジャンプリンク リモート音量制御　（DMRの設定）
●ネットワークリモコン
●ホームサーバー機能設定　（ホームサーバーの設定）

■設定に必要なとき
●本機のMACアドレスを確認する。（?ガイド766）

※ディーガ側の設定も必要です。
詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

インターネットを使う

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

本機をブロードバンド環境に接続すると、テレビ向けのインターネット・サービス「アクトビラ」を楽しむことができます。

本機をネットワークに接続する

すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターなどのLAN端子を接続してください。

LANストレートケーブルでの接続
（☞ 接続ガイド 9）
●本機のLAN端子へ接続
（接続・設定 ☞80、81ページ）

無線LANアダプターでの接続
（☞ 接続ガイド 9）
●本機のUSB端子へ接続
（接続・設定 ☞82、83ページ）

本機の設定をする

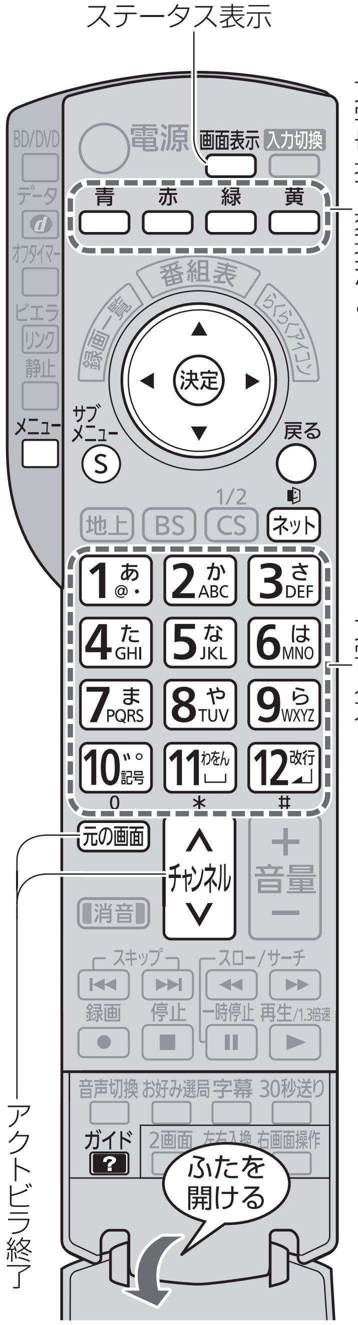
かんたんネットワーク設定をする
（☞46ページ）
●画面の指示に従って操作してください。
（かんたんネットワーク設定の内容 ☞107ページ）

「アクトビラ」の操作については ☞ 90ページ

インターネットを使う（アクトビラ）

電子説明書の使いかた（☞6ページ）
※「アクトビラ」中は表示できません。

まず、ご確認を。
- ●接続はお済みですか?（☞80ページ、接続ガイド 9）
- ●かんたんネットワーク設定はお済みですか?（☞46、107ページ）

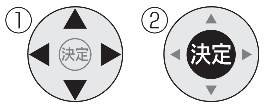


アクトビラの基本操作

1 ネット を押す

●インターネットの画面を表示。

2 「アクトビラ」を選び、「決定」を押す

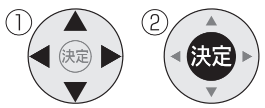


●ポータルサイトを表示。

（イメージ例）



3 見たい項目を選び、「決定」を押す



●①と②を繰り返し、見たい情報のホームページへ。

選んでいる項目が強調される



■終了するとき　元の画面 または チャンネル を押す。
（テレビ画面に戻る）

初めて使うときは

上記手順2で「アクトビラ」を選ぶと端末情報が送信されます。
アクトビラのご案内画面の指示に従ってください。

- ●長期間ポータルサイトを表示しなかったときも、ご案内画面が表示されることがあります。
- ●端末情報は、郵便番号（かんたん設置設定で登録）や端末の識別ID（本機に組み込まれた番号）が含まれます。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

■インターネットの利用をパスワードで制限したいとき（パスワードロック機能）
①「メニュー」を押す。
②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す。
③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す。
④▲▼で「制限項目設定」を選び、「決定」を押す。
⑤暗証番号を入力する。（? ガイド387）
⑥▲▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で下記の制限内容を選ぶ。

すべて制限	………… インターネットの利用に暗証番号の入力が必要
アドレス入力制限	… アドレス入力に暗証番号の入力が必要
無制限	……………… 接続制限なし（暗証番号の入力が不要）

■表示させるホームページを制限したいとき（フィルタリング機能）※

準備 フィルタリング機能を利用するためには、申し込みの手続きが必要です。
①上記「**■インターネットの利用をパスワードで制限したいとき**」手順⑤の操作後、「フィルタリング設定」を選び、「決定」を押す。
②「申し込み手続き」で「決定」を押す。
（フィルタリングサービスの申し込み手続き画面に移動します。画面の指示に従って操作してください。）

①上記「**■インターネットの利用をパスワードで制限したいとき**」手順⑤の操作後、「フィルタリング設定」を選び、「決定」を押す。
②▲▼で項目を選び、設定する。

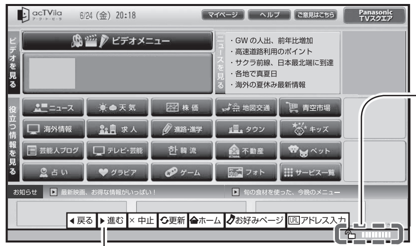
フィルタリング機能	… フィルタリング機能の「オン」「オフ」を設定します。◀▶で切り換えることができます。設定終了後は「元の画面」を押して、テレビ画面に戻してください。
詳細設定	……………… フィルタリング機能の設定を変更します。「決定」を押すと、設定画面に移動します。画面に従って操作してください。

※デジタルアーツ株式会社提供の有害サイトフィルタリングサービス「i-フィルター」（有料）をご利用いただくことで、インターネットを利用するときに、閲覧するのにふさわしくないサイトの表示を制限することができます。
有害サイトの判定にあたっては、閲覧されるページのＵＲＬ情報が自動的にデジタルアーツ株式会社へ送信されます。なお、お客様からの情報はこの目的以外に使用されることはありません。

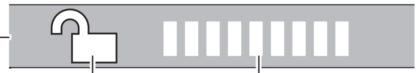
インターネットを使う（アクトビラ）（つづき）

電子説明書の使いかた（☞6ページ）
※「アクトビラ」中は表示できません。

画面の見かた



ステータス表示（画面表示を押すと表示）



ページのセキュリティー
：通常
：セキュリティーで保護

ページの読み込み状況
（読み込みに時間がかかる場合があります）

ネット操作パネル（サブメニューⓈを押すと表示）

●使う項目を選ぶときは、◀▶で選び、「決定」を押す。

◀戻る	▶進む	×中止	更新	ホーム	お好みページ	URL アドレス入力
前のページへ	先のページへ	読み込み中止	再び読み込み直す	ポータルサイトに戻る	お好みページを登録して簡単に呼び出す（☞93ページ）	アドレスを入力してホームページを見る（☞下記）

■動画コンテンツについて
- ●有料サービスの場合があります。
- ●ご利用環境・通信速度などにより、映像が乱れたり途切れる場合があります。
- ●購入履歴など個人情報の削除は「個人情報リセット」（?ガイド742）

■ページの音声再生について（音声コンテンツがある場合）
- ●モノラルで再生されます。動画コンテンツは、コンテンツの音声形式に従って再生されます。
- ●再生できる音声形式は（?ガイド200）

■個人情報について
- ●クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信用できるか十分注意してください。
- ●登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

アドレスを入力してホームページを見る

①上記の「ネット操作パネル」から◀▶で「アドレス入力」を選び、「決定」を押す

②アドレス（URL）を入力する
（文字入力☞94～97ページ）

③▲▼で「確定」を選び、「決定」を押す

アドレス
アドレスを入力してください。
アクトビラサイト以外は正常に表示されない場合や、予期しない情報・有害情報などを含む場合があります。
http://○○○○.ne.jp/cominsoon/index.html
確定

お知らせ
- ●アクトビラやTSUTAYA TVなどのテレビ用コンテンツ以外のホームページは、正確に表示されないことがあります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれる場合があります。
- ●表示させるホームページを制限するには（☞91ページ）

「お好みページ」に登録する（20件まで）

①登録したいホームページを見ているときに92ページの「ネット操作パネル」から◀▶で「お好みページ」を選び、「決定」を押す

◀戻る ▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ アドレス入力

②青を押す

お好みページ
パナソニックホームページ
Panasonic TV Site
CG壁紙ダウンロード AUROGRA
地球の歩き方　ワールドフォトラ

お好みページ一覧（表示例）

③内容を確認して「決定」を押す

タイトル：○○○○○○
URL　：http://○○○○○○○○○○○○○
をお好みページに登録しました。
確認

●「これ以上登録できません。」と表示されたときは、不要なお好みページを選び、「黄」ボタンを押し、「はい」を選んで、「決定」を押すと削除されます。

「お好みページ」を呼び出す・編集する・削除する

①92ページの「ネット操作パネル」から◀▶で「お好みページ」を選び、「決定」を押す

◀戻る ▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ アドレス入力

お好みページ一覧（表示例）

お好みページ
パナソニックホームページ
Panasonic TV Site
CG壁紙ダウンロード AUROGRA
地球の歩き方　ワールドフォトラ

②お好みページ一覧から▲▼でページを選び、「決定」を押す
- ●ページが表示されます。

タイトルを表示

■タイトルやURLを変更するとき
1）お好みページ一覧から変更したいページを▲▼で選び、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で「タイトル」または「URL」を選び、「決定」を押す。
3）文字を削除し、入力し直す。（文字入力☞94～97ページ）
4）「決定」を押す。
5）確認したら「戻る」を押す。

お好みページ編集
タイトル	テレビ情報
URL	http://○○○.○○.jp...

■削除するとき
1）お好みページ一覧から削除したいページを▲▼で選び、「黄」ボタンを押す。
2）確認画面で◀▶を押して「はい」を選び、「決定」を押す。
3）確認したら「戻る」を押す。

削除してもいいですか?
はい　いいえ

お知らせ
- ●登録したホームページが提供者の都合でなくなったり、アドレス（URL）が変更された場合は表示されません。
- ●「個人情報リセット」（?ガイド742）を行うと、すべて削除されます。

文字を入力する

文字入力方法には２種類あります。

リモコンボタン(携帯電話)方法 (工場出荷時)



リモコンの数字ボタンを使い、
携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表(☞97ページ)

例：「映画」と入力するとき

入力文字を切り換える ➡ 入力する ➡ 変換するとき ➡ 確定する

① 緑 を押す。

かな
カナ
英数
数字

●押すたびに
切り換わる。

② 決定 を押す。

1あ ▶ 1あ 2か 10記号
(4回) (2回) (1回) (1回)
え い か ゛

えいが

●同じボタンの文字を
続けて入力するには、
▶でカーソルを右へ
移動させる。

決定 を押して

▲▼で漢字を
選ぶ。

栄華
映画
英が
エイが
エイガ

決定 を押す。

映画|
カーソル

■文節を分けて変換するとき
▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき
(「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞96ページ)
①1文字入力すると候補を表示。
②▼▲で選び、「決定」を押す。

て
手
テレビ
天気

●「緑」ボタンを押すと、
一時的に通常方式の
変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、▲▼で変換する。

■文字を追加するとき 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

■文字を削除するとき 削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

画面キーボード方法 (文字入力方法の選択☞96ページ)



改行	ー	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
空白	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
キーボード移動	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
入力位置移動	！	つ	え	、	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え
	？	わ	お	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お

かな
青
赤 終了
緑 文字切換
黄 文字クリア

画面上にキーボードを表示して
◀▶▲▼で文字や項目を選び、
入力します。

●キーボードを消すときは、
「赤」ボタンを押す。

●キーボードの位置を移動させるときは、
◀▶▲▼で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。
(左下または右上に移動)

入力文字を切り換える ➡ 入力する ➡ 変換するとき ➡ 終了する

緑 を押す。

かな
カナ
英数

●押すたびに
キーボードが
切り換わる。

① で、キーボード
から選ぶ。

② 決定 を押す。

青 を押して

▲▼で漢字を選び、
「決定」を押す。

栄華
映画
英が
エイが
エイガ

赤 を押す。

●キーボード
が消える。

変換しないとき

赤 を押す。

■文節を分けて変換するとき
「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき (「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞96ページ)
①文字を選び、「決定」を押すと、
キーボード上に候補を表示。
②◀▶▲▼で選び、「決定」を押す。

手	テレビ	予測変換
天気	てっきり	

改行	ー	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
空白	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青 変換
キーボード移動	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 確定

●「青」ボタンを
押すと、一時的
に通常方式の
変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

■文字を追加するとき ①キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す。
②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す。
③文字を入力する。

■文字を削除するとき 上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

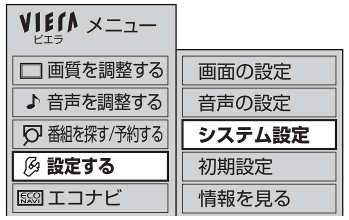
文字を入力する（つづき）

文字入力方法を選ぶ

① メニュー を押す

② ▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

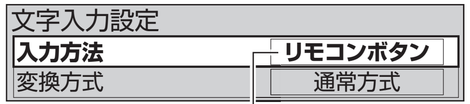
③ ▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す



④ ▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す



⑤ ▲▼で「入力方法」を選び、◀▶で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ



画面上にキーボードを表示させて入力したいときは「画面キーボード」を選ぶ（☞95ページ）

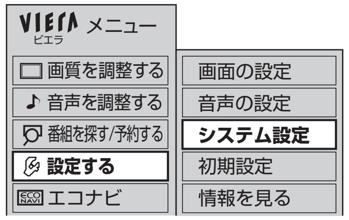
（終わったら 戻る を数回押す）

変換方式を選ぶ

① メニュー を押す

② ▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

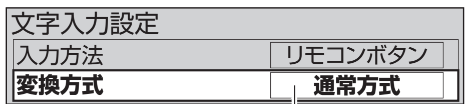
③ ▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す



④ ▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す



⑤ ▲▼で「変換方式」を選び、◀▶で「通常方式」または「予測方式」を選ぶ



1文字の入力で変換候補を表示したいときは「予測方式」を選ぶ（☞94、95ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

リモコンボタン方法での文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1 あ @.	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ~ _ 1	1
2 か ABC	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3 さ DEF	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4 た GHI	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5 な JKL	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6 は MNO	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7 ま PQRS	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8 や TUV	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9 ら WXYZ	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10 ゛゜ 記号 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	― , ; ’ ” ? ! ( ) & ¥ 0	0
11 わをん ␣ *	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12 改行 #	改行	改行	改行	#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を2回押す）
未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。

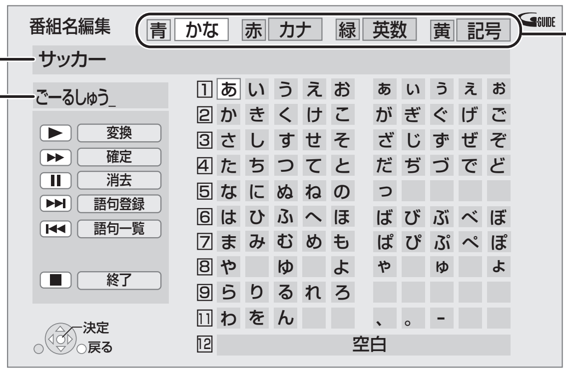
●濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて 10 を押す。

文字を入力する（ブルーレイディスク）

番組名、ディスク名などを入力するとき

ブルーレイディスクの番組名やディスクの名前を入力できます。
●番組名を編集する（☞ 57ページ）
●ディスクの名前を入力する（☞ 73ページ）

文字変換表示欄（確定前の文字）
確定文字表示欄（確定後の文字）



リモコンのカラーボタンで操作
●入力文字の種類を切り換えます。
- 青：かな
- 赤：カナ
- 緑：英数
- 黄：記号

画面上にキーボードを表示して◀▶▲▼で文字や項目を選び、入力します。

入力文字を切り換える ➡ **入力する** ➡ **変換するとき** ➡ **終了する**

入力文字を切り換える
青 赤 緑 黄 で文字の種類を選び、
決定 を押す。
●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

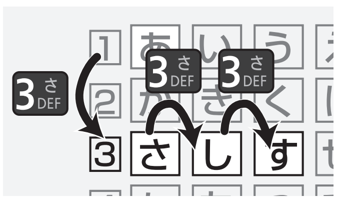
入力する
① 決定（◀▶▲▼）で、キーボードから選ぶ。
② 決定 を押す。
●この手順を繰り返し、文字を入力します。

変換するとき
再生/1.3倍速 ▶ を押して、▲▼で漢字を選び、「決定」を押す。
●JIS第１水準の漢字コードのみ入力可能。

終了する
① 停止 ■ を押す。
②「保存」を選び、「決定」を押す。
●キーボードが消える。

変換しないとき
戻る を押す。

■リモコンの数字ボタン 1 ～ 9、11、12 でも文字を入力できます
例：ひらがな「す」を選ぶ場合
①「3」を押す
●「さ」行に移動します。
②「3」を2回押し、「決定」を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。



■ひらがなを確定するとき
▶▶ を押す。

■文字を削除するとき
一時停止 ❚❚ を押す。

■よく使う語句の登録/呼び出し/削除
●語句を登録する
①語句を入力したあと、▶▶❘ を押す。
②「登録」を選び、「決定」を押す。

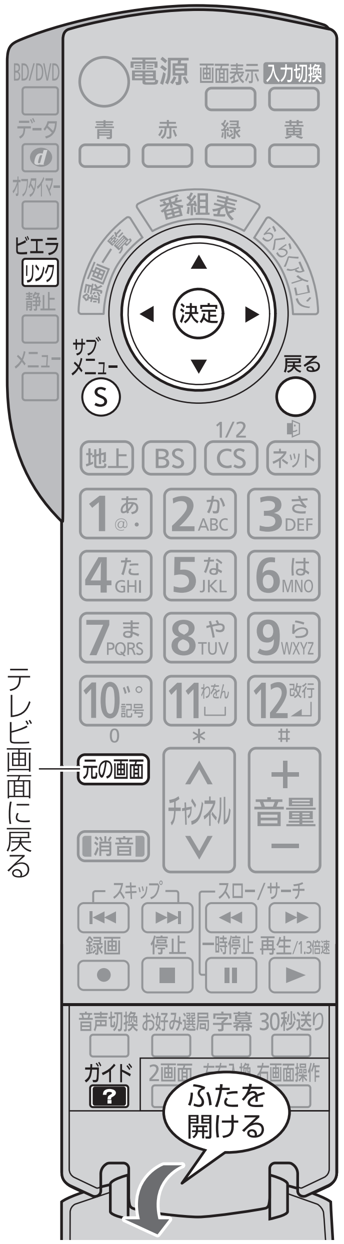
●語句を呼び出す
① ❘◀◀ を押す。
②語句を選び、「決定」を押す。

●語句の削除
① ❘◀◀ を押す
②語句を選び、「サブメニュー」を押す。
③「語句消去」を選び、「決定」を押す。
④「消去」を選び、「決定」を押す。

お部屋ジャンプリンクを使う

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

まず、ご確認を。
●接続はお済みですか?（☞86、88ページ、接続ガイド 9 ）



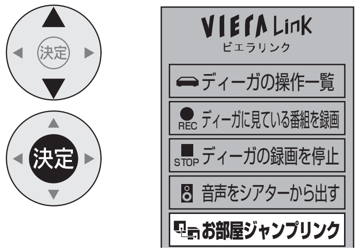
別の機器（ディーガなど）の映像を見る（DMP機能）

接続する機器：お部屋ジャンプリンクに対応した当社製ディーガ
本機以外のTH-L37RB3、TH-L32RB3
（2011年7月現在）

●ディーガに保存している映像を再生するには、ディーガへの登録が必要な場合があります。
詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。
●接続するTH-L37RB3、TH-L32RB3の設定について（☞101ページ）

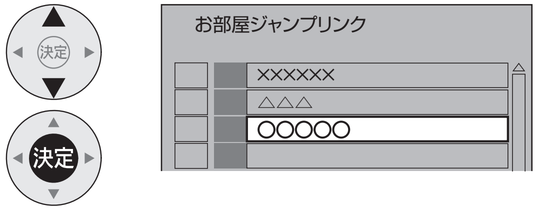
1 ビエラ リンク を押す

2 「お部屋ジャンプリンク」を選択し、「決定」を押す



「ビエラリンク」メニュー

3 再生したい機器を選択し、「決定」を押す



●選択した機器の画面を表示します。
●以降の操作は再生したい機器の取扱説明書をご覧ください。

（終わったら 元の画面 を押す）

お知らせ

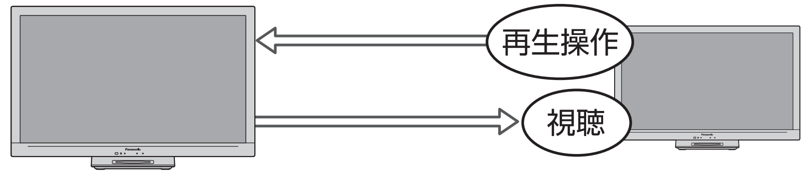
●お部屋ジャンプリンクで再生できるコンテンツについては、以下のホームページでご覧になれます。（2011年7月現在）
http://panasonic.jp/support/ を開く。
「お部屋ジャンプリンク」→再生コンテンツ対応表の「ビエラとディーガ」を選ぶ（無線LAN接続の場合、暗号化設定をしていないときは、再生できないコンテンツがあります。）
●本機と別の機器（ディーガなど）との接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
●ディーガの映像を視聴中に「サブメニュー」ボタンを押すと、再生操作パネルが表示されます。
●ディーガの画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。

録画予約について（?ガイド251）

本機で録画した内容を別のテレビなどで見る（ホームサーバー機能）

本機の内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画した内容を、ネットワークに接続した他のテレビなどで視聴することができます。

本体の電源を「切」にすると、ホームサーバー機能は使えません。電源を切るときは、リモコンで「切」にしてください。（ホームサーバー機能使用中は、電源ランプが橙色点灯しています。）
ホームサーバー機能を「オン」にすると、消費電力が増加することがあります。



●まず「ホームサーバー機能」を「オン」にしてください。（☞88ページ、?ガイド792）
●ホームサーバーに設定できるのは、内蔵ハードディスクか本機に登録しているUSBハードディスクのうち、どれか一つです。「ホームサーバー機能設定」の「ホームサーバー用HDD」（?ガイド792）で設定できます。
●本機で録画した番組と外部入力から録画した内容を、見ることができます。

例：お部屋ジャンプリンク対応の当社製テレビでの再生操作

1 「ビエラリンク」ボタンを押す

2 「お部屋ジャンプリンク」を選択し、「決定」を押す

3 本機の名称を選択し、「決定」を押す
●「本機の名称変更」（?ガイド792）で設定した名称が表示されます。
●以降の操作は画面の表示を確認して行ってください。

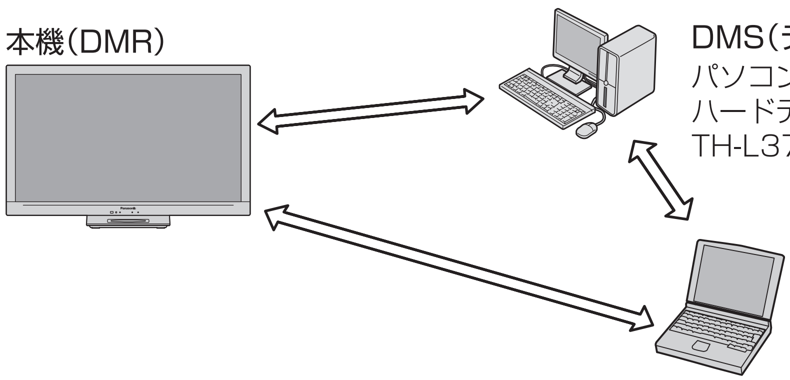
お知らせ

●2台以上の機器で同時に視聴することはできません。
●無線LAN接続の場合、暗号化設定をしていないときは、再生できないコンテンツがあります。
●本機にアクセスできる機器を制限することができます。「視聴許可方法」を「手動許可」に設定したうえで、「機器一覧」から設定してください。（?ガイド792）
●ホームサーバーにUSBハードディスクを選択したときは、設定したUSBハードディスクが接続されていることをご確認ください。（取り外しているときは、ホームサーバーとして使うことができません。）
●以下の場合は、ホームサーバー機能を使うことができません。
・テレビでネット視聴中・録画中・ダビング中・お部屋ジャンプリンク視聴中
・設置設定中（かんたん設置設定など）

お部屋ジャンプリンクを使う（つづき）

他の機器に保存した内容を、本機の画面で再生する（DMR機能）

DMC（デジタルメディアコントローラー）の操作で、DMSに保存している映像や写真、音楽を本機の画面で再生できます。



- まず「お部屋ジャンプリンク リモート制御」を「オン」にしてください。（☞88ページ、?ガイド797）
- 再生の操作は、DMCで行います。
  ※DMCで本機の音量を調整したいときは「お部屋ジャンプリンク リモート音量制御」を「オン」にしてください。（☞88ページ、?ガイド797）
- DMCとDMSが同じパソコンでも機能を使うことができます。
- DMCとして動作確認済の機器はWindows® 7のパソコンです。(2011年7月現在)
- DMR機能で再生できるコンテンツの種類について（?ガイド797）(2011年7月現在)

くらし機器を使う

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

くらし機器からの通知を受ける

テレビドアホンなどからの通知が表示されたら「決定」を押す

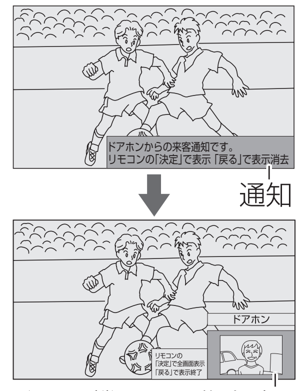


- 「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、自動的に画像を表示します。（?ガイド773）

確認したら 戻る を押す

- 「戻る」を押さなかったときは、最大3分以内に表示が消えます。

例：テレビドアホン

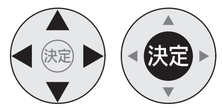


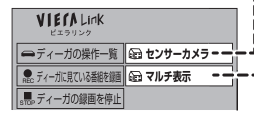
くらし機器の画像を表示（「決定」を押すと拡大）

くらし機器の画像を見る

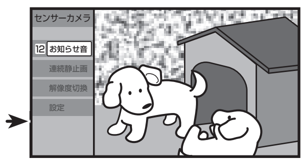
1 ビエラ リンク を押す

2 くらし機器を選び、「決定」を押す

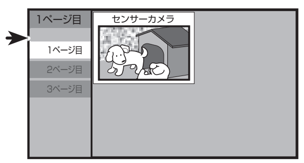




- マルチ表示は、くらし機器一覧（ビエラリンク設定）画面（?ガイド782）で「マルチ表示」が「可」になっている機器のみです。
- 以降の操作は各くらし機器の取扱説明書をご覧ください。
  （終わったら 元の画面 を押す）



例：センサーカメラの場合



例：マルチ表示の場合

- 選択したくらし機器の画像を表示します。

くらし機器からの通知や画像について

- 約1秒ごとに更新しながら画像が表示されます。（動画ではありません）
  H.264対応センサーカメラの場合は、全画面表示時に動画と音声が出ます。
- ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間連続で、くらし機器からの映像を再生した場合は、ネットワークの状態などによって途中で動画／画像が止まる場合があります。
- 本機からの応答はできません。
- 画像の表示中は、チャンネルや入力の切り換え、メニュー操作はできません。
- 本機の電源を入れた直後は、通知や画像が表示されないことがあります。
  約1分（DHCP機能付きのルーターを使用していないときは約3分）お待ちください。
- 「通知時の表示サイズ」を「全画面」に設定時は、画面全体に拡大して表示されます。（?ガイド773）
- 2画面での視聴中にくらし機器からの動画／画像を表示すると、1画面になります。
- ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる画像が消え、元の画面に戻ります。
- 以下の場合、くらし機器の画像を確認したあとに「戻る」を押すと、テレビ画面に戻ります。
  - USBハードディスク再生中 ●番組表表示中 ●インターネット使用中 ●お部屋ジャンプリンク視聴中
  - SDメモリーカードの動画や画像表示中 ●データ放送表示中 ●ブルーレイディスク／DVDディスク再生中

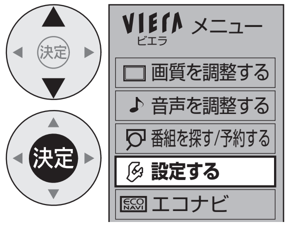
メニュー一覧

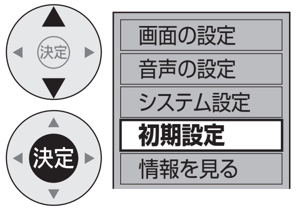
ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

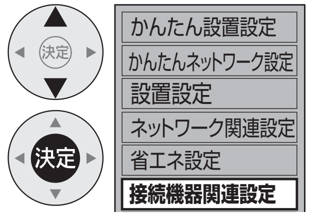
操作のしかた

例:「接続機器関連設定」

メニュー を押す ➡ 「設定する」を選び、「決定」を押す ➡ 「初期設定」を選び、「決定」を押す ➡ 「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す







※印はTH-L37RB3にのみ表示される項目です。

メニュー	内容	参照
画質を調整する	番組に合わせて、画質をお好みで調整する。(映像メニュー･バックライト･ピクチャー･黒レベル･色の濃さ･色あい･シャープネス･液晶AI･色温度･ビビッド･超解像･NR･HDオプティマイザー･明るさオート･テクニカル)	?301
音声を調整する	番組に合わせて、音声をお好みで調整する。(音声メニュー･バス･トレブル･バランス･サラウンド･音量オート･イコライザー･低音補正･音量補正)	?311
番組を探す/予約する	見たい番組を探したり、録画予約する。(番組表で･注目番組一覧･今放送中から･ジャンル別に･キーワードで･人名で･時間指定予約で･予約一覧)	?405
設定する		
画面の設定	画面の垂直(上下)の位置やサイズを微調整する。(垂直位置／サイズ[PC画面調整]･水平表示領域･HD表示領域･セルフワイド･ID-1検出･ED2検出･3次元Y／C分離･480p色マトリックス･サイドカット固定･デジタルシネマリアリティ･Wスピード※)	?360
音声の設定	イヤホンの音声、2画面の音声、音声ガイドの設定をする。(スピーカーとイヤホン音声の同時出力･ヘッドホン／イヤホン音量･2画面時のスピーカー音声出力･2画面時のイヤホン音声出力･音声ガイドの設定)	?365 ?411
システム設定		
お好み録画設定	ジャンルや人名、録画する時間帯などを指定して、お好みの番組を自動で録画する。	?385
字幕の設定	字幕や文字スーパーを表示する。(字幕･字幕言語･文字スーパー･文字スーパー言語)	?380
制限項目設定	視聴できる番組や、インターネットで表示するホームページを制限する。(視聴可能年齢･ブラウザ制限･フィルタリング設定･暗証番号変更･暗証番号削除)	?397
文字入力設定	文字入力の方法を選ぶ。(入力方法･変換方式)	96ページ
選局対象	チャンネル順送りボタンで表示できるチャンネルを選ぶ。	?380
右画面操作	2画面のとき、右画面操作の状態を継続する。	?380
タイトル表示	選局時に、番組のタイトルを表示する。	?380
時計表示	画面に時刻を表示する。	?380
表示の設定	メニューの表示のしかたを選ぶ。(アニメーション)	?380
録画･視聴設定	次回以降の放送を自動的に予約したり、内蔵ハードディスクやUSBハードディスク、SDメモリーカードの録画に関する設定を行う。(探して毎回予約･録画ボタン設定･オートチャプター)	?348

メニュー	内容	参照
設定する(つづき)		
初期設定		
かんたん設置設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、設置設定を画面に従って順にやり直す。	46、106ページ
かんたんネットワーク設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、ネットワーク設定を画面に従って順にやり直す。	46、107ページ
設置設定(「決定」を3秒以上押す)	受信する放送局の修正やアンテナレベルの調整などを行う。(受信対象設定･チャンネル設定･番組表設定･地域設定･受信設定･クイックスタート･B-CASカードテスト)	?703
ネットワーク関連設定(「決定」を3秒以上押す)	ネットワーク機器を接続するときの設定を行う。[接続テスト･LAN接続形態･アクセスポイント接続設定･IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定･ネットワーク連携設定･くらし機器設定･ひかりTV設定]	?798
省エネ設定	使わないときに自動的に電源を切る。(無信号自動オフ･無操作自動オフ･HDD／BD機能待機)	?350
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)対応機器や外部機器を接続したときの設定を行う。[ビエラリンク(HDMI)設定･USB HDD機器一覧･HDMI RGBレンジ設定･HDMI画質連動設定･HDMI音声入力設定･ビデオ入力表示書換･ビデオ2音声入出力設定･デジタル音声出力･モニター音声出力停止設定･入力自動スキップ･PCスキップ･HDMIスキップ]	77、79、83ページ ?823
自動更新設定	デジタル放送からの情報ダウンロードの方法を選んだり、ソフトウェアの更新確認を行う。(放送ダウンロード予約･ソフトウェアの更新通知･ソフトウェアの更新確認)	?750
設定リセット(「決定」を3秒以上押す)	廃棄時などに個人情報をすべて削除する。内蔵ハードディスクやSDメモリーカードのフォーマットをする。(個人情報リセット･内蔵HDDのフォーマット･SDカードのフォーマット)	?742
情報を見る	デジタル放送からのお知らせや、本機などの情報を見る。(放送メール･B-CASカード･SDカード･ID表示･ボード･ダビング履歴)	?160
エコナビ		
エコナビ	本機および周辺機器を制御して消費電力を低減する。	?866
エコナビ表示	エコナビ動作時の表示をする。	?867
放送メール	未読の情報があるときのみ表示。	?160
ネットで使い方ガイド	インターネット上の使い方ガイドを見る。(インターネットの接続とIPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定が必要)	?201
画面モード設定	画面サイズを選ぶ。●ハイビジョン映像の場合(フル、サイドカットセルフワイド、サイドカットノーマル、サイドカットジャスト、サイドカットズーム、サイドカットフル)●ハイビジョン映像以外の場合(セルフワイド、ノーマル、ジャスト、ズーム、フル)	?921
オンタイマー	タイマーで自動的に電源を入れる(オンタイマー「切」「入」･時刻･時刻読み上げ設定･音量･放送／入力･チャンネル) 時刻読み上げを中止する(時刻読み上げ中止)	?357
BD／DVD設定	ブルーレイディスクのフォーマットや番組の消去、ディスクを再生するときの設定を行う。(BD管理･BD/DVD初期設定･BDビデオデータ消去･プレイリスト再生)	60、73~75ページ ?905 ?922 ?939

メニュー一覧（つづき）

※かんたん設置設定、かんたんネットワーク設定の内容は、「画質を調整する」や初期設定の「設置設定」と「ネットワーク関連設定」などで個別に変更することができます。
（☞ 104ページ）
※設定する必要がない項目は、画面の表示に従って次の項目に進むことができます。

「かんたん設置設定」の内容

項目	内容	設定項目
接続確認画面（お買い上げ後、最初の設定時にのみ表示されます）	画面の表示に従って、アンテナ線の接続、B-CASカードの挿入、接続機器を確認してください。	－
画質調整設定画面	ご家庭用：映像メニューを「スタンダード」に設定します。 店頭用　：映像メニューを「ダイナミック」に設定します。	映像メニュー
郵便番号入力/県域設定/市外局番設定	画面に従って、お住まいの郵便番号、都道府県、市外局番を入力してください。	地域設定
B-CASテスト	B-CASカードのテストを行います。 正しく終了すると、デジタル放送の設定ができます。	B-CASカードテスト
地上デジタル放送のチャンネル設定	地上デジタル放送のチャンネル設定を行います。	チャンネル設定
衛星アンテナ電源設定	衛星アンテナ電源の設定と、受信状態の確認を行います。 確認の結果によっては、アンテナ自体の調整や再設定が必要になることがあります。	受信設定
機能待機の設定（お買い上げ後、最初の設定時にのみ表示されます）	ブルーレイディスクドライブや内蔵ハードディスクの機能待機状態の設定を行います。	HDD／BD機能待機
かんたん設置設定終了	設定の結果を表示します。	－

「かんたんネットワーク設定」の内容

項目	内容	設定項目
お知らせ	ネットワークへの接続形式（有線LAN、無線LAN）を選んでください。 有線LANを選択すると、「接続確認」に進みます。 無線LANを選択すると、次に「無線LANアダプターの確認」に進みます。	LAN接続形態
無線LANアダプターの確認	無線LANアダプターの接続状態を確認し、結果を表示します。 未接続のときは、無線LANアダプターを接続して次の設定に進んでください。	－
接続方式の選択/設定	アクセスポイント（無線LAN親機）への接続方式を選択し、接続を設定します。画面の表示に従って設定してください。 （設定が終了している場合は、設定済みのアクセスポイントの一覧と、設定内容が表示されます。）	アクセスポイント接続設定
接続確認	インターネットの接続状態を表示します。結果によっては、設定画面（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS、プロキシアドレス、プロキシポート、Gガイド受信機能）に進みます。 **この設定を終了すると、インターネットやインターネットからのGガイド受信機能を使うことができます。**	接続テスト、IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定、番組表設定（通信によるGガイド受信）
くらし機器	登録モードになっているくらし機器を1台ずつ登録します。 （くらし機器を登録モードにする操作については、くらし機器の取扱説明書をご覧ください。） **この設定を終了すると、くらし機器を使うことができます。**	くらし機器設定
設定終了	かんたんネットワーク設定を終了します。	－

故障かな！？

電子説明書の「困ったとき」も
あわせてご覧ください。

電子説明書の使いかた
（☞ 6ページ）

●映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった
- 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、電源ランプが消えたことを確認してから再度電源を「入」にしてください。
  ※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

●電源が入らない
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（☞42ページ）
- リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？（☞31ページ）

●電源ランプが点滅する
- テレビ本体の電源ボタンで「切」にして、5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。（リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。）
  上記の操作で直らないときは、故障の可能性があります。販売店または128ページの連絡先にご相談ください。

●リモコンで操作できない
- チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？（☞29ページ）
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？（☞29ページ）
- リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？（☞30ページ）
  受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
  →本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。（☞31ページ）

●音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う
- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

●インターネットに接続できない
- 有線、無線の切り換えはできていますか？（?ガイド763）
- 設定した無線LANアダプターを外して、別の無線LANアダプターを接続したときは、再度設定してください。

●無線方式11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用時、映像が途切れたり、接続が切れる
- アクセスポイントの無線方式を11n(5 GHz)に設定していますか？
  （詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。）
- 電波を使う機器が近くにないか、確認してください。
  （電子レンジ、デジタルコードレス電話機など）

●ブルーレイディスクの再生開始、ダビング開始、取り出しまでに時間がかかる
- 「HDD／BD機能待機」を「しない」に設定しておくと、本機の内蔵ハードディスクやブルーレイディスクドライブを10分以上操作しないときは休止状態になり、ディスクの再生開始、ダビング開始、取り出しまでに数分かかることがあります。消費電力が増加しますが「HDD／BD機能待機」を「する」に設定すると、動作の開始が早くなります。（?ガイド350）

●ブルーレイディスクにダビングできない
- 信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認してください。
  （ディスクに関する注意事項☞ 112ページ）
- 録画中はダビングできません。

●内蔵ハードディスクまたはブルーレイディスクドライブの機能がすべて使えない
- 内蔵ハードディスクやブルーレイディスクドライブの動作中に本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電した場合は、電源を入れたときに、録画･再生に関連する機能が一時的に使えなくなる場合があります。この場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

●ディスクが取り出せない
- 本体の電源が「切」のときは、ディスクの取り出しはできません。本体の電源を「入」にして、電源ランプが点灯していることを確認してから、ディスク取り出しボタンを押してください。
- ブルーレイディスクへのダビング中、ブルーレイディスクの初期化中、ソフトウェアの更新中は、ディスクを取り出すことはできません。
  動作終了後にディスク取り出しボタンを押して、ディスクを取り出してください。
- ディスクの取り出し時、録画ランプが赤色で点滅し、取り出しまでに時間がかかることがあります。（最大約２分）しばらくお待ちください。
- 上記の操作を行ってもディスクが取り出せない場合は、販売店または128ページの連絡先にご相談ください。

デジタル放送からのダウンロードにより、常に制御プログラムを最新の状態にしてください。
テレビの視聴後は、リモコンで電源を「切」にすることをおすすめします。
リモコンで電源「切」の間に、最新の制御プログラムが自動受信されます。
（?ガイド750）

使用上のご注意

■内蔵ハードディスク・USBハードディスク・SDメモリーカード に関する注意事項

●たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどが本機やUSBハードディスクの内部に入ると、故障の原因となります。
●内蔵ハードディスクの動作中(再生·録画中など)に、テレビ本体の電源を切ったり、振動や衝撃(移動、回転など)を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。
●USBハードディスクの動作中(再生·録画中など)に、テレビ本体の電源を切ったり、USBケーブルを抜いたり、振動や衝撃(移動、回転など)、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。
●SDメモリーカードの動作中(再生·録画中など)に、テレビ本体の電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたり、振動や衝撃、静電気を与えると、録画した番組や保存した静止画などが消えたり、故障の原因となります。

<テレビ本体で電源を切るときは>

手順①リモコンの[停止 ■]を押して録画や再生を停止する

手順②録画ランプ(☞30ページ)が消えているか、
または橙色点灯中であることを確認する

手順③テレビ本体の電源を切る

■録画に関する注意事項

●録画時間の目安について(連続録画の場合)

録画モード ／ 録画機器	標準			長時間１	長時間２
	BSデジタル HD放送 (≦ 24 Mbps)	BSデジタル SD放送 (≦ 12 Mbps)	地上デジタル HD放送 (≦ 17 Mbps)		
内蔵 ハードディスク (500GB)	約43時間	約86時間	約60時間	約175時間	約350時間
当社製 ハードディスク (DY-HD500)	約43時間	約86時間	約60時間	約175時間	約350時間
SDHCメモリーカード					
4 GB	約18分	約36分	約25分	約1時間15分	約2時間30分
8 GB	約40分	約1時間20分	約50分	約2時間40分	約5時間20分
16 GB	約1時間20分	約2時間40分	約1時間50分	約5時間30分	約11時間
32 GB	約2時間40分	約5時間20分	約3時間40分	約11時間30分	約23時間
SDXCメモリーカード					
48 GB	約4時間	約8時間	約6時間	約17時間	約34時間
64 GB	約5時間	約11時間	約8時間	約23時間	約46時間

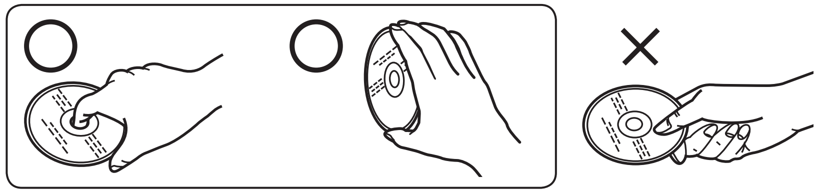
•「標準」の録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
•録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。
•SDメモリーカードはファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。
本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、表示される値は小さくなります。
•SDメモリーカードは短い時間の録画を繰り返すと記録可能な時間が短くなる場合があります。
•512 MB以上のSDメモリーカードが使えますが、録画できる時間は512 MBで約1分です。

●何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失、および直接·間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
●あなたが録画·録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

使用上のご注意(つづき)

■ディスクに関する注意事項

持ちかた

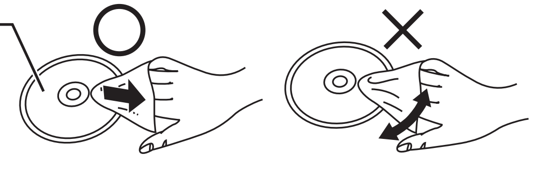


信号面(光っている面)
には手を触れない
・信号面に指紋や汚れなど
　が付着しているときは、
　ふき取ってください。

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
(光っている面)
内側から外へ

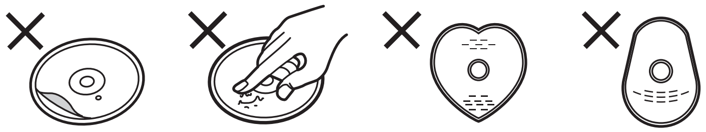


レコードクリーナーやシンナー、
ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー(別売品)のご使用をおすすめします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 以下のディスクを使わない。
  - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後はケースに収めてください。

■ブルーレイディスクドライブに関する注意事項

●ブルーレイディスクドライブ動作中(再生、ダビング中など)に、本体の電源を切ったり、振動や衝撃(本機の移動、回転など)を与えると、ディスクに記録した番組が消えたり、ディスクに傷がついて使用できなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。

<テレビ本体で電源を切るときは>

手順①リモコンの[停止 ■]を押す

手順②録画ランプ(☞30ページ)が消えているか、
　　　または橙色点灯中であることを確認する

手順③テレビ本体の電源を切る

●何らかの不具合により、正常に記録ができなかった場合の内容の補償、記録した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

●本機は必ず水平な場所に設置してください。ブルーレイディスクドライブは、傾くと正常に記録・再生ができなくなることがあります。

●設置や移動をするときは、あらかじめディスクを取り出してください。
振動や衝撃でディスクが傷つく場合があります。

●本機の電源を切る前に、ディスクを取り出してください。
長期間ディスクを挿入したままにすると、故障の原因になることがあります。

●ディスクを挿入するときは、無理に押し込まないでください。
故障の原因になることがあります。

●すでにディスクが入っているときにもう1枚挿入しようとすると、故障の原因になることがあります。

●録画／再生レンズ
長期間使用すると、ブルーレイディスクドライブのレンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、ブルーレイレンズクリーナー(別売品：RP-CL720A)でほこりなどの除去をおすすめします。
使いかたは、ブルーレイレンズクリーナーの取扱説明書をご覧ください。
- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。
- ブルーレイレンズクリーナーの取扱説明書などには「ディーガ専用」と記載されていますが、本機でもお使いになれます。

用語解説

●再生や録画に関する主な用語を記載しています。
それ以外の用語については、電子説明書の「言葉でさがす」をご覧ください。

チャプターマーク	録画番組の頭出しなどが、しやすいよう区切るために記録されたマーク（目印）です。本機では「オートチャプター」設定を「オン」にすると録画時、自動的に作成されます。本機ではチャプターマークを編集することはできません。
ファイナライズ	番組を記録したBD-Rを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。
フォーマット	記録前のHDDやBD-Rなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。
ブルーレイディスク(BD)	ハイビジョン番組をそのままの画質･音質で記録することができるディスクです。（DVDの場合、そのままの画質･音質で記録することはできません）
プレイリスト	ブルーレイディスクなどに記録された番組の再生順序などを、指定したリストのことです。本機ではプレイリストの作成や編集はできません。
AVCHD規格	高精細なハイビジョンビデオ映像をDVD記録用ディスクやSDメモリーカードなどに記録するための規格です。本機では、この規格で記録されたSDメモリーカードやブルーレイディスクが再生できます。
BDビデオ	ブルーレイディスクの市販ソフトのことです。本機では「Region A」と記載されたBDビデオを再生できます。BDビデオの特長は、迫力あるハイビジョン映像や最大7.1ch音声のサポート、再生中にいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」の表示です。
BD-R	1回のみ記録することができるブルーレイディスクです。本機では記録や再生することができます。デジタル放送を、そのままの画質･音質（標準モード）で記録できます。新品など未フォーマットの場合は、本機でフォーマットしてください。記録済みのBD-Rはフォーマットできません。
BD-RE（Ver.1.0）	繰り返し記録用で、1倍速のブルーレイディスクです。カートリッジ付きのディスクのため、本機では使用できません。
BD-RE(Ver.2.1)	繰り返し記録することができる2倍速のブルーレイディスクです。本機ではダビングや再生ができます。デジタル放送を、そのままの画質･音質（標準モード）で記録できます。本機で記録できるようにするには、本機でフォーマットしてください。ただし、記録済みの場合、記録していた内容はすべて消去されます。
CPRM	Content Protection for Recordable Mediaの略称です。デジタル放送には、原則として「1世代のみコピー可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号が加えられており、CPRMに対応したデジタル録画機器と記録メディアとの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。
DTS (Digital Theater Systems)	映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。
DTS-HD	映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAVアンプでもDTSとして再生できます。BD規格では最大7.1chまで対応しています。
DVDビデオ	映画や音楽などの市販ソフトのことです。DVDビデオは再生のみ行えます。
DVD-R	1回のみ記録できるDVDです。本機では記録できません。他の機器で記録してファイナライズされたディスクの再生ができます。
DVD-RAM	繰り返し記録できるDVDです。本機では記録できません。本機でカートリッジ付きのDVD-RAMを再生する場合、カートリッジからディスクを取り出して使用してください。
DVD-R　DL	記録面が片面2層になっていて、番組を1層目から2層目へ引き続き記録できるDVDです。1回のみ記録できます。本機では記録できません。他の機器で記録してファイナライズされたディスクの再生ができます。
DVD-RW	繰り返し記録できるDVDです。本機では記録できません。他の機器で記録してファイナライズされたディスクの再生ができます。
HDD（ハードディスク）	パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つで、表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。本機には500 GBのHDDが内蔵されています。
JPEG	カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。
LPCM	CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。
MPEG-2	カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式です。本機では、DVDビデオやSDカードムービーやSDビデオカメラなどで撮影したMPEG-2動画を再生することができます。
MPEG-4 AVC(H.264)	カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

商標などについて

●SDXCロゴはSD-3C,LLC.の商標です。
●CP8 PATENT
●HDAVI Control™は商標です。
●はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
●“Blu-ray（ブルーレイ）” “Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）”は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
●BDXL™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及びVC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
●Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
●米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド（EPG）が使用できない場合があります。
当社はテレビ番組ガイド（EPG）の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
DTS2.0+Digital Out 及びDTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
●Java およびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2011
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
●Skype、関連する商標とロゴおよび「S」マークは、Skype Limited社の商標です。
●デジタルアーツ／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
●本機は2011年7月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1) The Independent JPEGが開発したソフトウェア
(2) FreeType Projectが開発したソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE（「GPL」）に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE（「LGPL」）に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL、LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア
上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示されるGPL、LGPLの条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記(3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11
http://www.am-linux.jp/dl/JPDTV037
これらGPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（「GPL/LGPL ソフトウェア」）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対して、ソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトウェアに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。
問い合わせ窓口：cdrequest@am-linux.jp
また、上記のGPL/LGPLソフトウェアに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11
http://www.am-linux.jp/dl/JPDTV037
上記(3), (4)および(5) に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、製品の
「ＩＤ表示」（? ガイド１６０）のソフト情報 文章
に記載の所定の条件をご参照ください。

This product incorporates the following software:
(1) the software based in part on the work of the Independent JPEG Group,
(2) the software developed by the FreeType Project,
(3) the software licensed under the GNU GENERAL PUBLIC LICENSE (GPL),
(4) the software licensed under the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE (LGPL), and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL and/or LGPL.
For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL and LGPL, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals.
Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11
http://www.am-linux.jp/dl/JPDTV037
The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
At least three (3) years from delivery of products, we will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL/LGPL.
Contact Information
cdrequest@am-linux.jp
Source code covered under GPL/LGPL is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11
http://www.am-linux.jp/dl/JPDTV037
For the software categorized as (3), (4) and (5), please refer to the applicable license terms included in the "「ID表示(ID display)」(? E-Guide160）ソフト情報表示（Software information Display）文章(Text)" menu on product.

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■キャビネットや液晶パネル表面、スタンド部の汚れは柔らかい布（綿・ネル地・クリーニングクロスなど）で軽くふき取ってください

- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 市販のクリーニングクロス（テレビ用）をご使用の際、下に記載したものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。
  ※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



■スプレー洗剤などは直接かけないでください

水が内部に入ると、故障の原因になります。

キャビネット、スタンド部について

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください

- また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質や塗装がはがれる原因になります。

液晶パネルについて

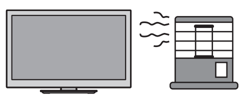
■液晶パネル表面は特殊な加工をしています。

- かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

設置されるとき

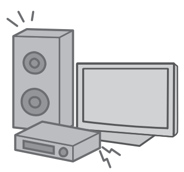
■直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。



■機器相互のかんしょうに注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。



■接続は電源を“切”にしてから行う

- 各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器、オーディオアンプなど）

■アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなったら、販売店にご相談を。



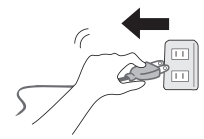
■良好な画面で見るために

- アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

長時間使用しないときは

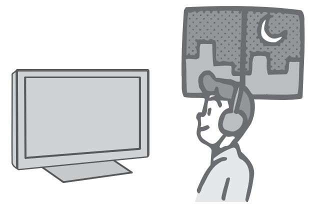
■電源プラグをコンセントから抜いてください

- リモコンで電源を切った場合は約 0.1 W、本体の電源を切った場合は約 0.05 Wの電力を消費します。



ご使用になるとき

■適度の音量にして隣り近所へ配慮する



- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

■本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。（約2～3時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めている場所など）には設置しないでください。

■テレビの上部や液晶パネル面の温度が高くなることがあります。

- 本体天面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。（本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください）

■見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約3倍程度、また、新聞が楽に読める明るさで。

■テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります。

- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
  画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
  番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。
- 液晶パネルが動く、「カタカタ」と音がする
  液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

液晶パネルについて

■画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■残像が発生する場合があります

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

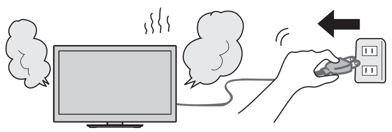
異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
●お客様による修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

火災・感電の原因になります。



水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください

火災・感電の原因になります。



誤飲防止について

■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

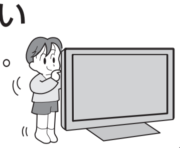


異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

●特にお子様にはご注意ください。



⚠ 警告

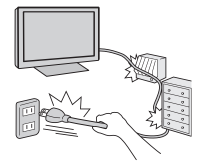
電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は、販売店にご依頼ください。



■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は、販売店にご依頼ください。

■交流 100 V以外で使用しないでください

■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

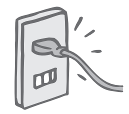
■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。



■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。



■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

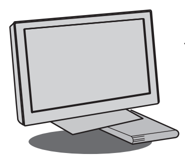
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



設置について

■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

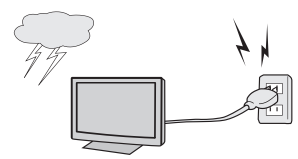


雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください

感電の原因になります。



分解禁止について

分解禁止

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

	高圧注意
⚠	サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

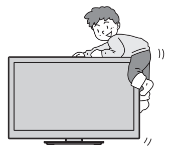
安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

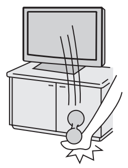
本機の取り扱いについて

■**強い力や衝撃を加えないでください**
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

■**乗らないでください**
■**ぶらさがらないでください**
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



■**上に物を置かないでください**
落下してけがの原因になることがあります。

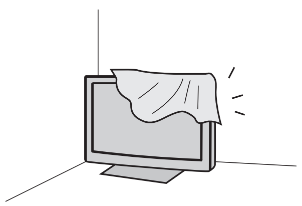


■**接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください**
火災・感電の原因になることがあります。

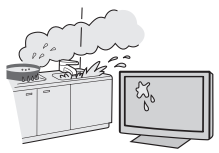
■**接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください**
火災・感電・けがの原因になることがあります。

設置について

■**通風孔をふさがないでください**
■**据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください**
■**風通しの悪い狭い所で使用しないでください**
■**あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください**
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



■**湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください**
火災・感電の原因になることがあります。



■**付属の転倒・落下防止部品を使用して固定してください**
■**ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください**
けがの原因になることがあります。
●転倒・落下防止処置は42ページ参照。

■**本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください**
火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

■**新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください**
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■**極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください**
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。(29ページ参照)

電源プラグについて

電源プラグを抜く

■**長期間使用しないときはコンセントから抜いてください**
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

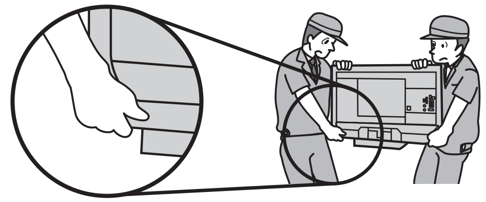
■**電源プラグを持って抜いてください**
電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

移動について

■**移動させる前に接続線などをはずしてください**
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

■**開梱や持ち運びは2人以上で行ってください**
落下してけがの原因になることがあります。

■**運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください**
落下してけがの原因になることがあります。



安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

お手入れについて

■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。

●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または128ページの連絡先にご相談ください。

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因になることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事は、販売店にご相談ください

アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

●送配電線から離れた場所に設置してください。

●BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

ディスクについて

指はさみ注意

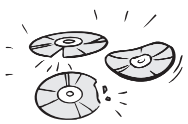
■ディスク挿入口に指を入れないでください

けがの原因になることがあります。

●特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ひび割れ、変形、修復したディスクや特殊形状のディスクは使用しないでください

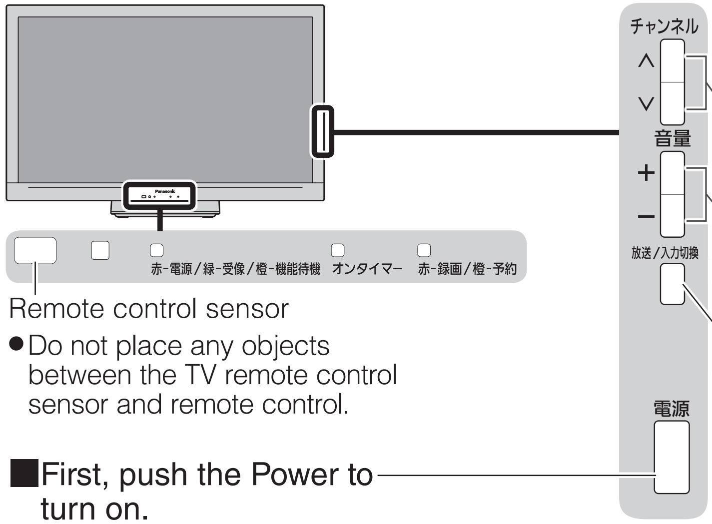
本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になることがあります。



Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for the TH-L37RB3.



■If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.

TV, CATV, BS and CS channel selectors

Sound volume controllers

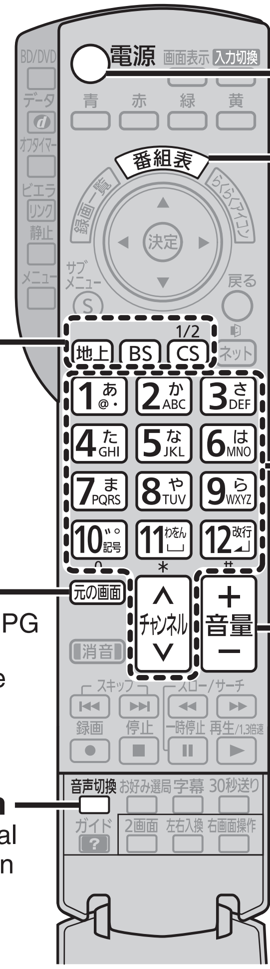
Broadcast and Input signal selector

Remote control sensor

- Do not place any objects between the TV remote control sensor and remote control.

■First, push the Power to turn on.

➡Operate your Remote control pointed to the Remote control sensor. (Within about 7meters in front of the TV set.)



Turn On or Off

EPG button
Electronic Programme Guide(EPG) provides an on-screen listing of the programmes currently broadcast.

Select a broadcast

Select a channel

Original screen button
Lets you change from the EPG and menu screens back to the broadcast screen for the selected channel.

Control the Sound volume

Audio selector button
While watching a multilingual programme, press the button to select a language.

仕様

●このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体			
品番		TH-L37RB3(37V型)	TH-L32RB3(32V型)
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源		AC100 V　50/60 Hz	
消費電力		102 W	77 W
		本体電源「切」時　約 0.05 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く) ［クイックスタート「入」設定時、またはデータ取得時※　約 16 W HDD予約録画実行時　約 19 W(録画モード「標準」、ディスク未挿入時)］ ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	
年間消費電力量		87 kWh/年(スタンダード時)	59 kWh/年(スタンダード時)
区分名		DG3(FHD、液晶倍速、付加機能3)	DN3(FHD以外、液晶ノーマル、付加機能3)
受信可能放送		地上デジタル※(CATVパススルー対応)／BSデジタル／110度CSデジタル ※ワンセグ放送を除く	
内蔵ハードディスク容量		500 GB(録画可能領域は500 GBより少なくなります。)	
音声実用最大出力		20 W(10 W+10 W)JEITA	
スピーカー		フルレンジ：4.2 cm×16.0 cm 2個	
液晶ディスプレイ(アスペクト比16:9)		37V型	32V型
		画素数:水平1920×垂直1080	画素数:水平1366×垂直768
画面寸法		幅　81.9 cm　高さ 46.1 cm 対角 94.0 cm	幅　69.8 cm　高さ 39.2 cm 対角 80.0 cm
動作使用条件		周囲温度：5℃～35℃、相対湿度：20%～80%(結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～2　映像：1 V[p-p](75 Ω)　音声：左・右　0.5 V[rms] ●音声出力　音声：左・右　0.5 V[rms](ビデオ入力2と兼用)	
	D端子ビデオ関連	●D4映像(Y：1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB：0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR：0.7 V[p-p](75 Ω)) 音声：左・右 0.5 V[rms](音声はビデオ入力1と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式	
	衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω) 兼 衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力	
	パソコン入力	●RGB(ミニD-sub15P) 音声：左・右 0.5 V[rms](音声入力はビデオ入力2と兼用) 表示画素数、対応信号について(?ガイド113)	
	HDMI入力	●HDMI端子 2系統：HDMI 1端子はARC(オーディオリターンチャンネル)対応 (本機はビエラリンク[HDMI]Ver.5に対応しています。)対応信号について(☞76ページ)	
	その他	●光デジタル音声出力端子:−18 dBm 660 nm　●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン端子(16～32 Ω推奨) ●SDメモリーカード挿入口(SDXCメモリーカード対応) ●USB端子 2系統(DC5 V　MAX500 mA)(☞82ページ)※USB 3.0には対応していません。	
外形寸法(スタンド部含む)		幅　89.0 cm　高さ 59.5 cm 奥行 28.3 cm	幅　76.9 cm　高さ 52.7 cm 奥行 28.3 cm
質量(スタンド部含む)		約 16.5 kg	約 14.0 kg
キャビネット材質		前面：樹脂、背面：金属	
角度調整範囲		固定	

●年間消費電力量：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
●区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
●テレビのV型(37V/32V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン(品番:N2QAYB000590)	使用電源	DC3 V (単3形乾電池2コ)	操作距離	約 7 m以内 (テレビ正面距離)
	質量	約 150 g (乾電池含)	操作範囲	左右各 約 30° 以内 上下各 約 20° 以内

■使用可能なディスク

ダビングや再生ができるディスク※1	●BD-RE(25 GB：片面1層/ 50 GB：片面2層) 1～2倍速(Ver.2.1準拠) (1倍速 Ver.1.0は非対応) (100 GB：片面3層) 2倍速(Ver.3.0準拠) ●BD-R(25 GB：片面1層/ 50 GB：片面2層) 1～2倍速(Ver.1.1準拠) 1～4倍速(Ver.1.2準拠) 1～6倍速(Ver.1.3準拠) 1～2倍速 LTH type［(Ver.1.2準拠)(25 GB:片面1層のみ)］ 1～6倍速 LTH type［(Ver.1.3準拠)(25 GB:片面1層のみ)］ (100 GB：片面3層) 2～4倍速(Ver.2.0準拠)
リージョンコード	DVD：# 2 BD：Region A
再生のみできるディスク	●BD-Video ●DVD-RAM※2： DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCHD 規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層)： DVDビデオ規格準拠※3、DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCHD 規格準拠※3、AVCREC 規格準拠※3 ●DVD-RW： DVDビデオ規格準拠※3、DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCHD 規格準拠※3 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW： DVDビデオ規格準拠※3、AVCHD 規格準拠※3 ●DVD-Video：DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW：CD-DA

※1　8 cm ブルーレイディスクへは記録できません。
SDメモリーカードの写真(画像)をBD-Rにはダビングできません。(☞71ページ)
※2　カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※3　他の機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理 などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　） −
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

108ページの故障かな !? と電子説明書（トップページ）の困ったときに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	地上･BS･110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ
●品　番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■**転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください**

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-981**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■**各地域の修理ご相談窓口** ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0511

さくいん

電子説明書の「言葉でさがす」も
あわせてご覧ください。

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞ 120～124ページ）